

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	3,488,829,780	342,203,382	0	1,650,658,546	1,495,967,852
1 項 商 工 費	3,488,829,780	342,203,382	0	1,650,658,546	1,495,967,852
2 目 中 小 企 業 振 興 費 <中小企業の経営基盤の強化と人材育成>	209,591,522	0	0	1,459,500	208,132,022

1 中小企業振興対策事業費 170,264,870 円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

ものづくり・夢づくり支援事業において、市内企業の競争力や技術力、販売力の強化に資する支援を行った。また、企業BCP（事業継続計画）の策定を促すためのセミナーや策定経費の助成など、普及・啓発のための支援を行った。今後も地域のニーズや戦略を踏まえた新たな制度の構築・検討を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業振興助成金 155,000,160 円

助 成 金	平成30年度		令和元年度	
		200件	165,136,690円	191件

(2) ものづくり・夢づくり支援事業費 15,123,000 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 764,000 円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		7件	591,000円	10件

(イ) 産学共同研究等支援事業費補助金 689,000 円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		6件	2,345,000円	2件

(ウ) 販路開拓支援事業費補助金 9,542,000 円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		50件	8,694,000円	55件

(エ) 創業者支援事業費補助金 1,294,000 円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		9件	2,203,000円	5件

(オ) 起業支援事業費補助金 2,834,000 円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		6件	2,400,000円	9件

(カ) 事業承継支援事業費 0 円

セ ミ ナ ー 受 講 者 数	平成30年度		令和元年度	
		33人		3人

(3) 企業BCP策定支援事業費 74,000 円

(ア) 企業BCP（事業継続計画）セミナーの開催 74,000 円

セ ミ ナ ー 受 講 者 数	平成30年度		令和元年度	
		延 129人		延 131人

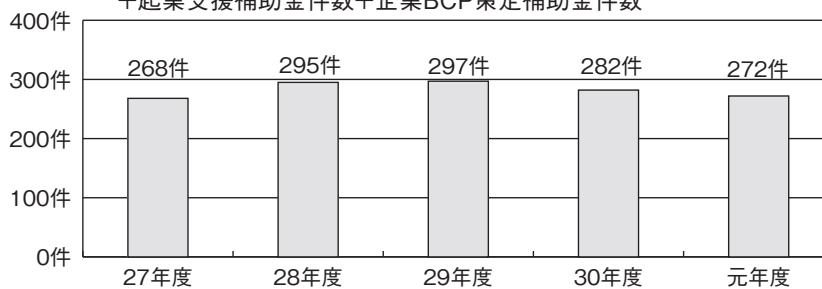
(1) 企業BCP策定支援事業費補助金 0円

補助金	平成30年度		令和元年度	
		4件	120,000円	0件

[指標]

指標名：中小企業振興助成金等交付件数

指標説明：振興助成金件数+国際規格等取得補助金件数(H27)+知的財産取得補助金件数
+産学共同研究補助金件数+販路開拓補助金件数+創業者支援補助金件数
+起業支援補助金件数+企業BCP策定補助金件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 産 業 創 出 費 <製品開発力や技術力等の向上と新規産業の創出>	147,722,184	24,848,500	0	0	122,873,684

1 新事業創出事業費 75,847,620円 (産業政策課)

[総括]

特色ある技術をもった事業者が活躍し、地域に新しい産業が生まれることを促進するため、産学連携等による新技術・新製品開発に向けた研究開発の取組みに対する助成を行った。また、官民協働でのオープンデータの利活用を進めたほか、衛星データを活用した事業の可能性について調査するなど新たなビジネス創出につなげる様々な取組みを行った。今後も地域での新事業創出に向けた取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) イノベーション創出等支援事業補助金 35,880,000円

補 助 金	平成30年度	令和元年度
		35,450,000円

(2) 新規ビジネス創造支援事業補助金 500,000円

補 助 金	平成30年度	令和元年度
		500,000円

(3) オープンデータビジネス創出事業費 15,867,620円

内 容	平成30年度	令和元年度
		データポータルサイト、デジタルサイネージ及び公共交通運行情報システムの運用開発、ワークショップ等の開催支援

(4) 衛星データ利活用可能性調査事業費 2,800,000円

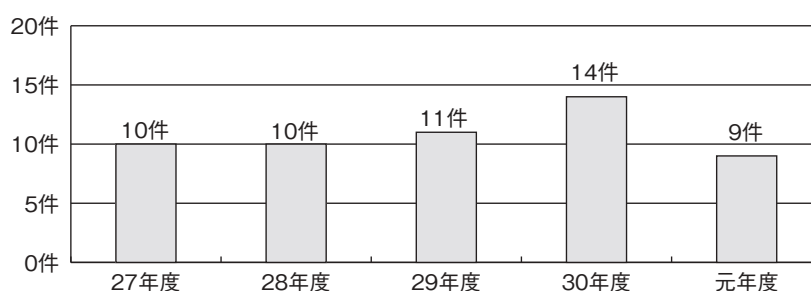
内 容	平成30年度	令和元年度
		—

(5) 地域産業支援施設整備事業補助金 20,800,000円

補 助 金	平成30年度	令和元年度
		20,800,000円

[指 標]

指 標 名：研究開発に対する支援件数
 指標説明：イノベーション創出等支援事業の研究開発テーマ件数



2 産学交流促進事業費

71,874,564円 (産業政策課)

[総 括]

本市をはじめ様々な機関が一体となって行う人材育成事業等の取組みに対する助成のほか、豊橋サイエンスコアに集う多様な事業者の交流・連携を促進することで、新商品開発や新規ビジネスの創出を加速化する「豊橋イノベーションガーデン」の運営を支援した。また、南部窓口センター2階の遊休空間を活用し、大学生・高校生の意欲的な自主活動を支援するためのスペースを整備した。今後も新たな産業創出を支える人材の育成や交流を進める取組みを行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,700,000円

補 助 金	平成30年度	令和元年度
	3,800,000円	3,700,000円

- (2) 豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金 51,600,000円

補 助 金	平成30年度	令和元年度
	44,700,000円	51,600,000円

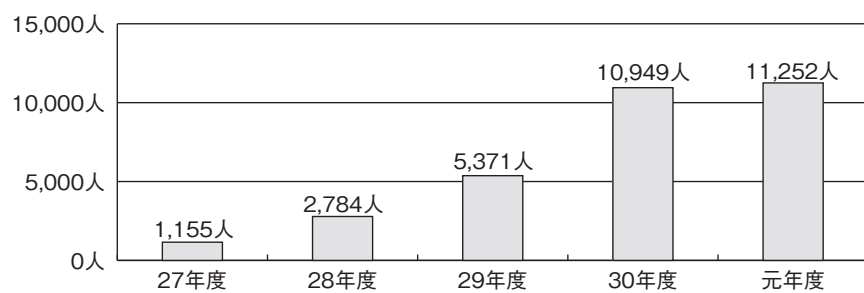
- (3) 学生の学びと交流空間整備事業費 16,574,564円

内 容	平成30年度	令和元年度
	—	南部窓口センター2階の遊休空間を活用し、大学生・高校生の意欲的な自主活動を支援するためのスペースを整備

[指 標]

指 標 名：豊橋イノベーションガーデン利用者数

指標説明：メイカーズ・ラボとよはし利用者数(平成27年11月～)+Startup Garage 利用者数(平成29年11月～)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 〈円滑な企業活動の促進と企業誘致の推進〉	668,699,971	107,727,000	0	1,684,946	559,288,025

1 企業誘致推進事業費 668,699,971 円 (産業政策課)

[総括]

関西、関東及び近隣市の優良企業に対し誘致活動を行ったほか、市内の立地企業との情報交換会を開催するなど市内企業のニーズ把握にも努めた。さらに、広域的な産業集積を活かした企業誘致を展開するため、東三河5市が連携して戦略的に企業誘致に取り組んだ。こうした取組みにより、新たに2区画の事業用地の分譲等に成功し、優良企業を誘致することができた。また、内陸用地への進出要望の高まりへの対応として、国道23号名豊道路沿線の三弥地区を始めとした産業用地の整備を進めるとともに、研究開発施設の立地や土地取得に対する助成の追加、並びに立地に伴い本市に転入した従業員の児童も雇用促進奨励金の対象とするなど本市への立地を促進するための企業立地促進制度を拡充した。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 3,391,611 円

内 容		平成30年度		令和元年度	
企業誘致説明会	開催日	2.18		2.3	
	場 所	大阪市		大阪市	
	出席企業数	26社		26社	
立地企業情報交換会	開催日	8.28	11.22	7.30	12.12
	場 所	リサーチパーク	石巻地区	明海地区	御津地区・神野地区
	出席企業数	11社	11社	19社	12社
東三河5市企業誘致推進連絡会議	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセナゴヤ出展 11.7～11.10 ・ポートメッセ名古屋 ・企業用地見学ツアー（豊橋市、田原市） 11.6 		<ul style="list-style-type: none"> ・メッセナゴヤ出展 11.6～11.9 ・ポートメッセ名古屋 ・企業用地見学ツアー（豊橋市、豊川市、蒲郡市） 1.27 	

(2) 企業立地促進奨励金 623,951,000 円

奨 励 金	平成30年度		令和元年度	
		25件	136,137,000円	30件

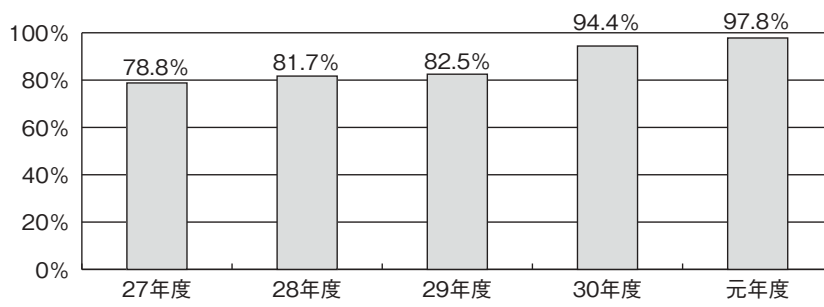
(3) 産業拠点形成事業費 41,357,360 円

内 容	平成30年度		令和元年度	
		道水路敷地調査測量等委託業務		配水管布設工事委託業務

[指 標]

指 標 名：事業所用地分譲率

指標説明：市内5か所の事業所用地全体の分譲率(面積)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 商業振興費 <魅力ある商業集積の形成>	662,466,545	209,101,016	0	448,092,800	5,272,729

1 商業振興対策事業費 662,466,545円 (商工業振興課)

[総括]

魅力ある商業地形成のため、商店街等が維持管理を行う街路灯等の電灯料や既設アーケードの省エネ化に対して助成したほか、商業団体が実施する各種イベントに対する支援とともに、消費税率引上げによる家計の負担緩和や地域における消費喚起のためプレミアム付商品券の発行などを行った。今後も各種事業を実施することにより、商業等の活性化を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体共同事業補助金 1,856,000円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		5団体	1,374,000円	9団体

(2) 商店街環境向上事業補助金 302,000円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		4団体	6,063,000円	4団体

(3) がんばる個店応援事業補助金 1,308,000円

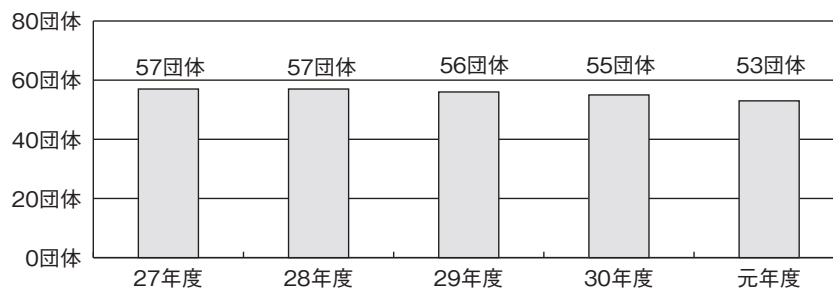
補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		1件	93,000円	5件

(4) プレミアム付商品券事業費 655,155,682円

内 容	平成30年度		令和元年度	
使用有効期限	—		10.1~3.31	
使用枚数・金額	—		1,224,077枚	612,038,500円
償 還 金	—		560,116,000	

[指 標]

指 標 名：商店街、発展会等数
 指標説明：法組織(商店街振興組合、商店街事業協同組合)数+任意組織(発展会等)数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中小企業支援費 <意欲ある事業者への支援>	1,288,737,815	0	0	1,194,500,000	94,237,815

1 制度融資事業費 1,195,856,958 円 (商工業振興課)

[総括]

中小事業者に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小事業者が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や経営安定資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

[預託金合計]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
預 託 額	1,167,000,000円	1,194,000,000円	2.3%
融 資 枠	4,461,000,000円	4,452,000,000円	—
融 資 実 績	件数	835件	920件
	金額	3,675,275,000円	4,439,763,000円
融 資 実 績 率	82.4%	99.7%	17.3ポイント

(1) 小口事業資金預託金 738,000,000 円

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
預 託 先	豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額	704,000,000円	738,000,000円	4.8%
融 資 枠	2,112,000,000円	2,214,000,000円	—
融 資 実 績	件数	180件	217件
	金額	1,407,336,000円	1,735,067,000円
融 資 実 績 率	66.6%	78.4%	11.8ポイント

(2) 経営安定資金預託金 14,000,000 円

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
預 託 先	岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額	20,000,000円	14,000,000円	△30.0%
融 資 枠	60,000,000円	42,000,000円	—
融 資 実 績	件数	0件	31件
	金額	0円	274,500,000円
融 資 実 績 率	0.0%	653.6%	653.6ポイント

(3) 小規模企業等振興資金預託金 290,000,000 円

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
預 託 先	豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額	320,000,000円	290,000,000円	△ 9.4%
融 資 枠	1,920,000,000円	1,740,000,000円	—
融 資 実 績	件数	604件	579件
	金額	2,053,169,000円	2,035,070,000円
融 資 実 績 率	106.9%	117.0%	10.1ポイント

(4) 中心市街地商業活性化資金預託金 21,000,000 円

区 分		平成30年度	令和元年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		22,000,000円	21,000,000円	△ 4.5%
融 資 枠		66,000,000円	63,000,000円	—
融 資 実 績	件数	4件	13件	3.3倍
	金額	27,500,000円	110,606,000円	4.0
融 資 実 績 率		41.7%	175.6%	133.9ポイント

(5) 創業支援資金預託金 108,000,000 円

区 分		平成30年度	令和元年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		75,000,000円	108,000,000円	44.0%
融 資 枠		225,000,000円	324,000,000円	—
融 資 実 績	件数	45件	70件	55.6
	金額	182,770,000円	249,320,000円	36.4
融 資 実 績 率		81.2%	77.0%	△ 4.2ポイント

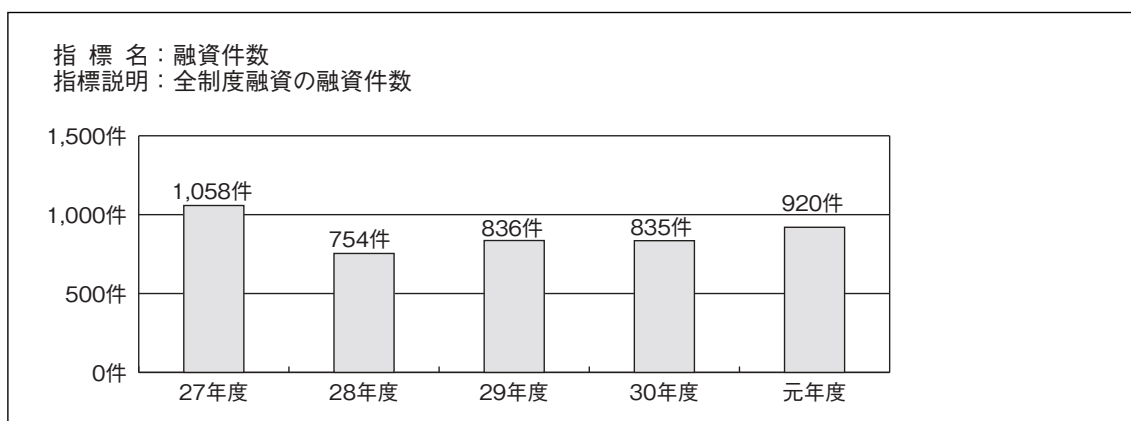
(6) 中小企業団体共同事業資金預託金 8,000,000 円

区 分		平成30年度	令和元年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		8,000,000円	8,000,000円	0.0%
融 資 枠		24,000,000円	24,000,000円	—
融 資 実 績	件数	1件	1件	0.0
	金額	2,500,000円	1,000,000円	△60.0
融 資 実 績 率		10.4%	4.2%	△ 6.2ポイント

(7) 小規模事業資金預託金 15,000,000 円

区 分		平成30年度	令和元年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		18,000,000円	15,000,000円	△16.7%
融 資 枠		54,000,000円	45,000,000円	—
融 資 実 績	件数	1件	9件	9.0倍
	金額	2,000,000円	34,200,000円	17.1
融 資 実 績 率		3.7%	76.0%	72.3ポイント

[指 標]



2 制度融資関係補助事業費 79,380,403 円（商工業振興課）

[総 括]

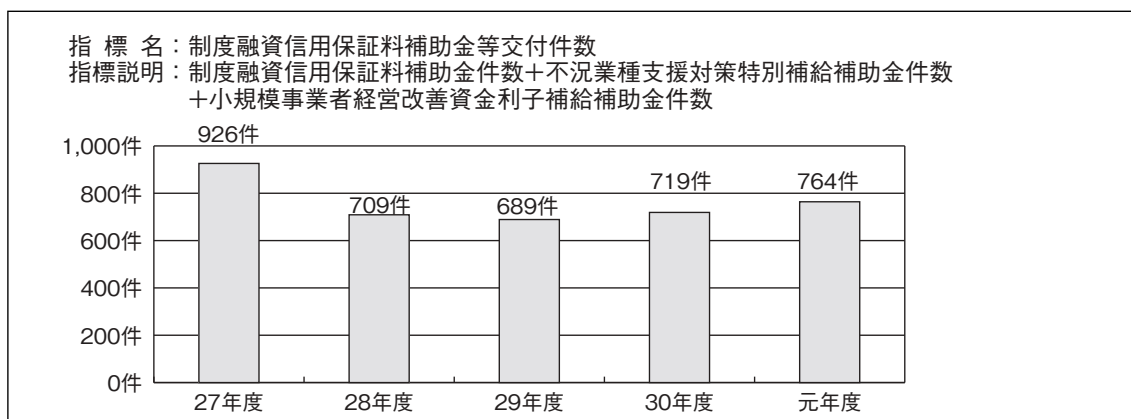
中小事業者が愛知県信用保証協会の信用保証を得て融資を受けた場合にその信用保証料相当額を助成するなど、中小事業者の借入負担を軽減し経営の安定化を図る支援を行った。今後も補助制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資信用保証料補助金 77,979,303 円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		661件	72,384,987円	710件

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 中心市街地にぎわい創出費 <にぎわい創出活動の推進>	39,870,677	0	0	0	39,870,677

1 まちなかにぎわい創出事業費 26,039,677円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、歩行者天国やまちなかマルシェ、クリスマスマーケットを引き続き開催したほか、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキではイルミネーション装飾を行った。また、中心市街地の魅力向上や活性化につながる新しいコミュニティ等の活動支援やリノベーションまちづくり推進に向けた検討を行った。今後も中心市街地で活躍する様々な団体と連携・協力しながら、状況に応じてまちなかに人の流れを生み出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 16,190,477円

内 容	平成30年度		令和元年度	
まちなかイルミネーション装飾の実施	点灯期間・日数	11.18~2.14 89日間	点灯期間・日数	11.16~2.14 91日間
	装飾電球数	約 142,000球	装飾電球数	約 144,000球
まちなかマルシェ等の実施	実施回数・日数	14回・25日間	実施回数・日数	12回・22日間
	来場者数	延 89,800人	来場者数	延 80,000人
豊橋駅南口駅前広場使用実績	貸出件数	75件	貸出件数	88件
	貸出日数	91日	貸出日数	117日

(2) まちなか活性化推進協議会負担金 1,000,000円

負 担 金	平成30年度		令和元年度	
		1,000,000円		1,000,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 500,000円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		1件	500,000円	1件

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 8,100,000円

内 容	平成30年度		令和元年度	
歩行者天国の実施	実施回数	10回	実施回数	10回
	来場者数	延 309,000人	来場者数	延 314,000人

(5) コミュニティ活動等促進事業補助金 222,000円

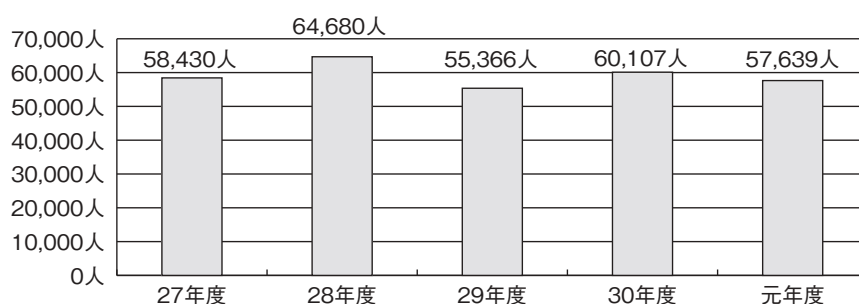
補 助 金	平成30年度		令和元年度	
		1件	316,000円	1件

(6) リノベーションまちづくり推進事業費 27,200円

内 容	平成30年度		令和元年度	
		—		講演会開催準備

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量
 指標説明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



2 TMO支援事業費 13,831,000円（まちなか活性課）

[総 括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する共通駐車券事業のほか、新規創業者の出店経費の負担軽減を図る、まちなかインキュベーション事業への支援を行った。今後も魅力ある商業・サービス業を集積させるための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 共通駐車券事業補助金 1,031,000円

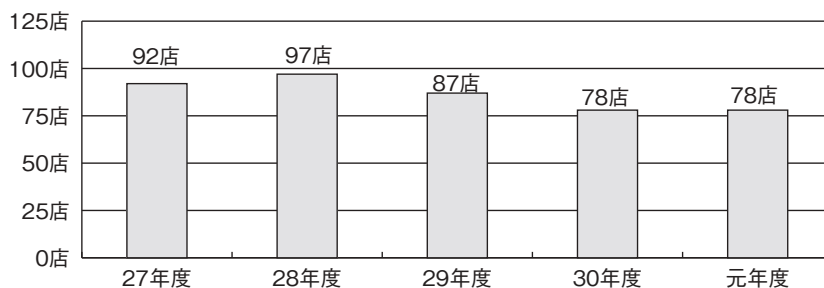
補 助 金	平成30年度		令和元年度	
	1件	1,030,000円	1件	1,031,000円

(2) まちなかインキュベーション事業等補助金 12,800,000円

補 助 金	平成30年度		令和元年度	
	22件	12,518,000円	18件	12,800,000円

[指 標]

指 標 名：中心市街地内の空き店舗数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8日 観 光 費 <観光資源の魅力づくり>	69,073,971	0	0	3,550,000	65,523,971

1 まつり・イベント支援事業費 59,106,641 円 (観光振興課)

[総括]

交流人口の拡大による観光振興や地域の活性化を図るため、市内外から多くの集客を見込めええじゃないか豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつり等の各種祭り・イベントの開催を支援した。ええじゃないか豊橋まつりでは、新たに「ええじゃないか舞らん行列」を開催するなど、多くの参加者の踊りで会場を盛り上げた。しかし、さくらまつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となり、昨年と比べ来場者数は減少した。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 7,106,641 円

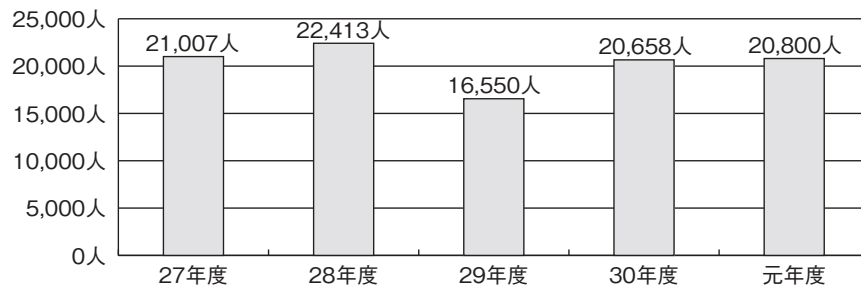
行 事 内 容			平成30年度	令和元年度
春まつり	さくらまつり	期 間	4.1~4.8 (17日間) 3.23~3.31	4.1~4.10 (10日間) 3月は中止
		場 所	向山緑地ほか	向山緑地ほか
		来場者数	約40,000人	約20,000人
	つつじまつり	期 間	4.20~5.6 (17日間)	4.19~5.6 (18日間)
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	約2,500人	約2,500人
	うめまつり	期 間	1.26~3.10 (44日間)	1.31~3.8 (38日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	約42,000人	約42,000人
		補 助 金	6,489,000円	2,795,641円
花しょうぶまつり	期 間	5.26~6.10 (16日間)	5.25~6.9 (16日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	約180,000人	約190,000人	
	補 助 金	4,311,000円	4,311,000円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 52,000,000 円

区 分	平成30年度	令和元年度
開 催 日	10.20~21	10.19~20
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリア 12会場	まちなかエリア・豊橋公園エリア 13会場
行 事 数	46行事	43行事
総 人 出 数	約670,000人	約680,000人
総 参 加 団 体 数	961団体	1,054団体
補 助 金	52,000,000円	52,000,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 観光情報発信費 < 情報の発信 >	97,824,201	370,000	0	1,371,300	96,082,901

1 産業プロモーション推進事業費 51,823,396 円 (産業政策課・観光振興課)

[総括]

首都圏でのプロモーションとして、浅草「まるごとっぽん」での、特産品等の展示・販売のほか、横浜赤レンガ倉庫やららぽーと豊洲で手筒花火の放揚を行った。また、東三河の産業をPRするため豊橋駅東西自由連絡通路に設置している展示ブースの入替えを実施したほか、ふるさと寄附制度を活用し豊橋製品のPRをした。海外向けのプロモーションとして、台湾の訪日旅行を取り扱う現地旅行会社等を訪問し、本市の観光資源の魅力をPRしたほか、中国大手ポータルサイトを活用した情報発信を行った。

今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につなげるプロモーションを展開する。

[実績及び成果]

(1) 産業プロモーション推進事業費 51,823,396 円

(ア) 推進活動費 25,266,679 円

(うち手筒花火放揚 6,000,000 円、炎の祭典開催費負担金 11,056,169 円、浅草「まるごとっぽん」出展事業費 4,480,800 円)

	平成30年度	令和元年度	
産業プロモーション 実 施 回 数 ※ () は日数	・物産展 浅草「まるごとっぽん」 3回 (8日) 横浜赤レンガ倉庫 1 (3)	・物産展 浅草「まるごとっぽん」 2回 (6日) 横浜赤レンガ倉庫 1 (3)	
	・手筒花火放揚 ららぽーと豊洲 1 (1) 横浜赤レンガ倉庫 1 (1)	・手筒花火放揚 ららぽーと豊洲 1 (1) 横浜赤レンガ倉庫 1 (1)	
	ささしまライブ 1 (1)	・その他 14 (21)	
	・その他 21 (23)		
	計	28 (37)	19 (32)

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 2,896,854 円

	平成30年度	令和元年度
内 容	フォルクスワーゲン及びものづくり技術 トピー工業(株) の紹介展示	フィアット及びものづくり技術 シンフォニアテクノロジー(株) の紹介展示

(ウ) 訪日外国人観光客誘致 4,406,600 円

	平成30年度	令和元年度
内 容	・台湾現地プロモーション ・訪日旅行を取り扱う台湾の旅行会社等を本市へ招へいし観光資源をPR ・吉田城鉄槽前広場での手筒花火放揚 ・台湾現地にてSNS等を利用した情報発信	・台湾現地プロモーション ・ペDESTリアンデッキに公衆無線LANを整備 ・訪日外国人向け情報発信パンフレットの作成 ・中国現地にてインターネット動画を利用した情報発信

(エ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 16,753,263円

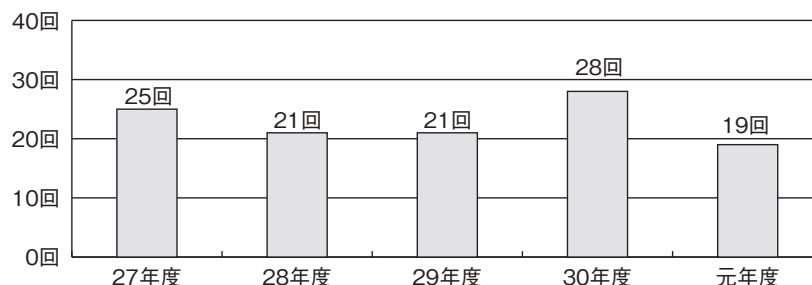
内 容	平成30年度	令和元年度
	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への掲載 返礼品件数：1,548件	

(オ) 道の駅「とよはし」E-BIKE運用事業費 2,500,000円

内 容	平成30年度	令和元年度
	—	

[指 標]

指 標 名：産業プロモーション実施回数
 指標説明：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数



2 観光宣伝事業費 20,100,805円（観光振興課）

[総 括]

本市の観光施設等への集客を促すため、雑誌・新聞等による情報発信や情報プラザ、道の駅「とよはし」でPR活動を行った。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 観光PR活動推進事業費 7,645,422円

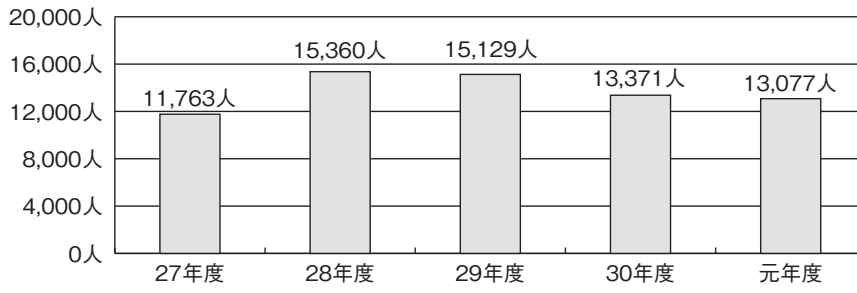
豊橋市への来訪者数	平成30年度	令和元年度	比 較
		延 2,387,778人	延 4,272,235人

(2) 情報プラザ運営事業費 12,455,383円

案 内 者 数	平成30年度	令和元年度	比 較
		延 13,371人	延 13,077人

[指 標]

指 標 名：情報プラザの案内者数
指標説明： 〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,633,535,841	2,043,402,457	3,462,700,000	971,900,204	8,155,533,180
1 項 道 路 橋 梁 費	4,487,327,921	439,437,486	1,641,500,000	356,869,335	2,049,521,100
2 目 広域幹線道路整備費 <広域幹線道路の整備促進>	712,533,628	0	620,800,000	36,805,250	54,928,378

1 幹線道路建設促進対策事業費 712,533,628 円 (道路建設課)

[総括]

広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対する要望活動等を積極的に行った。また、スマート IC 整備については、国による準備段階調査箇所にて採択され、新城市とともにスマート IC の位置や構造等の概略検討を行った。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化して、地域と一体となって事業の円滑な推進を図る。名豊道路道の駅整備事業では、地域振興施設建設工事等の整備を進め、令和元年5月に道の駅「とよはし」が開駅した。

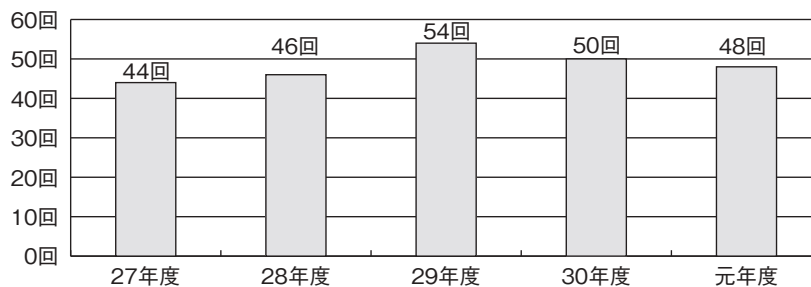
[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 34,715,460 円

内 容	平成30年度	令和元年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動・研修会の実施	総会・要望活動・研修会の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・意見交換会・要望活動等への参加	総会・意見交換会・要望活動等への参加
ス マ ー ト I C	基礎調査	基礎調査

[指 標]

指 標 名：各種協議会としての活動回数
 指標説明： /



(2) 名豊道路道の駅整備事業費 677,818,168 円

内 容	平成30年度	令和元年度
		地域振興施設建設工事 駐車場等整備工事

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 幹線道路整備費 < 幹線市道の整備 >	298,145,924	147,484,000	126,900,000	171,000	23,590,924

1 幹線市道整備事業費 90,520,958 円 (道路建設課)

[総括]

大岩町・小松原町55号線については第3工区の道路改良工事を進めた。一色町・王ヶ崎町1号線については用地取得とともに排水構造物の整備を進め、明海町・老津町28号線は用地取得を進めた。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を図る。

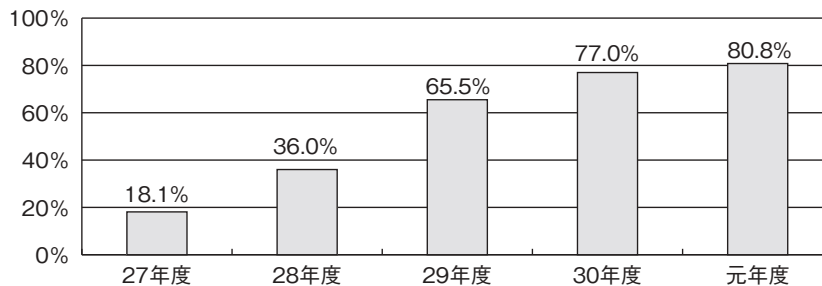
[実績及び成果]

- (1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 38,031,900 円
(国庫補助事業 32,636,000 円 市単独事業 5,395,900 円)

道 路 改 良 (第 3 工 区)	平成30年度	令和元年度
	延 長	90m
用 地	461.96㎡	用 地 —
補 償 建物等		補 償 電柱等

[指 標]

指 標 名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第3工区)
指 標 説 明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成27年度～令和2年度)

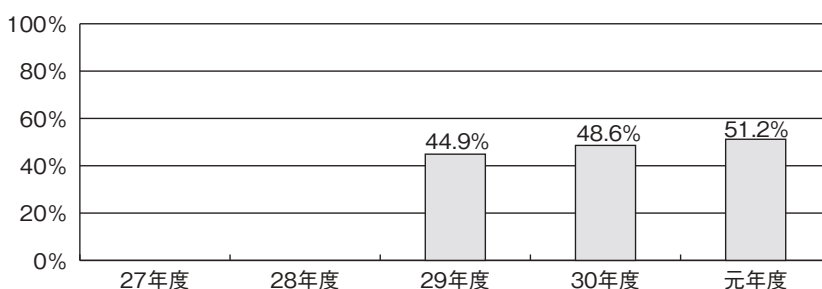


- (2) 一色町・王ヶ崎町1号線整備事業費 27,116,743 円
(国庫補助事業 14,580,000 円 市単独事業 12,536,743 円)

道 路 改 良	平成30年度	令和元年度
	用 地	334.13㎡
補 償 工作物等		補 償 —
工 事 —		工 事 排水構造物工

[指 標]

指 標 名：一色町・王ヶ崎町1号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成29年度～令和3年度）

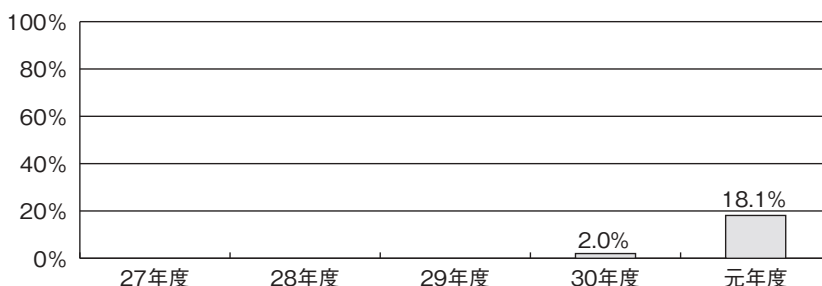


- (3) 明海町・老津町 28 号線整備事業費 25,372,315 円
 (国庫補助事業 23,610,000 円 市単独事業 1,762,315 円)

道 路 改 良	平成 3 0 年度	令和元年度
	土地評価	用 地 1,455.54㎡

[指 標]

指 標 名：明海町・老津町28号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～令和5年度）



2 都市計画道路整備事業費 207,624,966 円（道路建設課）

[総 括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、令和元年度は前年度に引き続き、弥生町線の用地取得を進めた。今後も国庫補助金等の財源を確保しつつ、用地の取得に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

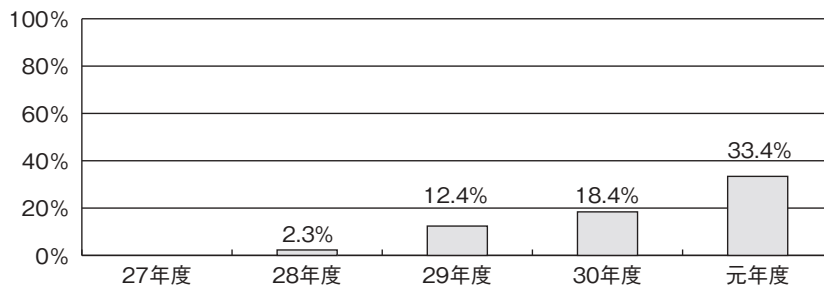
- (1) 弥生町線整備事業費 207,624,966 円
 (国庫補助事業 203,765,455 円 市単独事業 3,859,511 円)

道 路 改 良	平成 3 0 年度	令和元年度
	用 地 450㎡ 補 償 建物等	用 地 268.02㎡ 補 償 建物等

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～令和3年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通環境保全費 <快適な交通環境の保全>	1,825,581,244	127,162,486	745,700,000	92,489,543	860,229,215

1 自由連絡通路等管理事業費 231,172,313円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が快適に利用できるよう自由連絡通路、ペDESTロリアンデッキなどを維持管理した。今後も施設の修繕等適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努めていく。

[実績及び成果]

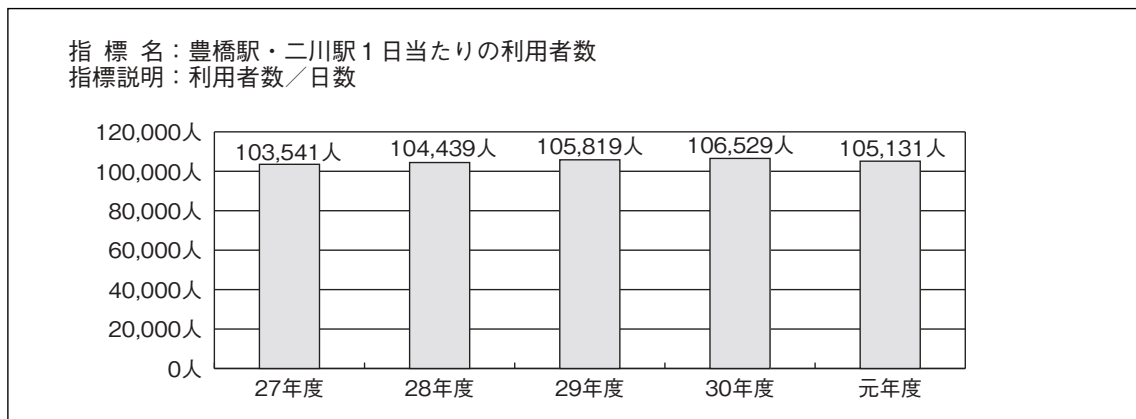
(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 214,488,000円

1日当たりの利用者数	平成30年度	令和元年度	比 較
		100,811人	99,418人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,684,313円

1日当たりの利用者数	平成30年度	令和元年度	比 較
		5,718人	5,713人

[指 標]



2 自転車等駐車場管理運営事業費 91,276,173円 (土木管理課)

[総括]

放置自転車対策と併せて、自転車等の駐車スペースを提供することにより、豊橋駅及び二川駅周辺の放置自転車等を防止し、安全かつ円滑な交通環境を確保するとともに、指定管理者の提案事業等により、定期利用更新機の設置やラックの改善などを実施し、自転車等駐車場利用者の利便性向上をめざした管理運営を行った。また、施設長寿命化計画に基づき、計画的な修繕を実施するとともに、不測の設備故障にも対応し、安全安心な施設づくりを行った。今後も、高校生などに対して定期利用登録の呼び掛けを継続するほか、施設・設備の修繕等適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 58,935,087 円

(ア) 自転車・ミニバイク (駅前地下エリア) 収容台数 4,200 台

区 分		平成30年度	令和元年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		2,797台	2,806台	0.3%
自 転 車	定 期	2,238	2,272	1.5
	一 時	336	337	0.3
ミ ニ バ イ ク	定 期	177	153	△13.6
	一 時	46	44	△ 4.3

(イ) 自動二輪車 (城海津エリア) 収容台数 14 台

区 分		平成30年度	令和元年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		10台	10台	0.0%
自 動 二 輪 車	定 期	1	1	0.0
	一 時	9	9	0.0

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 収容台数 1,300 台 18,152,130 円

区 分		平成30年度	令和元年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		979台	978台	△ 0.1%
自 転 車	定 期	781	769	△ 1.5
	一 時	120	132	10.0
ミ ニ バ イ ク	定 期	71	70	△ 1.4
	一 時	7	7	0.0

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 14,188,956 円

(ア) 自転車・ミニバイク (西エリア) 収容台数 370 台

区 分		平成30年度	令和元年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		422台	403台	△ 4.5%
自 転 車	定 期	321	303	△ 5.6
	一 時	49	50	2.0
ミ ニ バ イ ク	定 期	42	41	△ 2.4
	一 時	10	9	△10.0

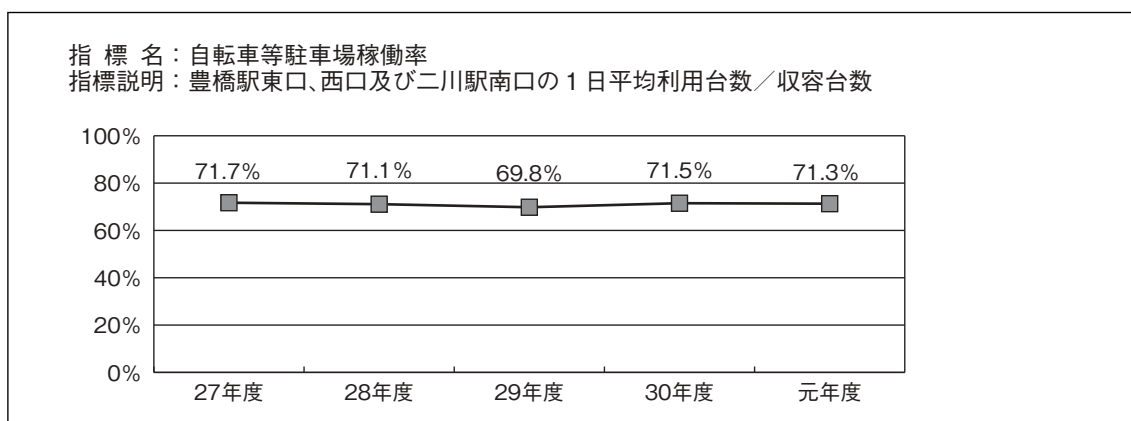
(イ) 自転車 (東エリア) 収容台数 45 台

1 日 平 均 利 用 台 数		平成30年度	令和元年度	比 較
		39台	39台	0.0%

(ウ) 自 動 車 収容台数 10 台

1 日 平 均 利 用 台 数		平成30年度	令和元年度	比 較
		13台	10台	△23.1%

[指 標]



3 道路施設等維持管理事業費 341,711,770円（道路維持課）

[総 括]

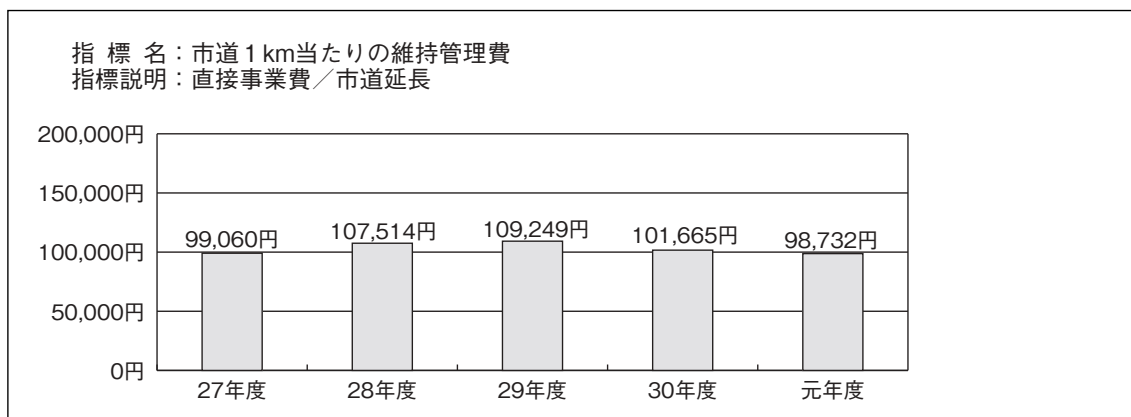
生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行うとともに、老朽化が進む道路ストックについて、長寿命化や維持管理費の縮減・平準化を図るため、道路分野個別施設計画を策定した。今後も修繕等の迅速な対応に努め、道路の適正な維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 341,711,770円

区 分	平成30年度	令和元年度
道 路 清 掃	138路線 延長 476.0km	136路線 延長 366.0km
道 路 側 溝 清 掃	35か所 〃 4,360m	42か所 〃 5,173m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
道路ストック点検調査	横断歩道橋等点検調査 横断歩道橋 12橋 門型標識 2基	—

[指 標]



4 道路等維持改良事業費 337,110,280 円（道路維持課）

[総括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

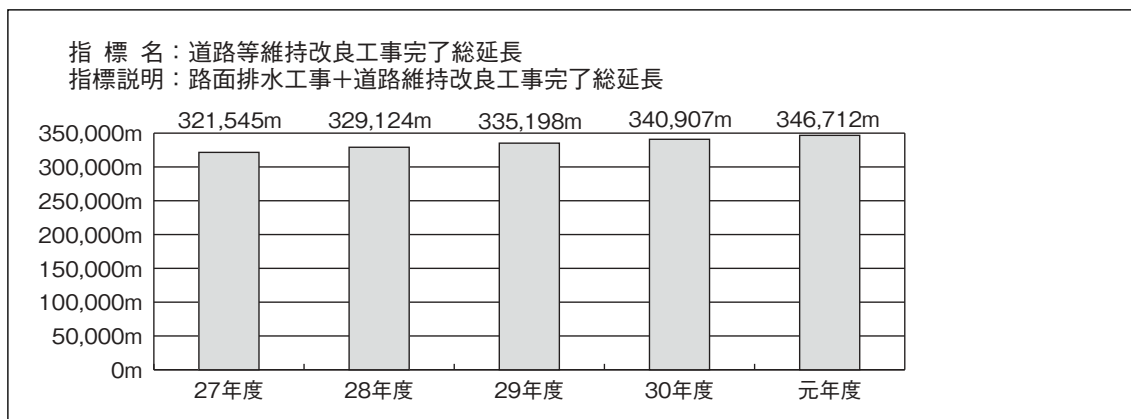
(1) 路面排水整備工事費 311,800,380 円

路面排水	平成30年度		令和元年度	
	市内一円	延長 4,920m	市内一円	延長 5,008m
	市街地	〃 712 雨水浸透型側溝等設置	市街地	〃 682 雨水浸透型側溝等設置

(2) 道路維持改良工事費 25,309,900 円

道路維持改良	平成30年度		令和元年度	
	1件	延長 77m	1件	延長 115m

[指標]



5 道路舗装事業費 442,694,020 円（道路維持課）

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

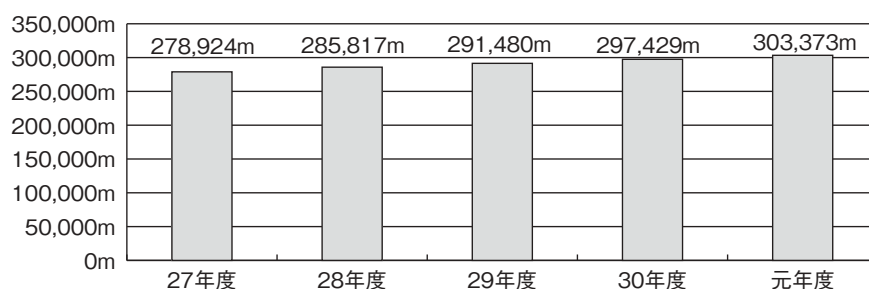
[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 442,694,020 円

内 容	平成30年度		令和元年度	
舗装新設	延長 695m	面積 1,796㎡	延長 397m	面積 1,191㎡
舗装改良	〃 5,949	〃 35,080	〃 5,944	〃 36,550
舗装修繕		〃 12,420		〃 11,620

[指 標]

指 標 名：舗装改良工事総延長(平成13年度以降)
 指標説明：〃



6 橋梁整備事業費 270,076,220 円 (道路建設課)

[総 括]

道路法で定められた定期点検を行うとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕を行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

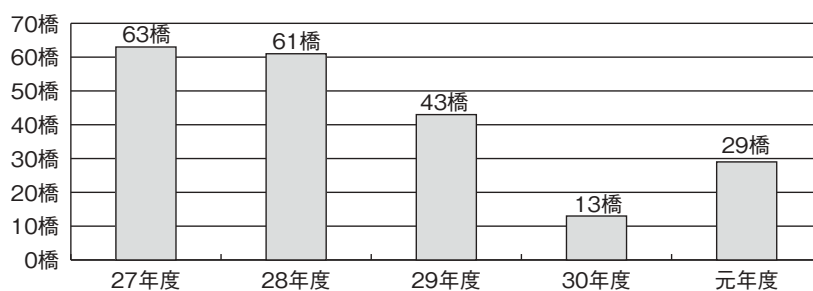
[実績及び成果]

- (1) 橋梁長寿命化事業費 270,076,220 円
 (国庫補助事業 221,985,455 円 市単独事業 48,090,765 円)

内 容	平成30年度	令和元年度
定 期 点 検	西ノ坪橋はじめ328橋	五間大橋はじめ168橋
補 修 (国 庫 補 助)	井原橋(上り)はじめ13橋	元柳生橋はじめ29橋
補 修 (市 単 独)	向屋貝津橋はじめ16橋	畑ヶ田8号橋はじめ9橋

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全数
 指標説明：〃



7 道路環境整備事業費

6,791,400 円（道路維持課）

[総括]

歩道修繕を行い、街路樹の根上がりによる段差の解消を図った。今後も歩きにくい歩道の改善に努める。

[実績及び成果]

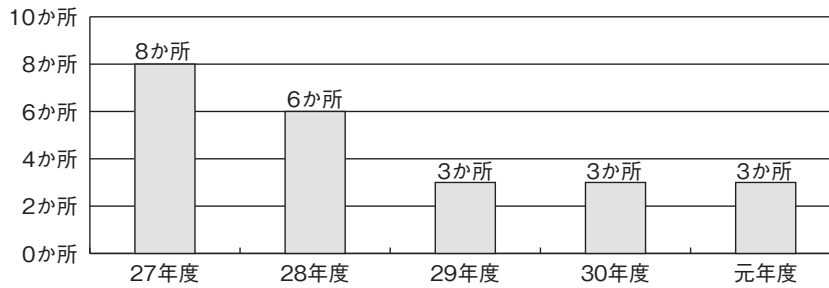
(1) 人にやさしい道づくり事業費 6,791,400 円

歩道修繕	平成30年度	令和元年度
	3か所	3か所

[指標]

指標名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数

指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設などの整備>	914,101,221	164,791,000	148,100,000	40,808,200	560,402,021

1 交通安全施設整備事業費 413,313,480円 (道路建設課)

[総括]

植田町・大清水町103号線はじめ5路線において、歩道等の整備を進め道路の安全確保に努めた。また、自転車通行空間整備事業では、豊橋市自転車活用推進計画に定められた優先整備路線において自転車通行空間の整備を行った。今後も道路状況や通学路などの利用状況を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

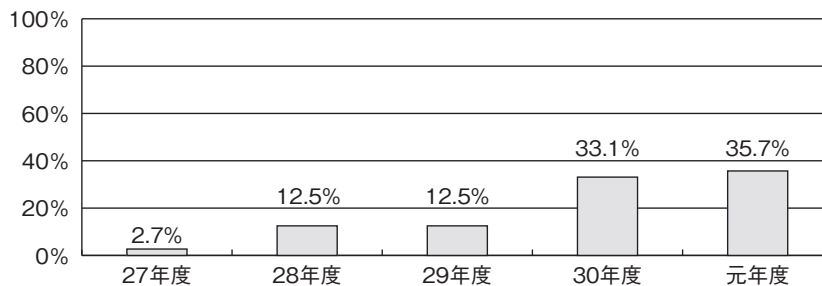
(1) 石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業費 8,241,480円

(国庫補助事業 5,780,000円 市単独事業 2,461,480円)

自転車道等設置	平成30年度	令和元年度
	延長 118m	延長 51m

[指標]

指標名：石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成27年度～令和5年度)



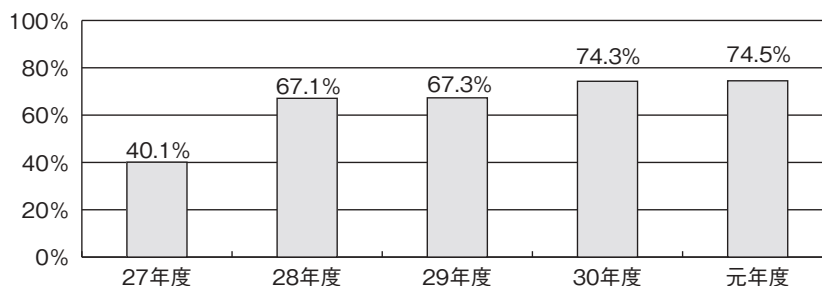
(2) 飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業費 33,726,000円

(国庫補助事業 27,160,000円 市単独事業 6,566,000円)

自転車道等設置	平成30年度	令和元年度
	交差点修正設計	延長 200m

[指標]

指標名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成25年度～令和3年度)



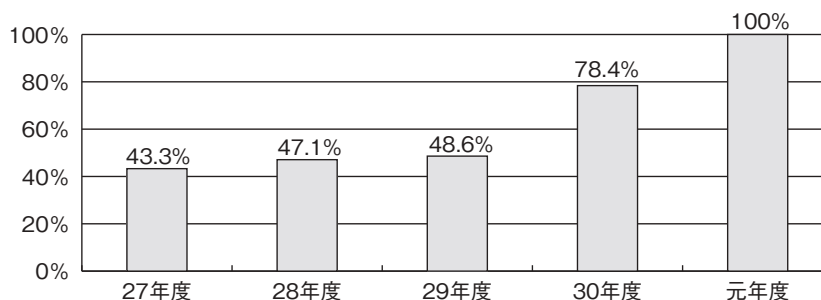
(3) 植田町・大清水町 103 号線歩道設置事業費 21,474,200 円

(国庫補助事業 12,540,000 円 市単独事業 8,934,200 円)

歩 道 設 置	平成 3 0 年度	令和元年度
	延 長 90m	延 長 110m

[指 標]

指 標 名：植田町・大清水町103号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～令和元年度）



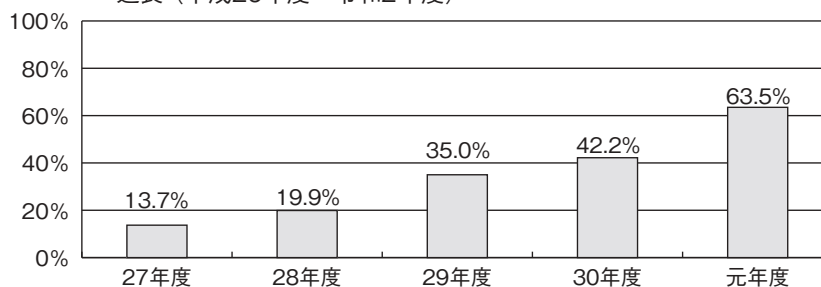
(4) 自転車通行空間整備事業費 31,026,600 円

(国庫補助事業 26,718,183 円 市単独事業 4,308,417 円)

内 容	平成 3 0 年度	令和元年度
路 面 標 示 等 計 画	延 長 1,000m	延 長 3,900m

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率
 指標説明：整備済路線延長／令和2年度までに整備する自転車ネットワーク優先整備路線延長（平成26年度～令和2年度）



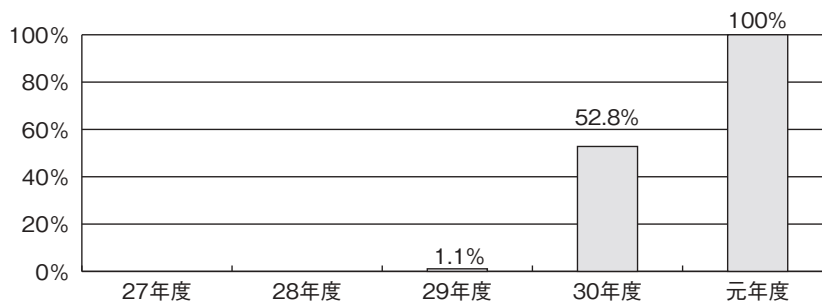
(5) 東七根町 200 号線ほか地下横断通路等整備事業費 227,432,200 円

(国庫補助事業 143,680,000 円 市単独事業 83,752,200 円)

地下横断通路等整備	平成 3 0 年度	令和元年度
	道路改良、地下横断通路整備等	道路改良、地下横断通路整備等

[指標]

指標名：東七根町200号線ほか地下横断通路等整備進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～令和元年度)

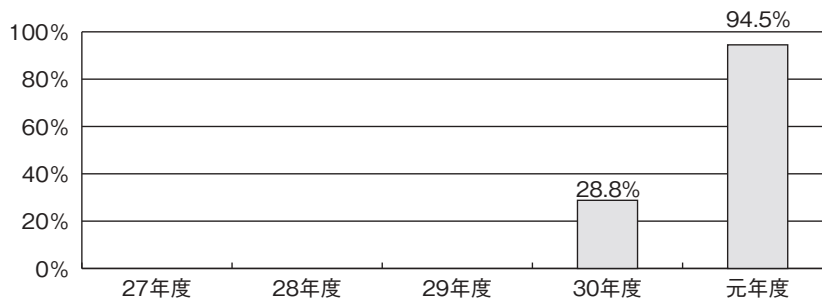


(6) 南栄町・弥生町3号線歩道設置事業費 91,413,000円
 (県費補助事業 73,752,000円 市単独事業 17,661,000円)

歩道設置	平成30年度	令和元年度
	踏切改良 用地 42.13㎡ 補償 建物等	踏切改良

[指標]

指標名：南栄町・弥生町3号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成30年度～令和2年度)



2 交通安全施設維持改良事業費 500,787,741 円（道路維持課）

[総括]

道路状況や地元要望等を検討し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡の設置など安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

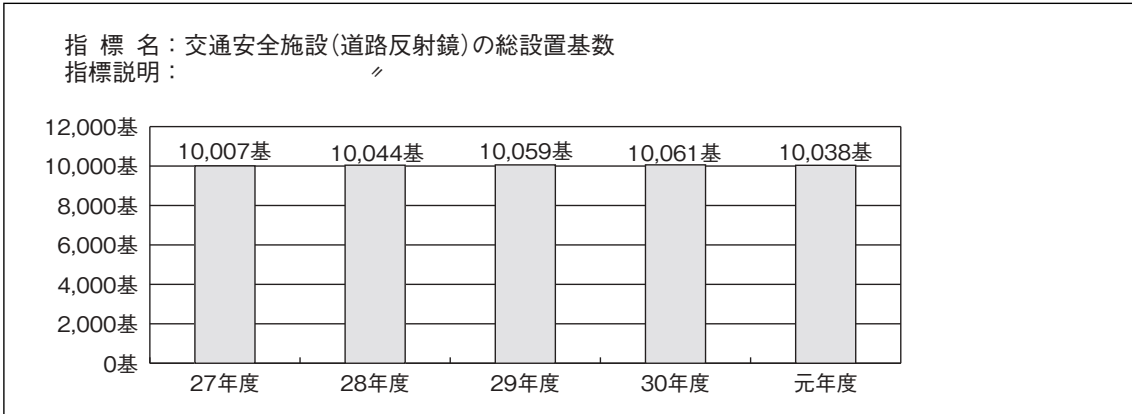
(1) 交通安全施設改良事業費 285,875,160 円

内 容	平成30年度	令和元年度
道路照明灯設置	16～180W 242基	9～57W 273基
交差点等安全カラー標示	6か所	5か所
防護柵設置	延長 1,019m	延長 958m
道路反射鏡設置	99基	93基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 58,589m	延長 65,393m
横断歩道橋修繕	—	—

(2) 交通安全施設維持事業費 214,912,581 円

道路照明灯塗裝修繕	平成30年度	令和元年度
	24基	16基

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	1,067,428,820	84,925,431	365,000,000	48,422,322	569,081,067
1目 河川総務費 <浸水対策の推進>	162,158,063	3,750,000	0	11,501,697	146,906,366

1 洪水ハザードマップ作成事業費 7,500,955 円 (河川課)

[総括]

水防法に基づく洪水浸水想定区域(想定し得る最大規模の降雨)において豊川・豊川放水路、柳生川のハザードマップを作成し周辺住民に配布した。今後も洪水による被害軽減のため、情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 洪水ハザードマップ作成事業費 7,500,955 円

(国庫補助事業 7,500,000 円 市単独事業 955 円)

河 川 名	平成30年度	令和元年度
		—

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 水辺環境保全費 <親しまれる水辺環境の保全>	289,610,183	0	0	0	289,610,183

1 河川水路等維持管理事業費 289,610,183円 (河川課)

[総括]

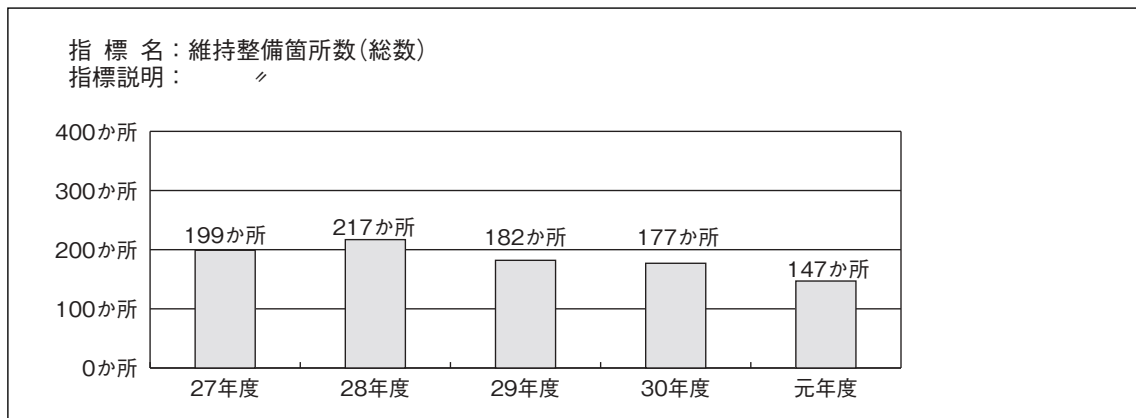
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 289,610,183円

内 容	平成30年度		令和元年度	
補 修	64か所		51か所	
除 草	80	26,070㎡	68	33,670㎡
浚 渫	33	1,780㎡	28	1,130㎡

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水対策費 <浸水対策の推進>	608,914,178	79,495,431	365,000,000	36,920,625	127,498,122

1 河川施設等維持管理事業費 233,971,624 円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 58,827,700 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 109,685,878 円
- (3) 樋門等操作委託事業費 1,929,678 円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 61,284,443 円
- (5) 河川測量登記委託事業費 2,243,925 円

2 河川水路等改良事業費 323,352,414 円 (河川課)

[総括]

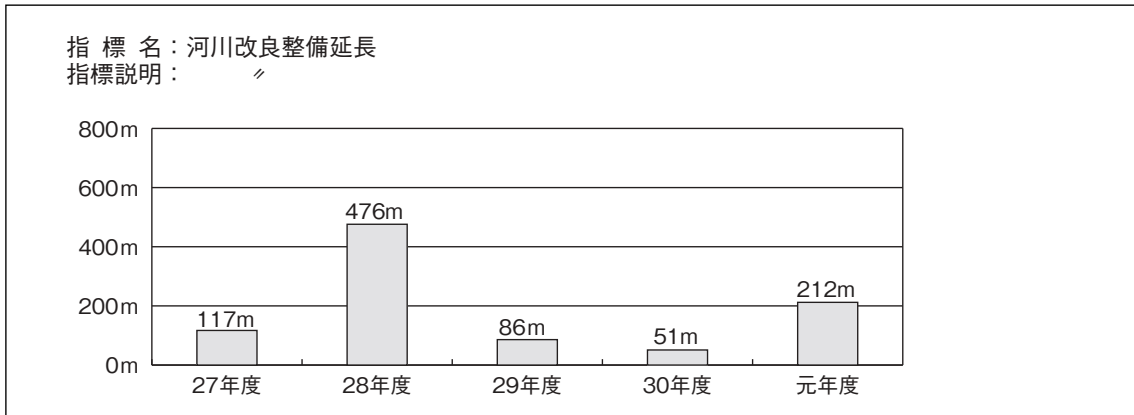
河川・水路等の氾濫による被害から市民の生命・財産を保全するため、流下能力を高める改良工事を行った。今後も氾濫による被害の防止や軽減を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 50,745,561 円

河 川 改 良	平成30年度	令和元年度
	工 事 延 長 51m	工 事 延 長 212m

[指 標]

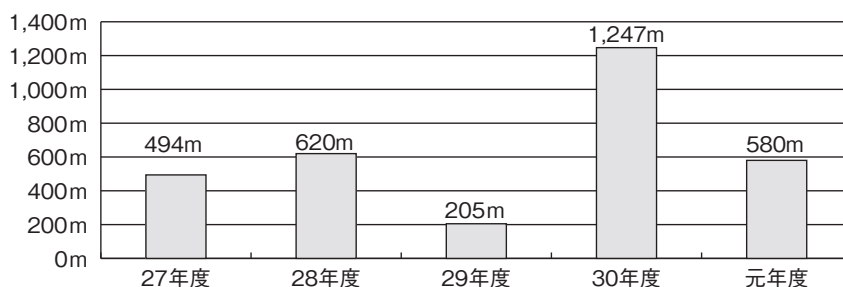


- (2) 水路改良事業費 269,736,347 円

内 容	平成30年度	令和元年度
水 路 改 良	工 事 延 長 1,247m	工 事 延 長 580m

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長
 指標説明： //



(3) 水路改良受託事業費 2,870,506 円

3 大雨浸水対策事業費 51,590,140 円 (河川課)

[総 括]

都市化の進展に伴う流域環境の変化や記録的な大雨による浸水被害に対処するため、水路改良を行った。今後も関連部局との連携により浸水被害の解消を図る。

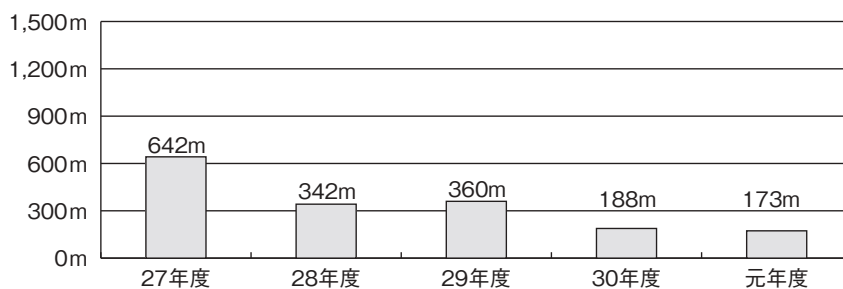
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 51,590,140 円

水 路 改 良	平成30年度	令和元年度
	工 事 延 長 188m	工 事 延 長 173m

[指 標]

指 標 名：大雨浸水対策整備延長
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 土砂災害対策費 <土砂災害対策の推進>	6,746,396	1,680,000	0	0	5,066,396

1 土砂災害対策事業費 6,746,396円 (河川課)

[総括]

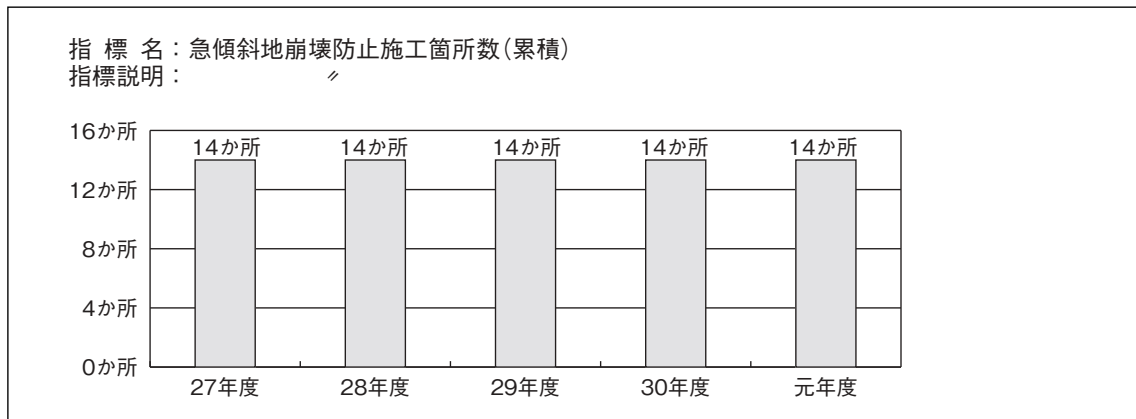
土砂災害防止法に基づく土砂災害(特別)警戒区域においてハザードマップを作成し、周辺住民等に配布した。今後も地元住民の要望に基づき、工事の進捗を県に働きかけるとともに、土砂災害に関する情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 3,386,096円

事業主体	区分 地区名	平成30年度		令和元年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	9,381,960円	938,196円	33,860,960円	3,386,096円

[指標]



(2) 土砂災害ハザードマップ作成事業費 3,360,300円

(国庫補助事業 3,360,000円 市単独事業 300円)

土 砂 災 害 ハ ザ ー ド マ ッ プ 作 成 箇 所 数	平成30年度	令和元年度
	40箇所	48箇所

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,070,098,669	116,564,040	177,600,000	447,045,651	328,888,978
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	1,266,155	0	0	0	1,266,155

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 1,266,155円 (建築指導課)

[総括]

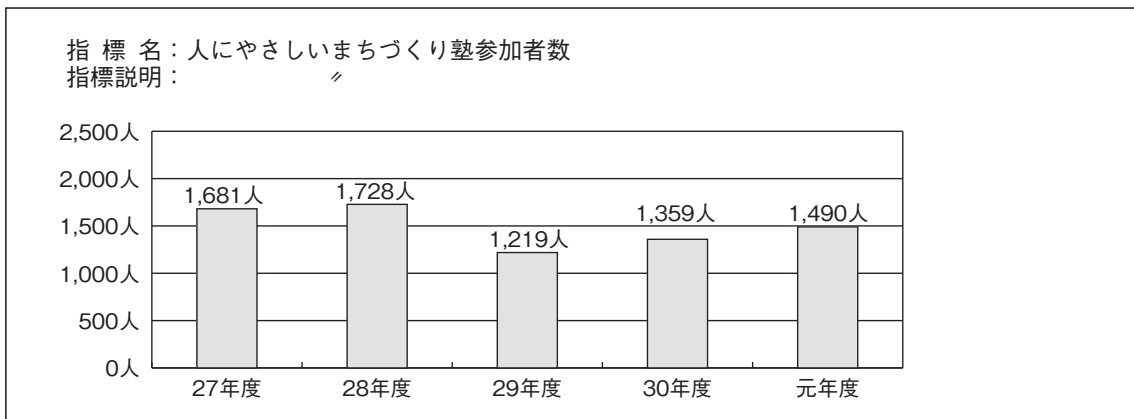
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、高等学校、企業等で開催した。また、ボランティアの養成にもつながる「人にやさしいまちづくり啓発講座」を全3回で実施した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフリーの必要性の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 1,266,155円

啓発事業開催回数	平成30年度	令和元年度	比較
		26回	29回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 居住確保費 <住まいの安定確保>	15,340,680	6,377,000	0	0	8,963,680

1 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 15,175,000円 (住宅課)

[総括]

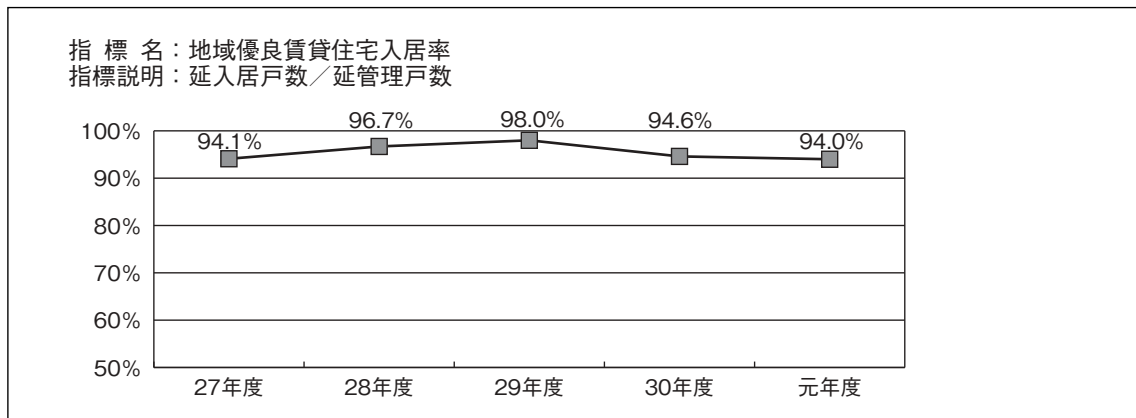
高齢者の居住の安定確保を図るため、地域優良賃貸住宅（高齢者型）を運営する事業者に対して、家賃補助を実施した。今後も高齢者の住まいの安定確保に努める。

[実績及び成果]

(1) 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 15,175,000円

家賃対策補助金	平成30年度	令和元年度
		15,456,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	645,887,848	99,788,000	177,600,000	342,258,207	26,241,641

1 住宅維持管理事業費 478,840,791 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅の効率的かつ効果的な維持管理を行うため計画的な工事、修繕を行った。今後も住宅の環境整備を進め、修繕コストの縮減と、入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

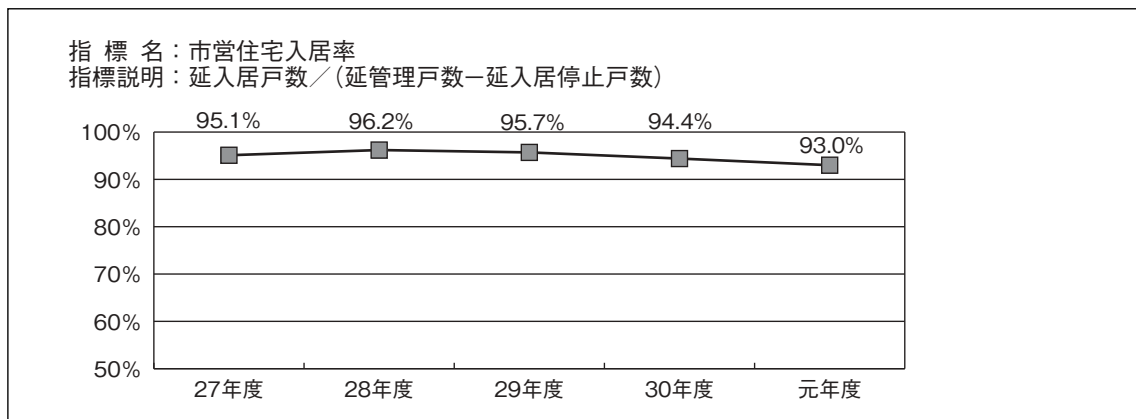
(1) 住宅管理事業費 316,220,045 円

住宅管理戸数 (年度末)	平成30年度	令和元年度
		3,958戸

(2) 住宅維持補修事業費 162,620,746 円

工事内容	平成30年度	令和元年度
屋 上 防 水	栄生	空池
エレベーター更新	—	才ノ神
外 壁 改 修	中野	中野
取 り 壊 し	城山	城山・南栄
遊 具 改 修	—	柳原・向山・栄生・空池・中野・新多米
専 用 管 改 修	—	東山

[指 標]



2 公営住宅建設事業費 159,716,549 円 (住宅課)

[総括]

前年度に完成した西口住宅1号棟へ、既存入居者の移転を行った。

また、令和2年度に西口住宅建替工事(第2期)に着手するため、解体工事及び実施設計を行った。今後も円滑な建替事業の推進に努める。

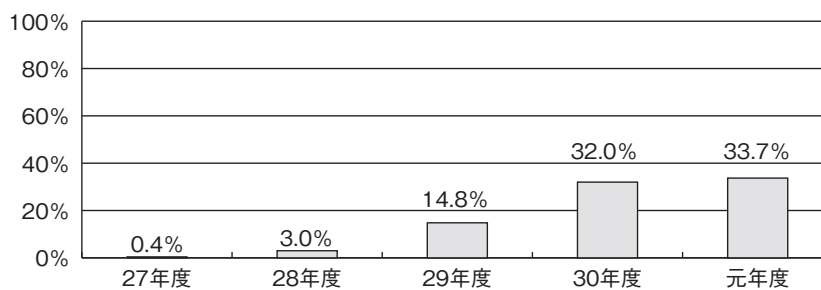
[実績及び成果]

(1) 西口住宅建替事業費 159,716,549 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	建設工事（第1期）しゅん工 高層耐火構造 9階建 延床面積 6,714㎡ 建設年度 平成29～30年度 建設戸数 121戸 植栽工事ほか	

[指 標]

指 標 名：西口住宅建替事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和7年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 <空家対策の推進>	7,680,979	3,450,000	0	0	4,230,979

1 空家対策推進事業費 7,680,979円 (建築物安全推進課)

[総括]

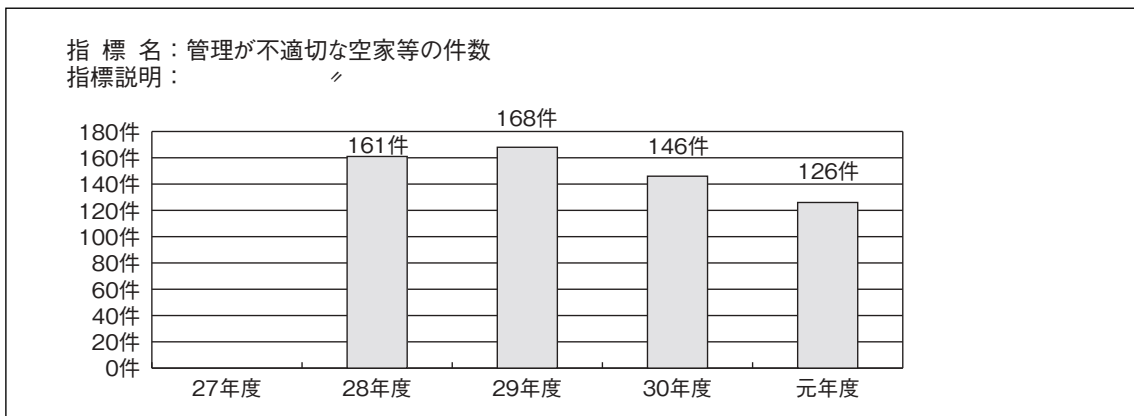
「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに、空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、豊橋市空家等対策協議会において特定空家等の認定につき検討を行い、対象物件に対する助言・指導、勧告、命令を行うことができる態勢を整えた。今後は財産管理人制度を引き続き活用するとともに、空家等対策に関する業務等の提供ができる事業者を募る協力事業者登録制度等、官民連携による新たな手法も用いて市民の生活環境の保全及び地域活力の維持・向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 7,680,979円

区 分	平成30年度	令和元年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	11件	3件	35件
空家利活用改修費補助金補助件数	2	1	6
空家解体促進費補助金補助件数	22	23	85

[指 標]



※件数は、各年度末現在。ただし、豊橋市空家等対策計画にて数値目標を定めた基準時点（H28.12月）では169件あった。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	21,915,135	6,875,000	0	0	15,040,135

1 建築指導事務費 21,915,135円 (建築指導課)

[総括]

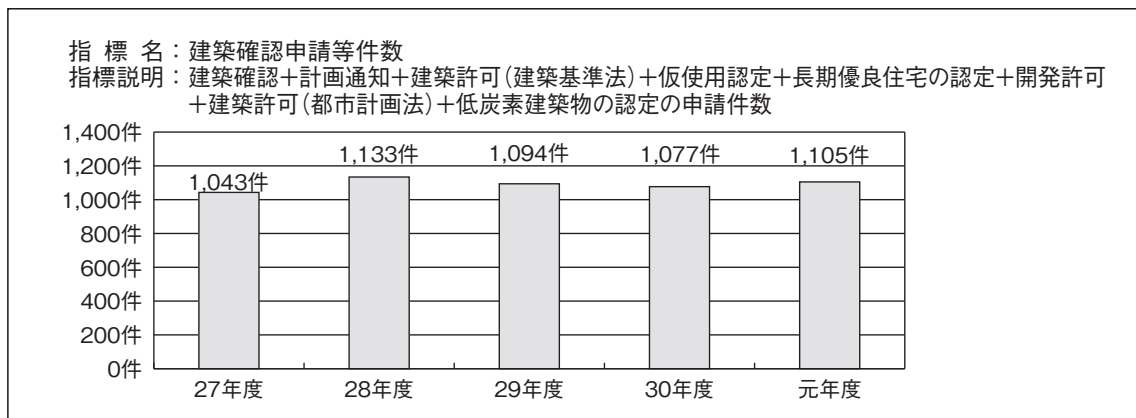
建築基準法に基づく申請のうち、「確認申請」は民間確認検査機関への申請が定着したことにより減少傾向が進み、「計画通知」についても、市内小学校のエレベーター更新工事等の減少により減少した。また、より性能が高いものとして認定される申請のうち、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」は増加した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

(1) 建築指導事務費 21,915,135円

種 別	区 分	件 数		比 較
		平成30年度	令和元年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	16件	12件	△25.0%
	計 画 通 知	36	17	△52.8
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	15	22	46.7
	仮使用認定申請	6	5	△16.7
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	753	819	8.8
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	18	19	5.6
	建 築 許 可 申 請	229	202	△11.8
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	4	9	2.3倍

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	103,112,534	140,000	0	799,638	102,172,896
2目 総合物流費 <総合物流機能の強化>	26,870,617	140,000	0	0	26,730,617

1 港湾関連対策事業費 26,870,617円 (みなと振興課)

[総括]

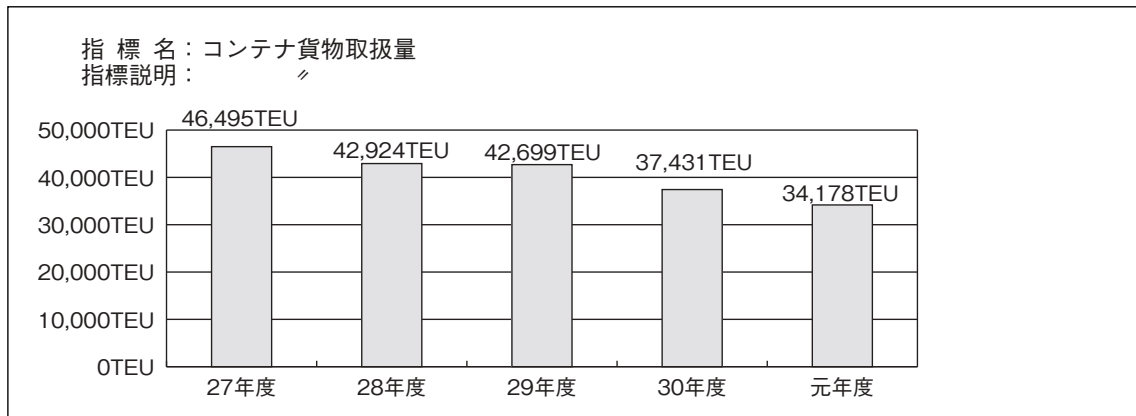
三河港振興会が主体となり、三河港を利用する企業に対し助成金制度等を実施し、コンテナ及び完成自動車取扱量の維持・増加を図り、完成輸入自動車の取扱量は27年連続で日本一を記録した。また、港湾整備の方向性の検討や地元意見を集約するため、三河港港湾計画改訂調査を行った。さらに、三河港振興会50周年記念事業としてシンポジウム等を開催し広く三河港の利用周知を行った。しかしながらコンテナ貨物の取扱量については、航路再編等の影響を受け4年連続で減少している。今後は、コンテナ貨物取扱量の増加に向け、新たな助成制度の創設や現行制度の拡充、定期航路の周知やポートセールス活動を強化するとともに、総合的な物流機能を強化するため、国や県に対して積極的な要望活動を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,300,617円
(2) 三河港振興会負担金 21,570,000円

内 容	平成30年度	令和元年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	7,500,000	7,500,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	12,000,000	7,920,000
三河港活性化可能性調査事業負担金	500,000	0
三河港港湾計画改訂調査負担金	0	4,970,000
三河港振興会50周年記念事業負担金	0	580,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3日 港 湾 費 <みなとのにぎわいの創出>	23,395,262	0	0	638,652	22,756,610

1 みなとにぎわい創出事業費 334,008 円 (みなと振興課)

[総括]

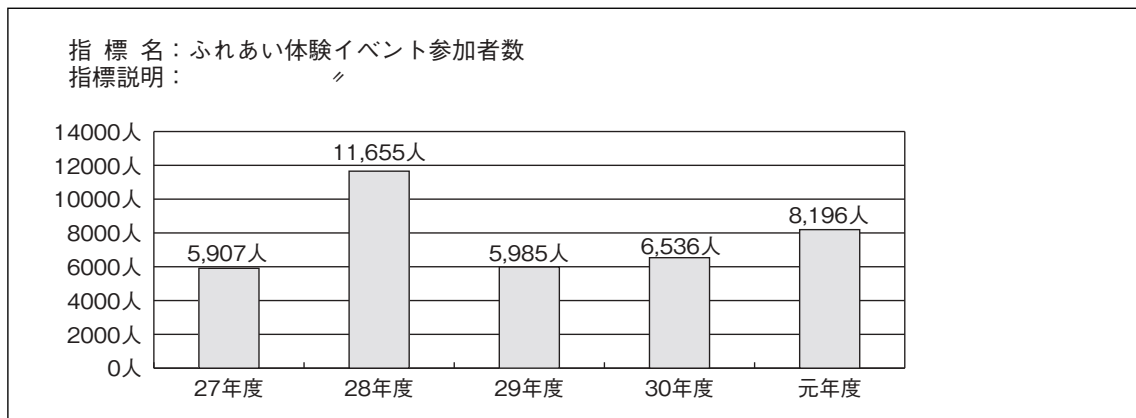
港の重要性や必要性を理解してもらい、港にふれあう機会を提供する場として、カモメリアを拠点として様々なイベントを実施した。令和元年度は、新たな取組みとして三河港モーターショーを豊橋みなとフェスティバルと同時に開催したことにより、多くの来場者を得て国際自動車港湾である三河港についてPRすることができた。今後も、集積するインポーターや臨海部企業等との連携により、地域のにぎわいへとつながる産業観光の取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 334,008 円

内 容	平成30年度	令和元年度
イベント開催数	8回	5回
イベント参加者数	6,536人	8,196人

[指標]



※ 28年度は、海フェスタ東三河開催に合わせてイベントを実施したため参加者が増加した。

2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 17,061,254 円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。

令和元年度は、展示物の更新や図書コーナーの充実を図った。今後も、適切なサービスの提供や展示内容の刷新を図り、利用者に親しまれる施設にしていく。

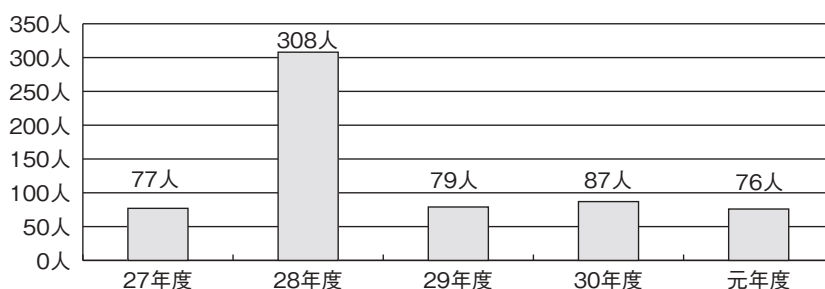
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 17,061,254 円

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開 館 日 数	358日	359日	0.3%
利 用 者 数	延 31,202人	延 27,406人	△12.2

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



※ 28年度は「海フェスタ東三河」開催年度（H28.7.16～H28.7.31）

3 港イベント事業費 6,000,000円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。令和元年度も、平成28年度に開催された海フェスタ東三河で培った企業や団体、東三河8市町村の協力・連携を引き継ぎ、東三河観光PRや交流ステージを実施したほか、三河港モーターショーを同時開催したことにより、前年度を上回る参加団体数となるなど、三河港への関心や親しみにつながる取り組みとなった。

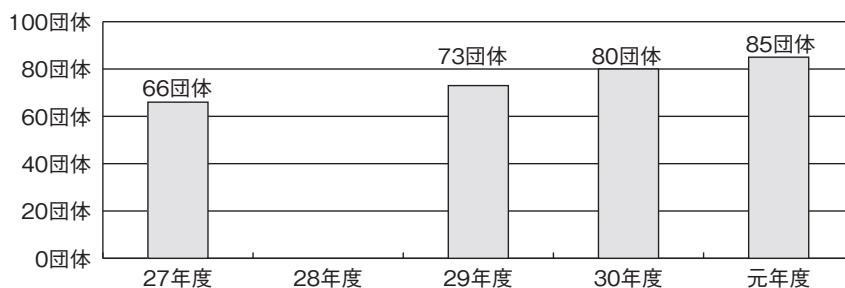
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 6,000,000円

補 助 金	平成30年度	令和元年度
	6,000,000円	6,000,000円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数
 指標説明：〃



※ 28年度は、海フェスタ東三河開催のためみなとフェスティバルの開催無し

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	4,261,274,648	1,108,338,000	685,700,000	59,209,178	2,408,027,470
2目 公園緑地費 <公園・緑地の充実>	661,285,999	24,684,790	900,000	10,740,822	624,960,387

1 公園施設維持管理事業費 498,959,787円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内538箇所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 399,692,873円

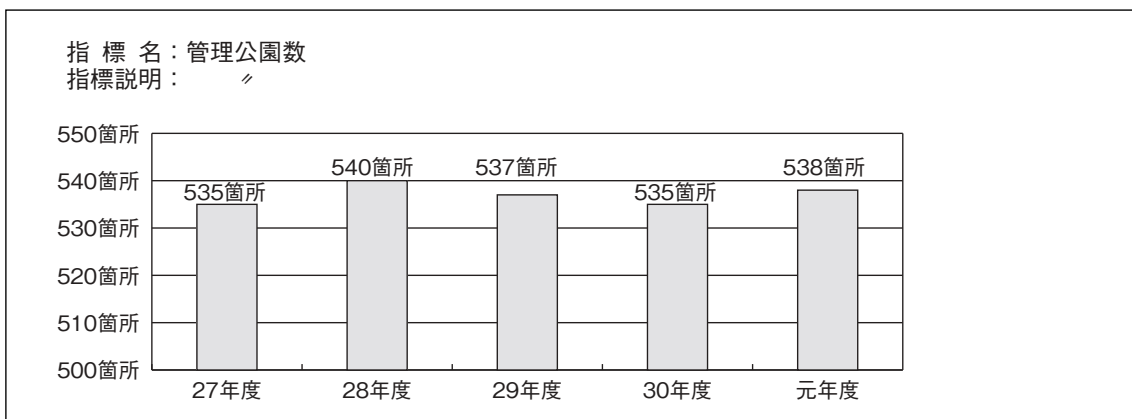
除草清掃・施設管理委託等	平成30年度	令和元年度
		高師緑地始め535箇所

(2) 公園修繕事業費 99,266,914円

(国庫補助事業 29,993,580円 市単独事業 69,273,334円)

内 容	平成30年度	令和元年度
照 明 灯 修 繕	黒福公園ほか	豊橋公園ほか
遊 具 補 修	竜ヶ池公園ほか	牛川通三丁目ちびっこ広場ほか
諸施設及び塗裝修繕等	豊橋総合スポーツ公園ほか	天伯第二公園ほか
外 柵 修 繕	坪ノ谷公園ほか	大清水第十公園ほか
照 明 灯 更 新	岩田運動公園ほか	幸公園ほか
遊 具 更 新	大塚公園ほか	小鷹野公園ほか

[指 標]



2 公園緑地整備事業費

33,635,220 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、豊栄ちびっこ広場を整備するとともに汐田公園の整備に着手した。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街区公園等整備事業費

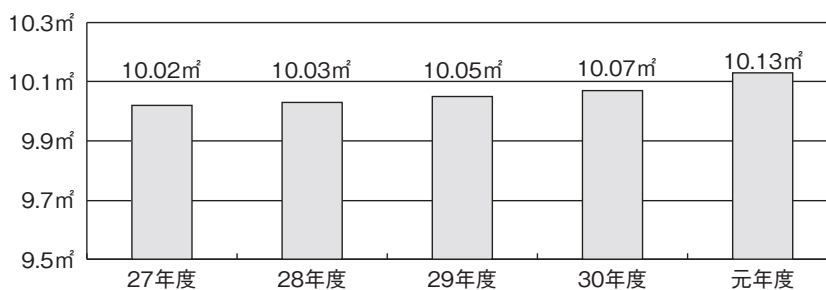
33,635,220 円

(国庫補助事業 2,000,000 円 県費補助事業 20,966,000 円 市単独事業 10,669,220 円)

公園名	平成30年度	令和元年度
	東里公園ほか 遊具広場整備等	汐田公園ほか 遊具広場整備等

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積
 指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動費 <緑化・美化活動の推進>	405,811,804	28,340,000	0	1,920,000	375,551,804

1 緑化維持管理事業費 351,085,717円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も市民の安全に配慮した維持管理を推進する。

[実績及び成果]

- (1) 街路樹等維持管理事業費 221,798,443円
(県費補助事業 151,000円 市単独事業 221,647,443円)

路 線 名	平成30年度	令和元年度
		菰口町・旭町1号線始め277路線

- (2) 公園樹等維持管理事業費 112,690,233円

公 園 名	平成30年度	令和元年度
		牛川遊歩公園始め398公園

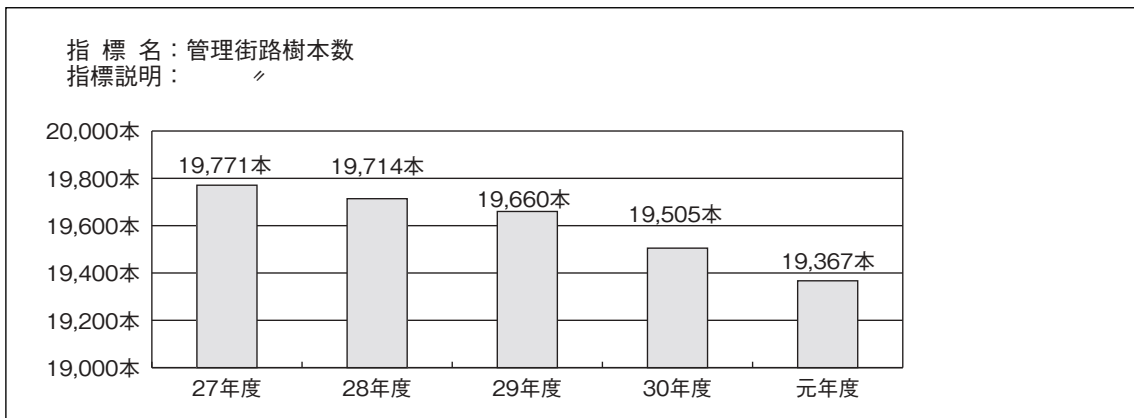
- (3) 街路樹等維持補修事業費 8,764,140円

路 線 名	平成30年度	令和元年度
		富士見台8号線ほか

- (4) 軌道緑化維持管理事業費 7,832,901円

内 容	平成30年度	令和元年度
		維持管理面積 658㎡

[指標]



2 緑化推進事業費 35,417,829円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア、桜の植栽イベント等を開催するとともに、市民に愛着のある緑化を推進するため、街路樹の植え替えを行い再生を図った。また緑豊かなまちづくりの基本的な方針を定めるため緑の基本計画の改訂に着手した。

[実績及び成果]

- (1) 街路樹等緑化推進事業費 27,072,640 円
 (県費補助事業 24,097,000 円 市単独事業 2,975,640 円)

内 容	平成30年度			令和元年度		
	東森岡・石巻町1号線			富士見台8号線		
高木植栽	ヤマボウシ	93本	高木植栽	ヤマボウシ	28本	
低木植栽	ヒラドツツジ	150本	低木植栽	オウゴンモチ	19本	

- (2) 公園樹等緑化推進事業費 3,582,292 円
 (県費補助事業 3,568,000 円 市単独事業費 14,292 円)

内 容	平成30年度			令和元年度		
	岩屋緑地			岩屋緑地		
高木植栽	サクラ	24本	高木植栽	サクラ	29本	

- (3) 緑の基本計画策定事業費 4,646,897 円

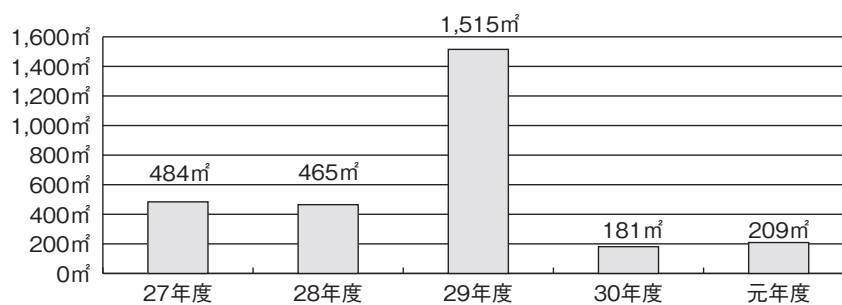
内 容	平成30年度			令和元年度		
	—			緑の基本計画策定委託		

- (4) 民有地緑化推進事業補助金 116,000 円
 (県費補助事業 116,000 円)

内 容	平成30年度			令和元年度		
	0件			1件		

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積
 指標説明：〃



3 公園等維持管理事業費

18,063,393 円（公園緑地課）

[総括]

市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行うとともに、ペDESTリアンデッキで花壇を整備した。今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

[実績及び成果]

(1) 公園等美化活動事業費

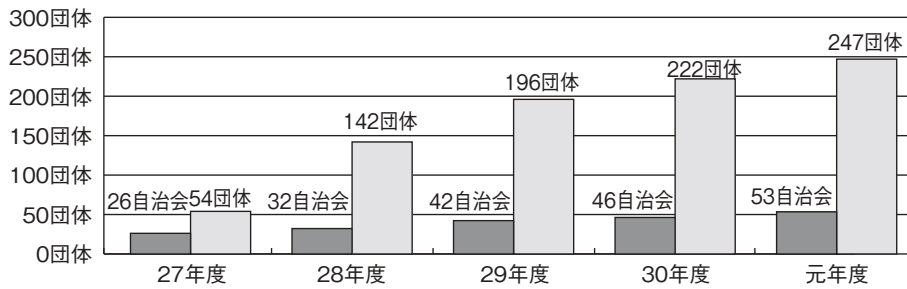
18,063,393 円

(県費補助事業 408,000 円 市単独事業 17,655,393 円)

区 分	平成30年度	令和元年度
公園管理自治会数	46自治会	53自治会
緑のアダプト制度登録数	222団体	247団体
ペDESTリアンデッキ 花壇整備事業参加者数	104名	62名

[指標]

指標名：公園管理自治会数・緑のアダプト制度登録数
 指標説明：
 〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ公園整備費 <公園・緑地の充実>	566,719,923	211,078,210	327,600,000	3,535,240	24,506,473

1 総合スポーツ公園整備事業費 566,719,923円 (公園緑地課)

[総括]

多世代の市民がスポーツやレクリエーションに親しめる公園として整備するため、C地区サッカー場を整備した。今後もスポーツ施設及び災害時の広域防災活動拠点としての機能のさらなる充実を図る。

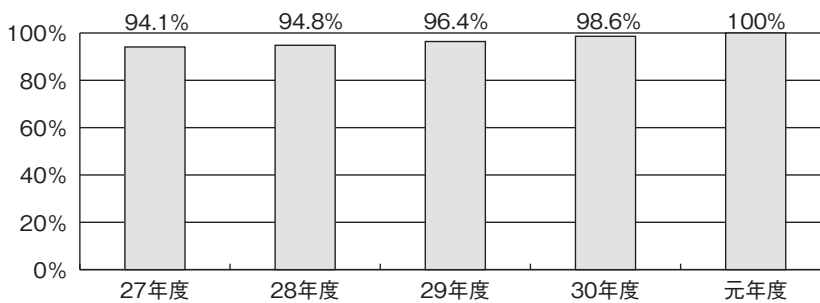
[実績及び成果]

- (1) 総合スポーツ公園整備事業費 566,719,923円
(国庫補助事業 422,156,420円 市単独事業 144,563,503円)

内 容	平成30年度	令和元年度
	C地区サッカー場整備	C地区サッカー場整備

[指標]

指標名：総合スポーツ公園整備事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成10年度～令和元年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 都市計画推進費 <コンパクトなまちづくりの推進>	23,595,082	34,000	0	0	23,561,082

1 都市計画推進事業費 23,595,082 円 (都市計画課)

[総括]

持続可能なまちづくりを進めるため、現行の都市計画マスタープランの改定を行っている。また、まとまりがあり暮らしやすいまちを実現するため、都市に必要な機能や居住の誘導を目的とした「豊橋市立地適正化計画」に基づき、本市独自に設定した「歩いて暮らせるまち区域」への居住誘導策を行った。

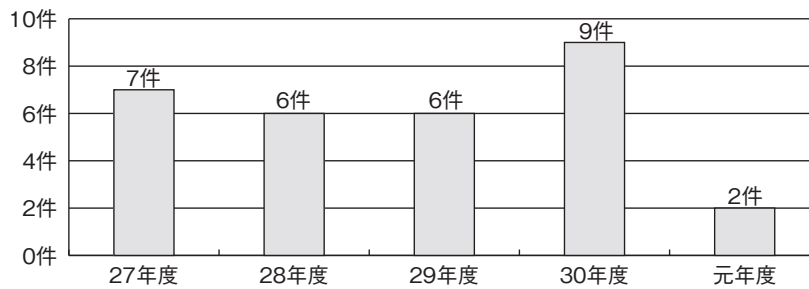
[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 15,344,189 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	豊橋市立地適正化計画の策定・推進 都市計画道路概略検討調査業務	都市計画マスタープラン改定業務 豊橋市立地適正化計画の推進

[指標]

指標名：都市計画審議会において議決・報告された都市計画決定・変更等の件数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中心市街地再開発費 <魅力ある中心市街地の整備>	1,230,428,886	844,201,000	357,200,000	454,361	28,573,525

1 再開発推進事業費 478,095 円 (まちなか活性課)

[総括]

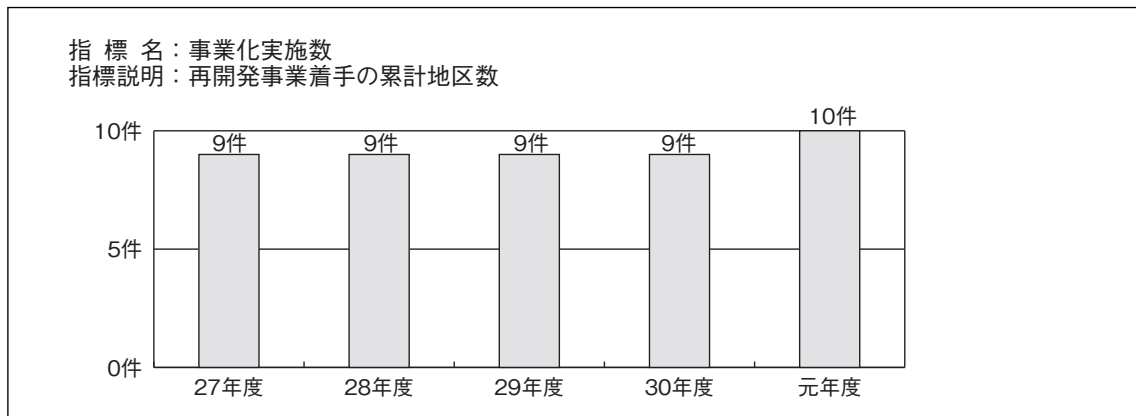
駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業及び豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業において、事業者に対する支援・指導を行った。また、広小路一丁目北地区において、再開発を推進するための協議会設立に係る関係者の調整を行った。今後もこれら事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 478,095 円

事業費	平成30年度	令和元年度
		385,325円

[指標]



2 市街地再開発等事業費 1,041,024,000 円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業や豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業の事業者に対して助成等を行った。また、中心市街地におけるまちづくりの方向性や整備手法の指針となる市街地総合再生基本計画の策定業務を行った。

[実績及び成果]

(1) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費 815,800,000 円

内 容	平成30年度	令和元年度
		東街区建築物除却、東棟建築工事等

(2) 豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業費 216,424,000 円

内 容	平成30年度	令和元年度
		—

(3) 豊橋駅周辺地区再開発推進事業費 8,800,000 円

内 容	平成30年度	令和元年度
		—

3 中心市街地環境整備事業費 178,658,027 円（まちなか活性課）

[総括]

豊橋駅西口駅前地区の優良建築物等整備事業隣接街区にて、駅前広場の整備に向けた調査及び関係者の調整を行った。また、中心市街地に「歩く楽しみ」という新たな魅力を加えるストリートデザイン事業では、萱町通りにおいて前年度に引き続き工事を進め、水上ビル北側では新規工事着手した。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 8,839,824 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	事業化に向けた関係者の調整	

(2) ストリートデザイン事業費 169,818,203 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	工事（萱町通り L=約150m） 基本計画策定（広小路通り（一丁目））	

4 中心市街地活性化推進事務費 1,044,762 円（まちなか活性課）

[総括]

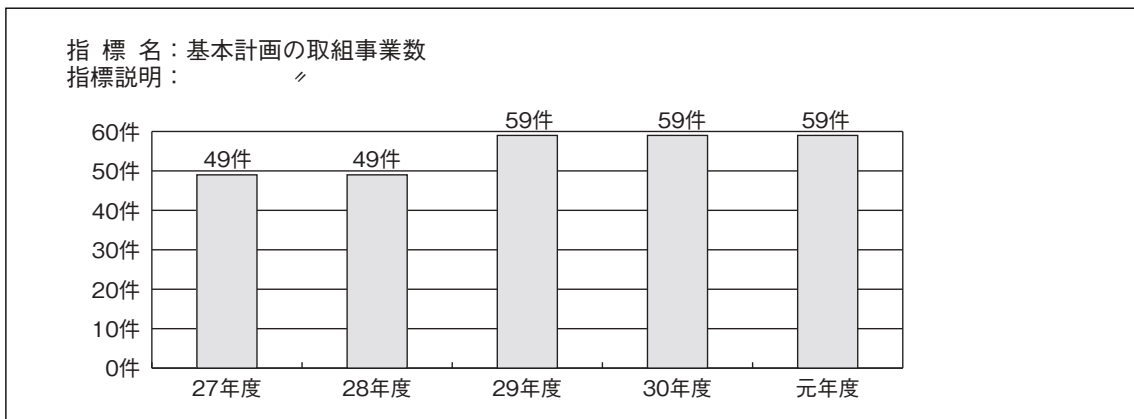
中心市街地活性化基本計画の事業効果を継続的に確認するために通行量調査を実施した。今後も中心市街地の活性化に向けた取組を着実に推進していく。

[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,044,762 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	中心市街地通行量調査	

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 まちづくり景観形成費 <調和のとれた景観の形成>	12,913,863	0	0	1,179,854	11,734,009

1 まちづくり景観推進事業費 12,913,863円 (都市計画課)

[総括]

豊橋らしい美しいまちをつくるため、平成30年度に実施した調査結果を踏まえ、豊橋市景観計画ガイドラインの案を作成した。また、景観形成地区において基準に適合する良好な建築行為に対する助成等を行った。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 9,056,009円

区 分	平成30年度	令和元年度
計 画 策 定	豊橋市景観計画策定調査業務	豊橋市景観計画ガイドライン等策定業務

(2) まちづくり景観形成助成金 2,678,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 2,678,000円

助 成 金	平成30年度	令和元年度
	5件 2,187,000円	4件 2,678,000円

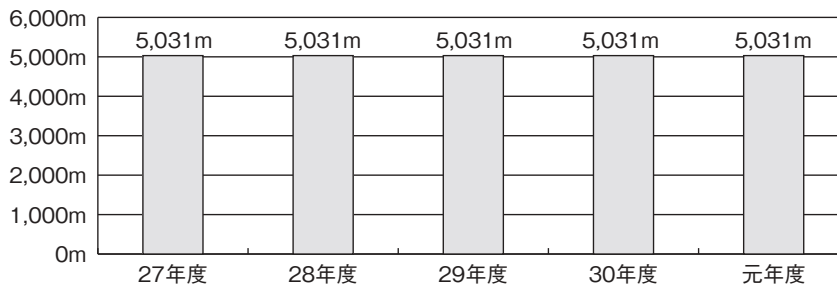
(3) 屋外広告物対策事業費 1,179,854円

区 分	平成30年度	令和元年度
許 可 件 数	653件	1,384件
違反屋外広告物撤去件数	168	70

[指 標]

指 標 名：景観形成地区内道路延長

指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 公共交通活性化費 <公共交通の利便性向上>	39,110,248	0	0	22,073,687	17,036,561

1 公共交通活性化事業費 35,627,930 円 (都市交通課)

[総括]

平成29年3月に制定した「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」に基づき、「豊橋市都市交通計画2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、路線バスの利用促進事業や駅駐輪場の整備などを行い、利便性の向上を図った。また、深刻な運転士不足を解消するため、乗合事業運転士確保支援事業を行った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、誰もが安心・安全で快適に移動できる環境を整え、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 都市交通計画推進事業費 35,627,930 円

(ア) 乗合事業運転士確保支援事業 2,162,856 円

内 容	平成30年度	令和元年度
説明会参加者数	—	9人
採用者数	—	1

(イ) 渥美線愛知大学前駅サイクル&ライドの推進 1,188,000 円

駐 輪 台 数	平成30年度	令和元年度
	—	126台

(ウ) 渥美線新豊橋駅ホーム転落防止柵設置補助金 1,300,000 円

(エ) 路線バス利用促進事業費 6,316,330 円

[幹線バス終バス延長実施事業]

幹線バスの終バスを 延長した路線数	平成30年度	令和元年度
	3路線	3路線

[高齢者等路線バス利用促進事業]

元気バスの助成者数	平成30年度	令和元年度
	1,041人	1,277人

(オ) ユニバーサルデザインタクシー購入補助金 1,650,000 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	11台	11台

(カ) 渥美線南栄駅バリアフリー化事業補助金 20,000,000 円

(キ) 渥美線南栄駅駐輪場整備事業補助金 740,464 円

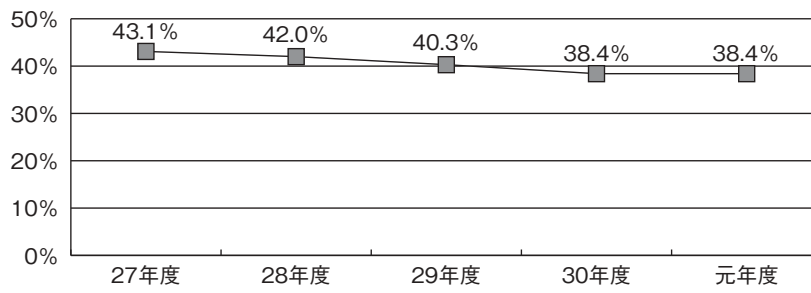
内 容	平成30年度	令和元年度
	—	駐輪場の改修工事

(ク) モビリティマネジメント推進費等 2,270,280 円

[指 標]

指 標 名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 公共交通対策費 <公共交通の維持と利用促進>	126,908,723	0	0	8,867,840	118,040,883

1 公共交通対策事業費 126,908,723円 (都市交通課)

[総括]

利用しやすく持続可能な公共交通とするため、交通施設の改修に必要な支援を行った。また、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となりコミュニティバス(「地域生活」バス・タクシー)の本格運行事業を新たに川北地区を加えた5地区で実施した。今後も公共交通の利用を促す取組みを実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 126,908,723円

(ア) 路面電車軌道敷整備事業補助金 15,580,975円

実施箇所	平成30年度	令和元年度
	赤岩口交差点 単路部(東田～競輪場前間)	

(イ) バス運行対策費補助金 72,980,000円

補助路線数	平成30年度	令和元年度
		11路線

(ウ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 32,256,254円

本格運行地区	平成30年度	令和元年度
	東部地区、北部地区 南部地区、前芝地区	東部地区、北部地区、南部地区 前芝地区、川北地区

(エ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 576,787円

運営団体数	平成30年度	令和元年度
		7団体

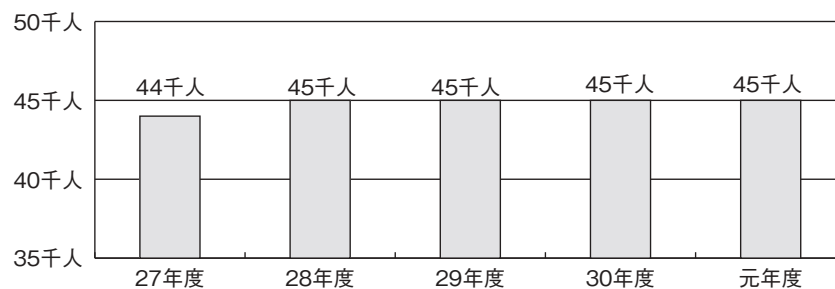
(オ) 道の駅周辺移動サービス実証運行事業 4,633,107円

利用者数	平成30年度	令和元年度
		—

(カ) 公共交通利用促進費等 881,600円

[指標]

指標名：公共交通の1日当たりの利用者数
 指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数/運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 自転車活用推進費 <自転車活用の推進>	7,441,761	0	0	0	7,441,761

1 自転車活用推進事業費 7,441,761 円 (都市交通課)

[総括]

自転車利用者の誘客による地域振興や観光振興を図るため、サイクリングマップの作成を行うとともに、サイクリング中に休憩や自転車の簡易なメンテナンスを行うことができるサイクルピットを設置した。また、平成26年3月に策定した「豊橋市自転車活用推進計画」の計画期間満了を見据え、国の自転車活用推進計画を勘案した次期計画を、令和元年度から2年度にかけて改定を進めていく。今後も「豊橋市自転車活用推進計画」に基づき、市民、企業、学校、各種関係団体、国、県などとの連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取り組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 7,441,761 円

(ア) 自転車活用推進計画改定 6,190,961 円

内 容	平成30年度	令和元年度
		—

(イ) サイクルピット整備事業 683,110 円

実 施 箇 所	平成30年度	令和元年度
		7箇所

(ウ) サイクリングマップ作成 285,000 円

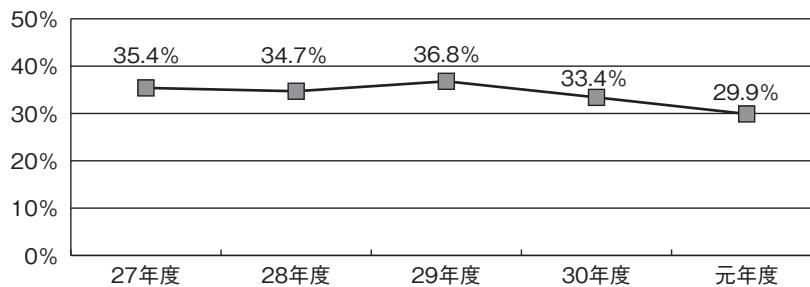
作 成 部 数	平成30年度	令和元年度
		—

(エ) 自転車活用推進費 282,690 円

内 容	平成30年度	令和元年度
		自転車活用推進委員会等の開催

[指 標]

指 標 名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価
 指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区画整理費	1,380,224,147	293,997,500	592,900,000	59,554,080	433,772,567
2目 市街地整備費 <コンパクトなまちづくりの推進>	1,205,638,816	293,997,500	592,900,000	59,513,480	259,227,836

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 474,169,816 円 (区画整理課)

[総括]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の早期完了に向けて、建物等移転補償、道路築造、宅地造成等を計画的に進め、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 474,169,816 円
(国庫補助事業 313,786,000 円 市単独事業 160,383,816 円)

(ア) 道路築造費 53,189,195 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	延長 654m	延長 369m

(イ) 宅地造成費 250,800 円

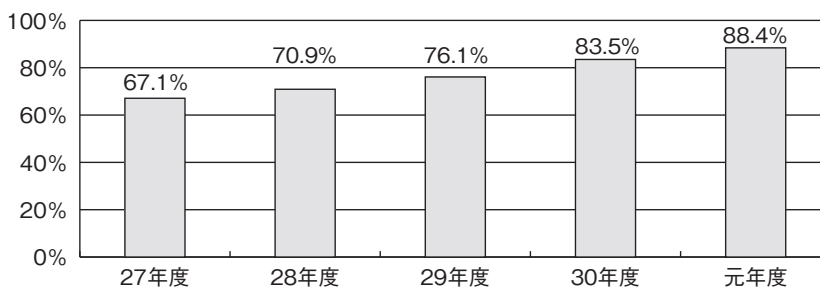
内 容	平成30年度	令和元年度
	面積 3,406㎡	面積 1,179㎡

(ウ) 補償費 309,736,868 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	建物 16戸 工作物、電柱 水道管移設 635m	建物 10戸 工作物、電柱 水道管移設 406m

[指標]

指標名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～令和7年度)



※令和元年度の事業計画変更による全体直接事業費にて再算定

2 組合土地区画整理推進事業費 728,469,000 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、助成した。また、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 142,952,000 円

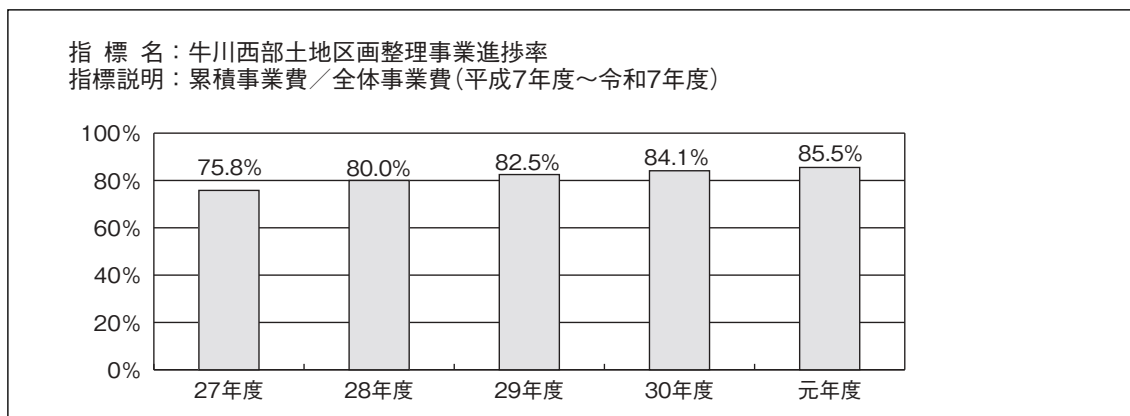
(ア) 土地区画整理事業補助金 124,202,000 円

補助金	平成30年度	令和元年度
	135,597,000円	124,202,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 18,750,000 円

負担金	平成30年度	令和元年度
	11,300,000円	18,750,000円

[指標]



※令和元年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 585,517,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 555,517,000 円

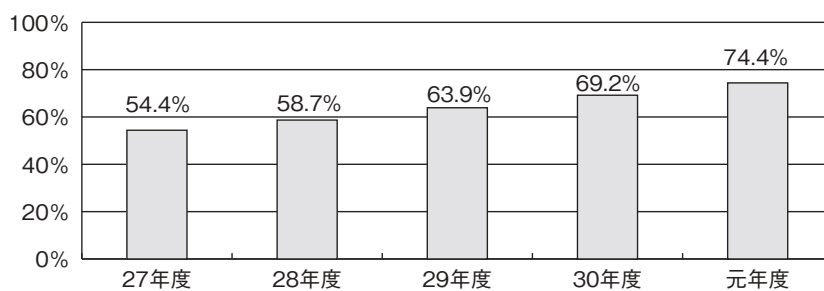
補助金	平成30年度	令和元年度
	698,767,005円	555,517,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 30,000,000 円

負担金	平成30年度	令和元年度
	24,200,000円	30,000,000円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
指 標 説 明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～令和8年度)



※令和元年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,750,325,442	17,787,000	288,300,000	158,005,838	3,286,232,604
1 項 消 防 費	3,750,325,442	17,787,000	288,300,000	158,005,838	3,286,232,604
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	882,066,569	5,877,000	277,800,000	137,397,495	460,992,074

1 消防署所施設管理事業費 67,571,956 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防防災活動の拠点となる消防庁舎の長寿命化及び機能強化を図るため、築年数 40 年を経過する南消防署の改良保全工事に向けた実施設計を行った。

[実績及び成果]

(1) 消防署所施設管理事業費 67,571,956 円

(ア) 南消防署庁舎改修実施設計 11,000,000 円

2 通信指令事業費 238,240,853 円 (通信指令課)

[総括]

平成 29 年度に部分更新された消防通信指令システムの効率的な運用のため、通信指令員の機器操作の習熟、緊急通報への対応能力の向上を継続的に図るとともに、Net119 緊急通報システム及び電話通訳センターを介した三者間同時通訳の導入による消防通信指令システムの強化を図り、各種災害における被害軽減に努めた。

[実績及び成果]

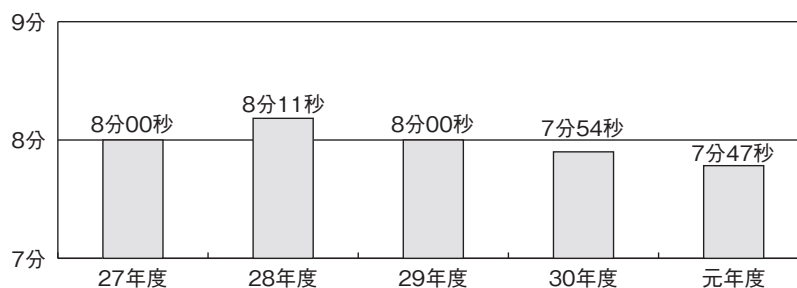
(1) 通信指令事業費 238,240,853 円

[受信内訳]

内 容	平成 3 0 年度	令和元年度	比 較
119 番 通 報 件 数	20,673件	20,407件	△ 1.3%
固 定 電 話	6,732	6,302	△ 6.4
携 帯 電 話	9,918	9,985	0.7
I P 電 話	4,023	4,120	2.4

[指 標]

指 標 名：119番(火災・救急・救助)受信から現場到着までに要した時間(平均)
指 標 説 明：所要時間／件数



3 消防署所車両等設備管理事業費 66,813,504 円（消防救急課）

[総括]

複雑多様化する各種災害に対応するため、車両及び活動用資機材の点検整備、修繕など維持管理を徹底するとともに、老朽化した車両の計画的更新整備により消防体制の充実強化を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防署所車両等設備管理事業費 66,813,504 円

[緊急車両更新]

内 容	平成30年度	令和元年度
	54m級はしご付消防自動車 1台	指揮車 1台

4 警防活動費 7,697,225 円（消防救急課）

[総括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。特に、若年層消防隊員のスキルアップを図るため、階層別の消防士育成研修など計画的に教育訓練を実施し、消防活動体制の強化に努めた。また、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、今後も東三河各消防本部、警察等の関係機関と連携した各種災害想定訓練を実施していく。

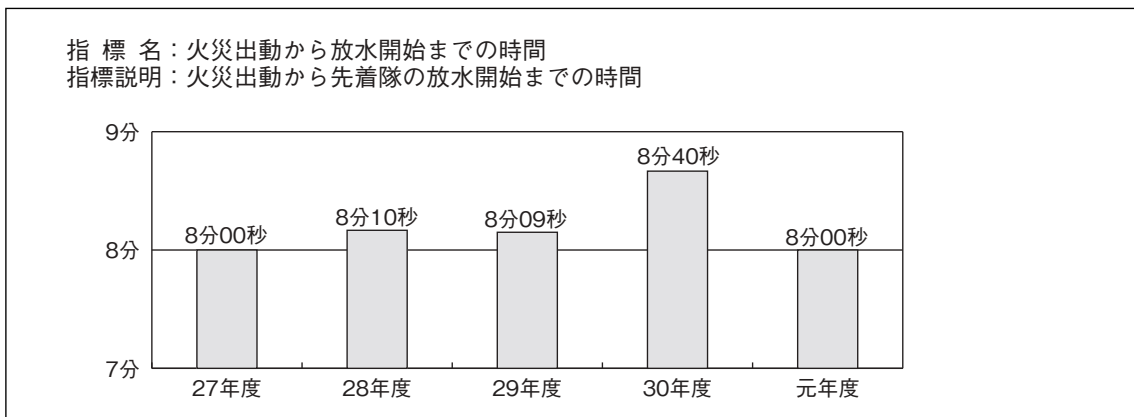
[実績及び成果]

(1) 警防活動費 7,697,225 円

[火災発生状況]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
出 火 件 数	109件	90件	△17.4%
り 災 棟 数	63棟	62棟	△ 1.6
り 災 世 帯	35世帯	28世帯	△20.0
り 災 人 員	88人	78人	△11.4
焼 損 面 積 (建物)	1,503㎡	1,526㎡	1.5
損 害 額	110,742千円	67,697千円	△38.9

[指 標]



5 消防団活動事業費

142,935,031 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防団員の安全確保のため、装備品と活動用資機材の充実を図るとともに、消防署との合同訓練や災害時活動マニュアル研修会、機能別団員研修を実施し、災害対応能力の向上に努めた。また、市民に消防団の必要性について正しく理解してもらうため、各種イベントにおいて消防団員を中心としたPR事業を展開したほか、各地域の分団においては、「シャッターアートプロジェクト」などの活動を通じて、自治会や地域住民との繋がりを作り、消防団員の確保に努めた。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 134,329,431 円

[災害出動・公務活動人数]

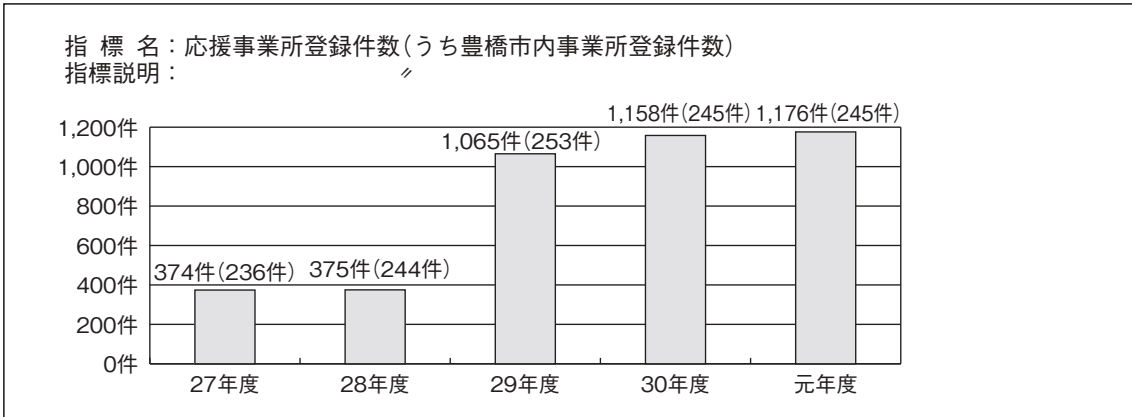
区 分	平成30年度	令和元年度	比較
災害出動	4,744人	3,504人	△26.1%
公務活動	10,793	9,415	△12.8

(2) 消防団交付金 8,605,600 円

[交付金内訳]

区 分	平成30年度	令和元年度
消防団交付金	800,000円	800,000円
方面隊交付金	688,000	688,000
分団交付金	6,817,600	6,817,600
消防はしご登り保存会交付金	300,000	300,000
計	8,605,600	8,605,600

[指標]



※ 27年度～28年度「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数

※ 29年度～ 「あいち消防団応援の店」の登録件数

6 前芝出張所施設整備事業費 260,685,830 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防防災活動拠点の強化を図るため、平成30年度から2か年継続事業で中消防署前芝出張所の新庁舎建設工事を実施し、令和2年3月に竣工し事業を完了した。

[実績及び成果]

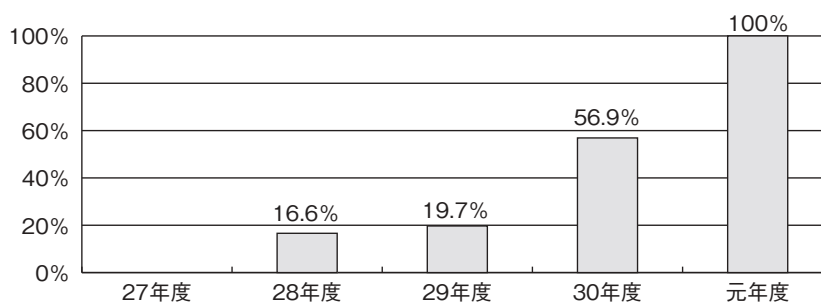
(1) 前芝出張所施設整備事業費 260,685,830 円

2か年継続事業 総事業費 371,232,920 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建 太陽光発電システム設置	車庫、事務室、仮眠室、訓練室、 救急消毒室等	794㎡
鉄骨造 平屋建	車庫	75.81㎡

[指 標]

指 標 名：前芝出張所施設整備事業進捗率
 指標説明：累積実施事業費／総事業費(平成28年度～令和元年度)



※令和元年度の総事業費にて、28年度から再算定

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	49,668,597	11,910,000	10,500,000	100,000	27,158,597

1 救急事業費 47,820,811 円 (消防救急課)

[総括]

救命率の向上を図るため、救急救命士の養成や処置範囲の拡大への対応、医療機関との連携強化など救急救命体制の充実に努めるとともに、救急車を必要とするけがなどを未然に防ぐ予防救急への取組み、市民や事業所と協働した救命講習や小中学生への応急手当の普及啓発に努めた。今後も救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し救急救命体制の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 46,103,038 円

研修派遣内訳		平成30年度	令和元年度
救 急 救 命 士	救急救命士養成	2人	2人
	包括運用教育講習	3	3
	気管挿管運用試験	2	2
	薬剤投与運用試験	3	3
	処置範囲拡大追加講習	4	3
救急隊員資格取得		10	11

(2) 応急手当普及啓発事業費 1,543,012 円

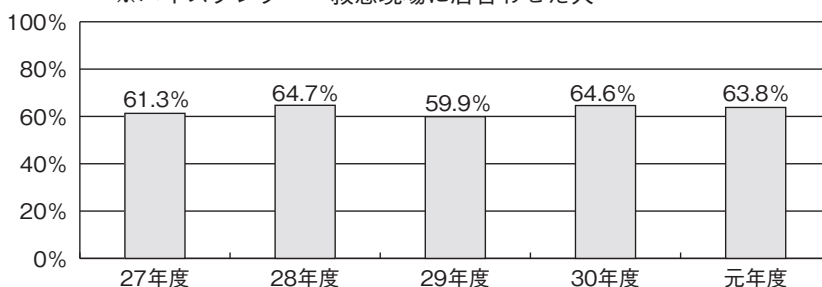
救命講習内訳	平成30年度	令和元年度	比較
応急手当指導員	51人	46人	△ 9.8%
応急手当普及員	65	70	7.7
普通救命	3,556	2,996	△15.7
上級救命	93	56	△39.8
その他講習	1,473	861	△41.5
救命入門コース	7,814	8,690	11.2
計	13,052	12,719	△ 2.6

(3) 救急活動費 174,761 円

救急発生状況内訳	平成30年度	令和元年度	比較
急病	10,426件	10,257件	△ 1.6%
一般負傷	1,882	1,955	3.9
交通事故	1,278	1,164	△ 8.9
労働災害	154	150	△ 2.6
運動競技	113	117	3.5
加害	46	49	6.5
その他	1,932	1,993	3.2
計	15,831	15,685	△ 0.9

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)
 指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費 1,847,786 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。特に新規救助隊員に対し、各署所との連携訓練を計画的に実施し、救助活動体制の強化に努めた。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図る。

[実績及び成果]

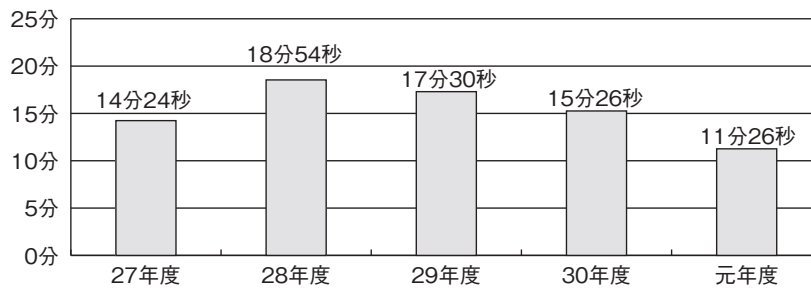
(1) 救助事業費 1,847,786 円

[救助発生状況]

救助発生状況内訳		平成30年度	令和元年度	比 較
火 災	建 物 火 災	40件	41件	2.5%
	建 物 火 災 以 外	5	9	80.0
火 災 以 外 の 事 故	交 通 事 故	35	52	48.6
	水 難 事 故	9	9	0.0
	自 然 災 害	0	0	0.0
	機 械 に よ る 事 故	0	7	皆増
	建 物 等 に よ る 事 故	37	44	18.9%
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	1	3	3.0倍
	破 裂 事 故	0	1	皆増
そ の 他 の 事 故	45	70	55.6%	
計		172	236	37.2

[指 標]

指 標 名：現場到着から救助完了までの時間
指標説明：救助隊の現場到着から救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の強化>	14,394,065	0	0	67,500	14,326,565

1 火災予防対策事業費 14,394,065円 (予防課)

[総括]

火災を未然に防ぐため、また火災による被害を最小限に抑えるため、各種研修会や防火教室、事業所への火災予防対策を実施するとともに、各種イベントを通じて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理を促進した。また、小規模特定飲食店等への消火器設置の指導や、解体する市営住宅の住宅用火災警報器を活用し高齢者宅へ設置するリユース事業を実施した。今後も引き続き火災予防対策を推進するとともに、防火対象物の違反是正に向けた査察体制の強化及び街頭消火器の未整備地域への設置促進、さらに高齢者を対象とした火災予防対策の充実を図っていく。

[実績及び成果]

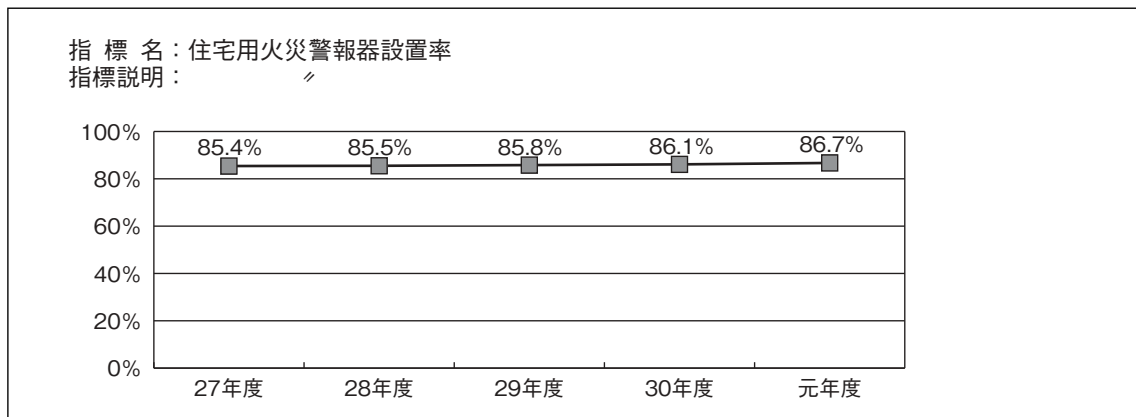
(1) 火災予防啓発事業費 8,046,865円

啓 発 区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	8回	8回	0.0%
講 習 会	11	10	△ 9.1
老人クラブ防火教室等	13	11	△15.4
女性防火クラブ研修等	14	15	7.1
少年消防クラブ防火教室等	24	28	16.7

(2) 街頭消火器設置費等補助金 6,347,200円

補 助 内 訳	平成30年度	令和元年度	比 較
消 火 器 更 新	738件	773件	4.7%
収 納 箱 更 新	435	425	△ 2.3
薬 剤 更 新	4	5	25.0
消 火 器 新 規 設 置	50	24	△52.0
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	10	6	△40.0
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	23	8	△65.2

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	17,967,126,117	2,028,913,879	6,387,800,000	1,646,845,030	7,903,567,208
1項 教 育 総 務 費	2,473,229,742	38,317,679	156,600,000	80,739,901	2,197,572,162
3目 教育活動推進費 <「この子の輝く学び」の創造>	802,478,892	29,992,421	0	2,695,465	769,791,006

1 教育相談事業費 181,943,640 円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導に加え、初期支援コース「みらい西」を新設することで、来日間もない生徒の適応支援や初期日本語集中指導を実施するなど、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や市内に3か所開設しているほっとプラザの運営を通して、不登校傾向にある児童生徒の早期発見、対応及び学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 88,836,678 円

区 分	平成30年度	令和元年度
外国人児童生徒教育相談コーディネーター	相談件数 1,839件	相談件数 3,708件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 7人 学校巡回 12	学校常駐 10人 学校巡回 12
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	延 3,498時間	延 3,461時間
登録バイリンガルボランティア	延 2,122.0	延 2,337.5

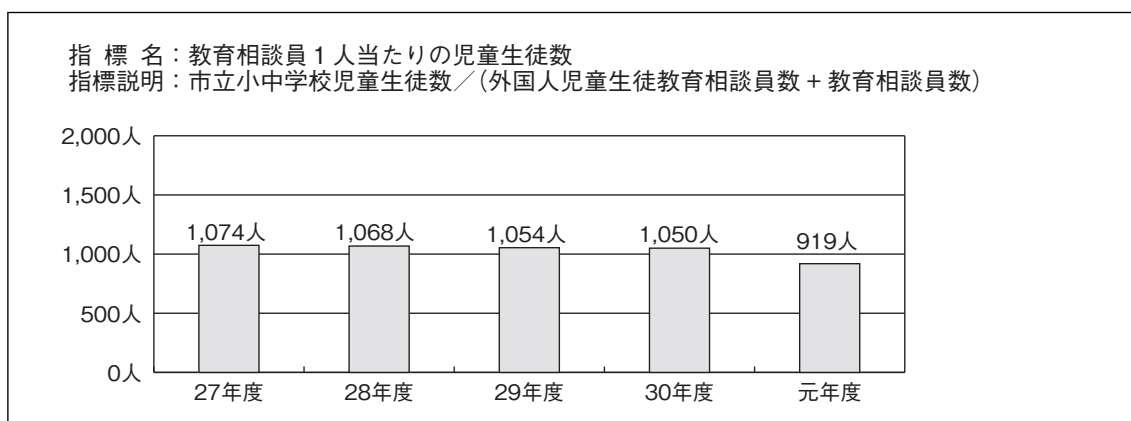
(2) 教育相談活動事業費 41,292,008 円

区 分	平成30年度	令和元年度
スクールソーシャルワーカー	相談件数 2,061件	相談件数 4,202件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 4,430	〃 4,388
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 836	〃 921
心 理 判 定 員	〃 270	〃 430
メンタルフレンド	派遣回数 86回	派遣回数 67回

(3) 不登校対策支援事業費 51,814,954 円

区 分	平成30年度	令和元年度
とよはしほっとプラザ活動事業費	3か所 182日 延 2,571人	3か所 174日 延 3,276人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 13	非常勤講師 14
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 8月 2回	担当者学習会 8月・10月 2回
	補助金 112,472円	補助金 81,476円

[指 標]



2 生徒指導対策事業費 3,344,012 円 (学校教育課)

[総 括]

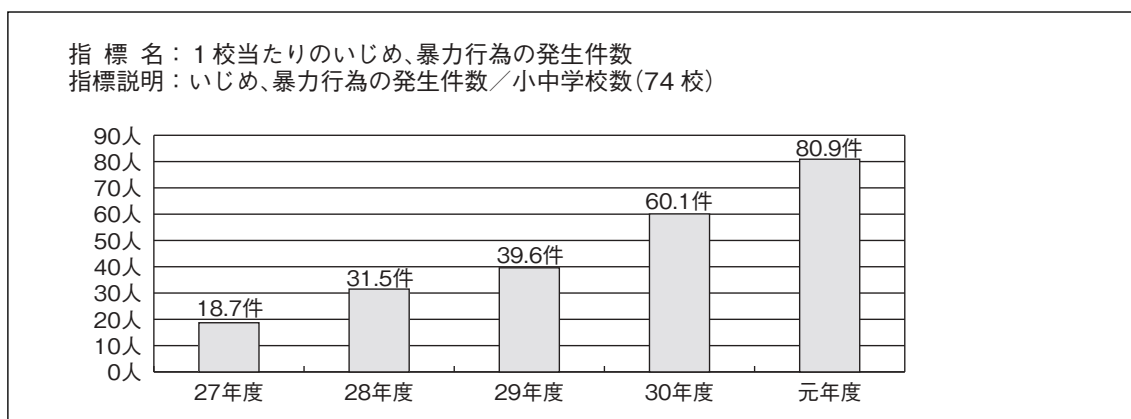
生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費 3,281,652 円

区 分	平成 3 0 年度	令和元年度
生 徒 指 導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進 路 指 導	進路のてびきの発行	進路のてびきの発行

[指 標]



3 教育諸活動支援事業費

135,619,972 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、多彩で優れた芸術の鑑賞・体験の機会を提供した。また、児童生徒が郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土に誇りを持つことができるよう編集・発行した「郷土学習のすすめ」「郷土の偉人」「郷土の遺構」を有効活用するために外部人材を活用した検討会を実施した。今後も児童生徒がいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費

7,825,649 円

区 分	平成30年度	令和元年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日 10.20	開催日 10.19及び10.20
	補助金 4,539,452円	補助金 4,289,881円
小学生のコンサート補助金	開催日 7.29	開催日 7.28
	補助金 2,192,765円	補助金 2,070,340円
子どものための科学展開催費補助金	開催日 10.20	開催日 10.19及び10.20
	来場者数 6,802人	来場者数 7,289人
	補助金 975,503円	補助金 977,604円
小柴記念賞補助金	応募点数 4,571点	応募点数 4,474点
	補助金 490,177円	補助金 487,824円

(2) 教育活動支援事業費

127,794,323 円

区 分	平成30年度	令和元年度
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員 63人	支援員 63人
体育的部活動支援事業費	21,305,201円	24,971,266円
学校体育連盟補助金	1団体 20,567,008	1団体 22,020,707
中学校東海・全国大会出場補助金	15校(82人) 738,193	17校(152人) 2,950,559
文化的部活動支援事業費	24 5,569,639	22 4,699,295
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 88人 400,000	クラブ員 89人 400,000
郷土学習推進事業費	郷土学習研修会による企画・運営 7,175	郷土学習研修会による企画・運営 0
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒9,023人 5,551,740	参加児童生徒8,106人 4,613,160
中学校部活動指導者派遣事業費	部活動指導者 4 789,440	部活動指導者 4 969,440

[指標]

指標名：教育諸活動支援事業参加者数

指標説明：子ども造形パラダイス出品児童生徒数+小学生のコンサート参加児童数+中学校合唱フェスティバル参加生徒数+子どものための科学展来場者数+小柴記念賞応募点数+市内体育大会参加児童生徒数+中学校東海・全国大会出場者数+文化的部活動の大会参加児童生徒数+豊橋少年少女発明クラブ員数+文化芸術体験推進事業参加児童生徒数



4 授業・学習支援事業費 28,135,521 円（学校教育課）

[総括]

児童生徒への効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、27名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も児童生徒の豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 4,706,576 円

学校貸出冊数	平成30年度	令和元年度
	12,800冊	12,751冊

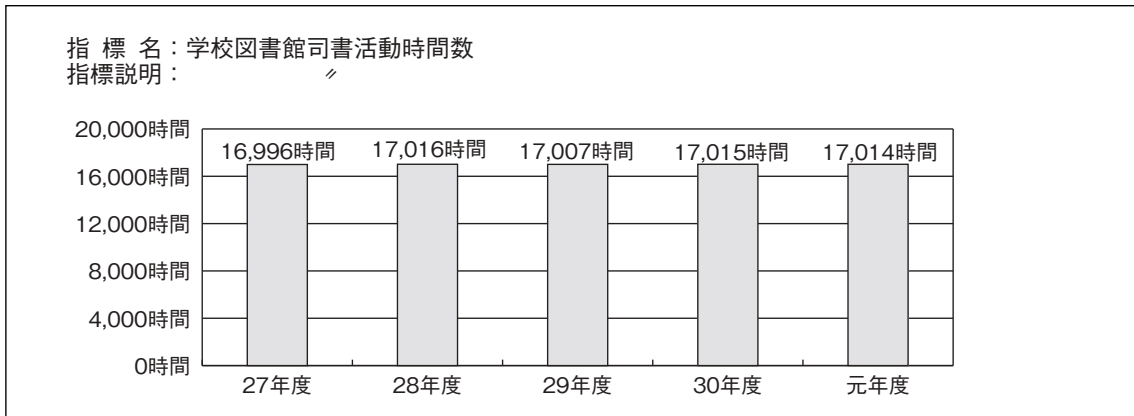
(2) 学校図書館活動推進事業費 22,889,480 円

司書配置	平成30年度	令和元年度
	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)

(3) 小・中学校読書活動推進事業費 539,465 円

図書購入	平成30年度	令和元年度
	67冊	187冊

[指標]



5 学力・体力向上推進事業費 22,747,650 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活かしたより質の高い授業を提供した。また、スポーツトレーナーを中学校に派遣し、体育の授業や部活動において、ケガをしにくい体づくりや効果的な体力づくりに向けたアドバイスを行った。

[実績及び成果]

(1) 学力向上支援事業費 22,402,930 円

教科担任の非常勤講師人数	平成30年度	令和元年度
	6人	6人

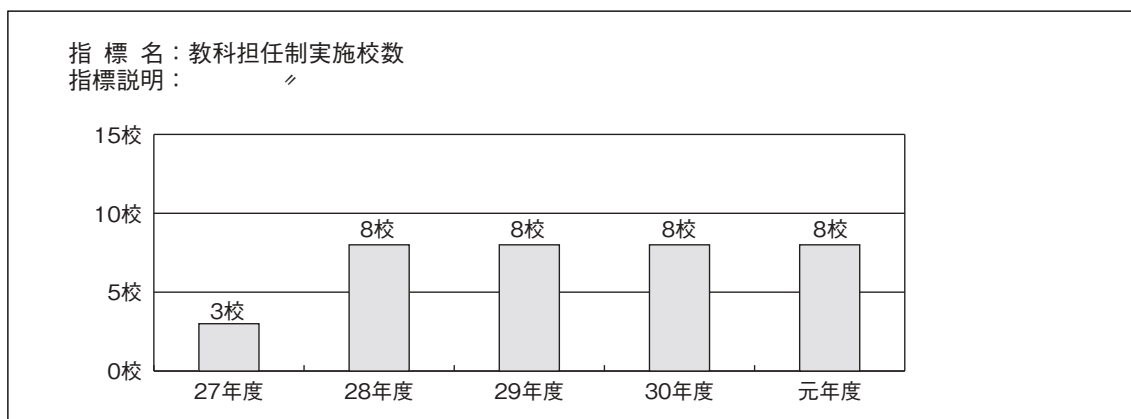
(2) 小中一貫教育推進事業費 0円

小中一貫教育 実施校数	平成30年度	令和元年度
	8校	12校

(3) 体力向上支援事業費 344,720円

内 容	平成30年度	令和元年度
	スポーツトレーナーを中学校(4校)に派遣 小規模校における体育の合同授業の実施 「三遠ネオフェニックス」と連携した出張授業の実施	スポーツトレーナーを中学校(4校)に派遣 小規模校における体育の合同授業の実施 「三遠ネオフェニックス」と連携した出張授業の実施

[指標]



6 国際理解教育推進事業費 143,022,040円 (学校教育課)

[総括]

「英会話」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント(SA)や外国人英語指導員(ALT)を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生はSAと年間20時間、5・6年生はALTと年間35時間の協働学習を行った。中学校では学級ごとに、ALTと年間30時間協働学習を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。八町小学校においては体育・家庭科などの授業を英語で行う「英語で学ぶ」事業の教科・学年を拡大し、子どもたちが生きた英語に触れる機会を拡充するとともに、3年生を対象に算数の選択制イマージョン教育コースを実施した。また、夏休みを利用した英語活動として、トリードスーパーイングリッシュキャンプを実施し、子どもたちの海外への興味を喚起する機会とした。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 143,022,040円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	平成30年度	令和元年度
	74校 26人	74校 27人

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	平成30年度	令和元年度
	52校 延 4,598時間	52校 延 4,353時間

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	平成30年度		令和元年度	
		12日間	480人	12日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	平成30年度		令和元年度	
		8日間	80人	4日間

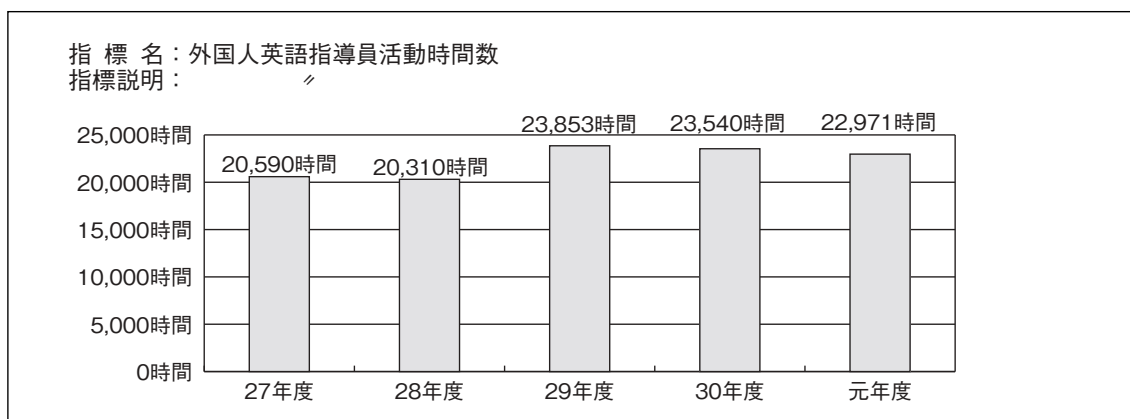
(オ) 土曜英会話チャレンジ費

内 容	平成30年度		令和元年度	
		5日間	60人	2日間

(カ) トリード スーパーイングリッシュキャンプ費

内 容	平成30年度		令和元年度	
		5日間	20人	5日間

[指 標]



7 情報教育推進事業費

239,797,767 円 (学校教育課)

[総 括]

情報・通信の技術を積極的に活用していくことが求められるなか、情報教育を通じて子どもたちにコンピュータの技能を身につけさせたり、情報モラルやセキュリティに関する意識を高めさせることができた。また、子どもたちの論理的思考を育むためのプログラミング教育の導入に向けて、高山小学校及び章南中学校で実践研究を行い、教材の効果的な活用方法や指導方法を検証することができた。さらに、市内全小学校のコンピュータ室に、学習用コンピュータとしてタブレット端末を配備し、学習環境の充実を図った。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) コンピュータ活用事業費 238,797,771 円

(ア) 小学校コンピュータ活用事業費 162,345,129 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
学習用コンピュータ・タブレット費	1,980台	94,292,892円	3,023台	128,952,129円
コンピュータネットワークシステム費		22,687,944		23,205,876
学校図書館管理用コンピュータ費	52	10,187,124	52	10,187,124

(イ) 中学校コンピュータ活用事業費 75,988,368 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
学習用コンピュータ・タブレット費	933台	87,171,682円	1,843台	62,876,016円
コンピュータネットワークシステム費		8,756,748		8,802,420
学校図書館管理用コンピュータ費	22	4,309,932	22	4,309,932

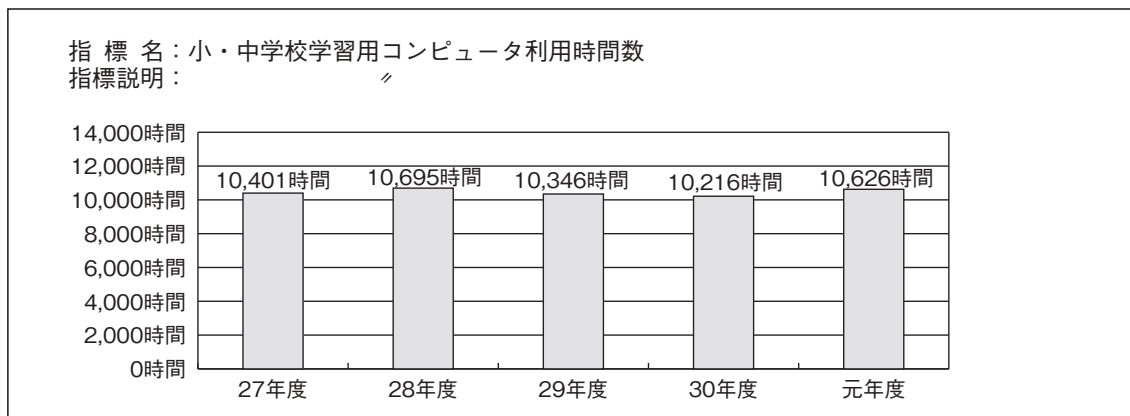
(ウ) 分身ロボットの活用による教育支援費 464,274 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
分身ロボットによる支援費		—	1台	464,274円

(2) プログラミング教育推進事業費 999,996 円

研 究 の 観 点 項 目	平成30年度		令和元年度	
	プログラミング教育の指導方法 複数教科・領域における指導のあり方 効果的な教材を活用した研究事例		プログラミング教育指導計画例の作成 実践事例の作成 モデル事例の提供	

[指 標]



8 体育施設等有効活用事業費 3,333,066 円 (教育政策課)

[総 括]

児童数の減少及び施設の老朽化における学校プールのあり方を検討する中で、民間プール施設を活用した水泳授業のモデル校を拡大し、インストラクターと教員が協力して指導にあたることにより、水泳授業の質の向上を図った。今後もモデル校を拡大し、民間プール施設等の活用による水泳授業の実施可能性について検証を行っていく。

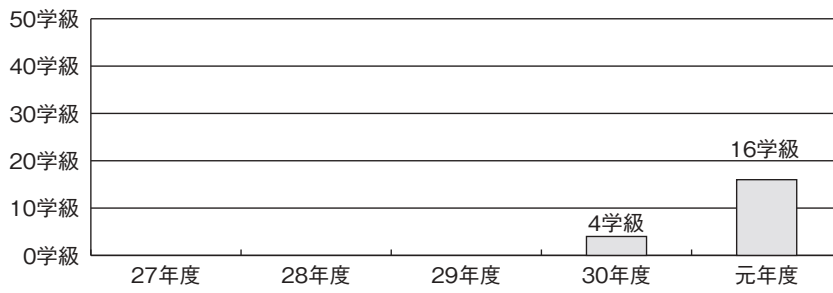
[実績及び成果]

(1) 民間プール活用モデル事業費 3,333,066 円

実施学校数(学級数)	平成30年度		令和元年度	
		1校(4学級)		2校(16学級)

[指 標]

指 標 名：民間プール施設活用学級数
指標説明：民間プール施設でプール授業を実施する学級数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教職員研修費 <教職員の力量向上>	100,428,822	120,000	0	636,000	99,672,822

1 現職研修事業費 4,204,305 円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活かすとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

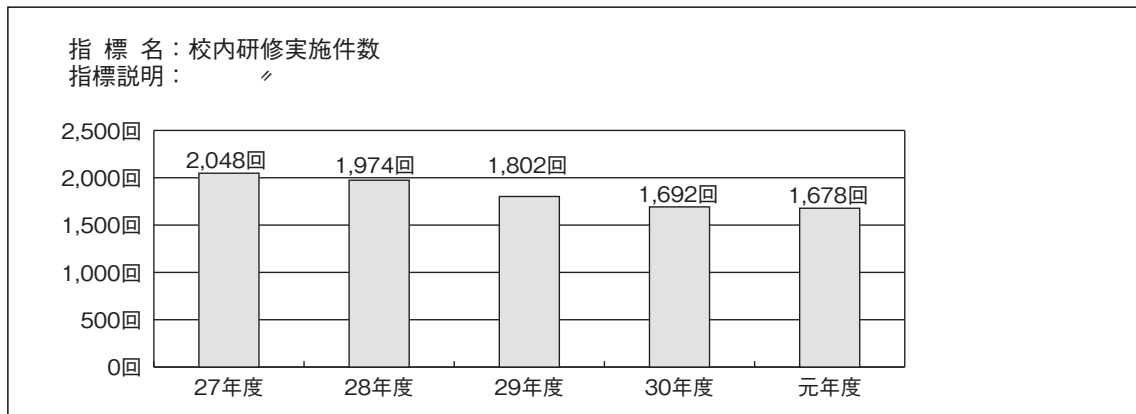
(1) 指定校研究費補助金 1,278,944 円

区 分	平成30年度	令和元年度
指 定 校	9校	10校
補 助 金	1,199,508円	1,278,944円

(2) 現職研修委員会補助金 2,805,361 円

区 分	平成30年度	令和元年度
校 内 研 修	1,954人	—
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	37研究部	37研究部
基 本 研 修	298人	298人
特 別 研 修	海外派遣 1	海外派遣 1
補 助 金	4,926,930円	2,805,361円

[指 標]



2 教育会館管理運営事業費 96,224,517 円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新講習を引き続き実施し、教育の実情に即した講習内容とすることにより教員の資質の向上を図るとともに、受講者の事務手続等の負担軽減を行った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 12,896,663 円

[利用状況]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 18,219人	延 17,982人	△ 1.3
一 般 施 設 利 用 者 数	延 11,380	延 9,016	△20.8
計	延 29,599	延 26,998	△ 8.8

[各種活動]

区 分	平成30年度	令和元年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	147時間 参加人員 897人	114時間 参加人員 552人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 293本	映像教材貸出 217本

(2) 教職員研修事業費 6,088,686 円

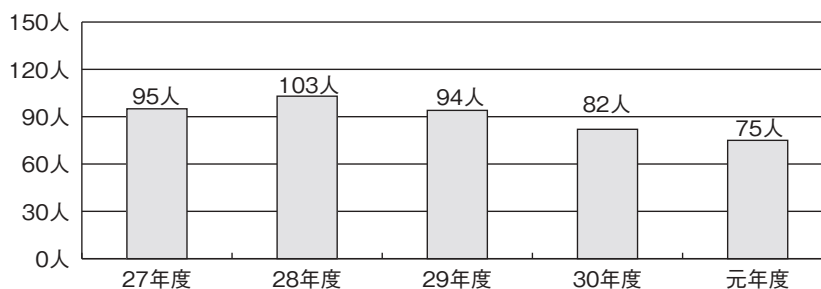
区 分	平成30年度	令和元年度
基 本 研 修	106回 参加人員 2,778人	113回 参加人員 3,329人
職 務 研 修	66 〃 2,213	65 〃 2,501
課 題 ・ 専 門 研 修	87 〃 3,946	72 〃 3,497
社 会 体 験 研 修 等	67か所 〃 67	61か所 〃 61

(3) 教員免許状更新講習事業費 515,708 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	45講座 受講人員 291人	40講座 受講人員 212人

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくりの推進>	8,956,685	0	0	0	8,956,685

1 学校づくり推進事業費 8,795,135 円 (学校教育課)

[総括]

各学校が「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある児童生徒を育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。また、市内を流れる川の総称を「母なる豊川」とし、児童生徒や地域の人々が川の自然、川と人の関わりについて考え、川を大切にするための教育活動を実施した。今後も各学校の事業企画内容を評価・検討し、充実を図っていく。

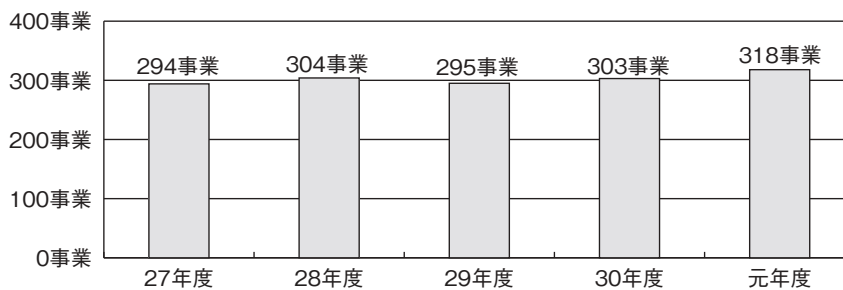
[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 8,795,135 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	25校	参加校	21校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	8,810,515円	74校	8,795,135円

[指標]

指標名：特色ある学校づくり実施事業数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 教育環境充実費 <教育環境の整備・充実>	259,113,272	6,039,465	0	1,720,000	251,353,807

1 私学振興事業費 41,033,925 円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立学校に在籍する生徒の保護者負担を軽減するため、授業料に対して助成を行った。今後も国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した施策を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 9,290,000 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,560人	6,557,080円	3,404人	6,404,000円
外国人学校(3校)	372	2,872,000	386	2,886,000
計	3,932	9,429,080	3,790	9,290,000

(2) 私立高等学校授業料補助金 29,407,225 円

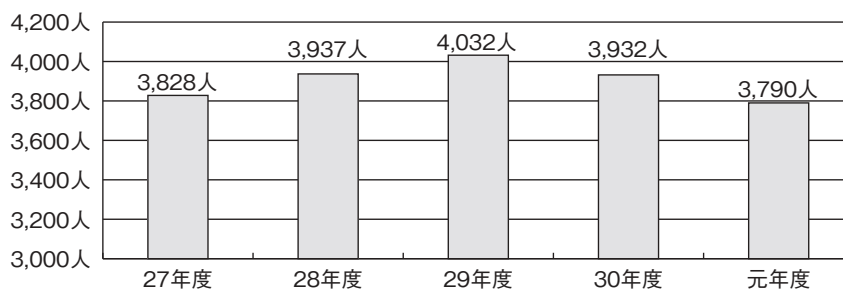
内 容	平成30年度		令和元年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	2,233人	32,236,450円	2,099人	29,407,225円

(3) 私立専修学校等授業料補助金 2,336,700 円

内 容	平成30年度		令和元年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	188人	2,462,600円	181人	2,336,700円

[指標]

指標名：私立高等学校、外国人学校在籍者数
 指標説明：〃



2 奨学支援事業費

7,505,157 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、令和元年度は返済不要の奨学金「豊橋市未来応援奨学金」を、25人に対して給付し、将来を担う若者の進学を後押しした。また、経済的な理由で修学が困難な学生の進学をより後押しするため、所得要件の緩和や国の給付型奨学金との併給を認めるなど支援の充実を図った。今後も国の奨学金制度の動向などを踏まえながら、必要な支援を行っていく。

[実績及び成果]

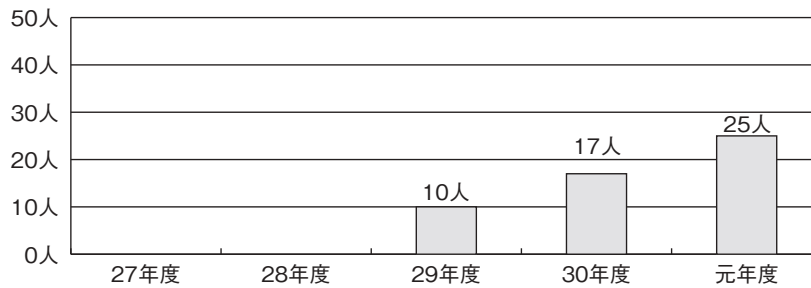
(1) 奨学金給付事業費

7,505,157 円

受給者数	平成30年度	令和元年度
	17人	25人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 市立学校教育活動推進費 ＜市立の強みを活かした教育の推進＞	610,107,969	2,165,793	156,600,000	46,366,882	404,975,294

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 160,993,300円 (教育政策課)

[総括]

ハローワークをはじめとした関係機関との連携を強化するとともに、引き続き学校内の農業実習施設「和(なごみ)ハウス」での農作業実習や就労支援体制の充実を図ったことにより、職業コースの卒業生全員が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能を持つ「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めている。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 92,415,398円 (5月1日現在)

区 分	平成30年度	令和元年度
学 級 数	49学級	49学級
児 童 ・ 生 徒 数	253人	269人

[施設整備]

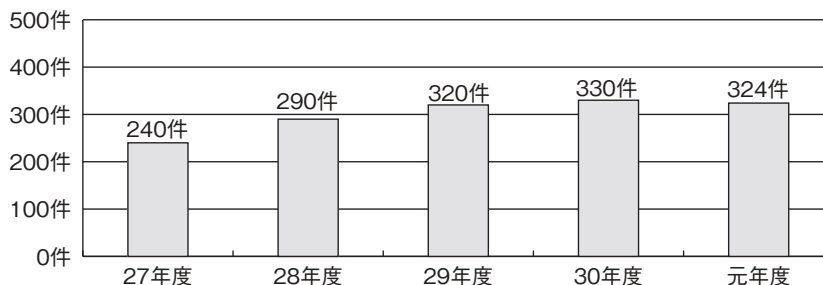
内 容	平成30年度	令和元年度
	一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 57,586,934円

区 分	平成30年度	令和元年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	1,482冊	1,610冊
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	123台 10,398,780円	123台 10,668,064円
企業向け学校見学会実施回数	1回	1回
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	8	5
就労支援におけるサテライト実習実施回数	16	12

[指 標]

指 標 名：くすのき相談センター対応件数
 指標説明：〃



2 市立高等学校教育推進事業費 119,131,042 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、発達障害や不登校の生徒に対応するため、心理カウンセラーによるカウンセリングの日数を増やし、心のケアの充実を図ったほか、進学、就職に向けてキャリア教育を実施した。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 14,664,175 円 (5月1日現在)

区 分	平成30年度	令和元年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	670人	665人

〔施設整備〕

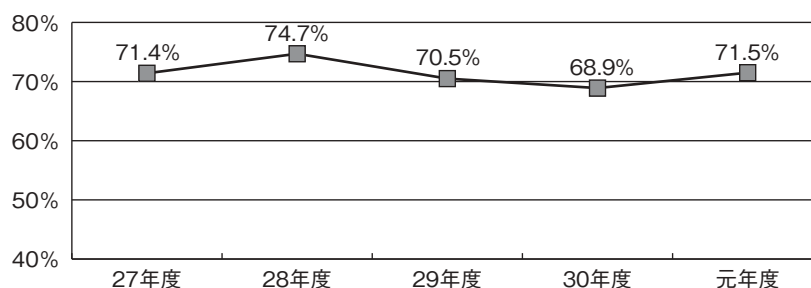
内 容	平成30年度	令和元年度
	校舎1階北廊下床改修工事 高架水槽補修工事 一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 65,803,029 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
学校図書館蔵書数	7,280冊		5,889冊	
定時制教育教科書給与費	24人	108,775円	28人	131,113円
学習用コンピュータ費	42台	2,716,416	42台	2,716,416
心理カウンセラー相談開催日数	65日		100日	
キャリア教育実施回数	18回		25回	
外国人生徒教育支援日数	227日		218日	

〔指標〕

指標名：市立高等学校卒業資格取得率
 指標説明：卒業生数／入学者数



3 家政高等専修学校教育推進事業費 86,163,675 円（教育政策課）

〔総括〕

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かい支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、体験活動を伴う実地見学や講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組み、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 3,189,897 円 (5月1日現在)

区 分	平成30年度	令和元年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	101人	114人

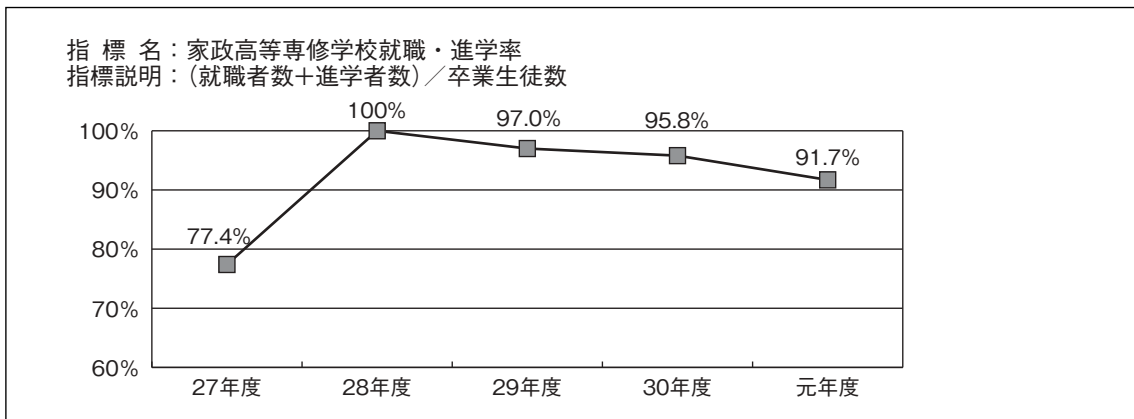
〔施設整備〕

内 容	平成30年度	令和元年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 25,016,270 円

区 分	平成30年度	令和元年度
学校図書館蔵書数	2,630冊	2,593冊
学習用コンピュータ費	41台 2,199,960円	41台 2,199,960円
心理カウンセラー相談開催日数	20日	24日
キャリア教育実施回数	10回	10回

〔指標〕



4 家政高等専修学校整備事業費 243,819,952 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、校舎長寿命化改良工事を大規模かつ効率的に実施した。

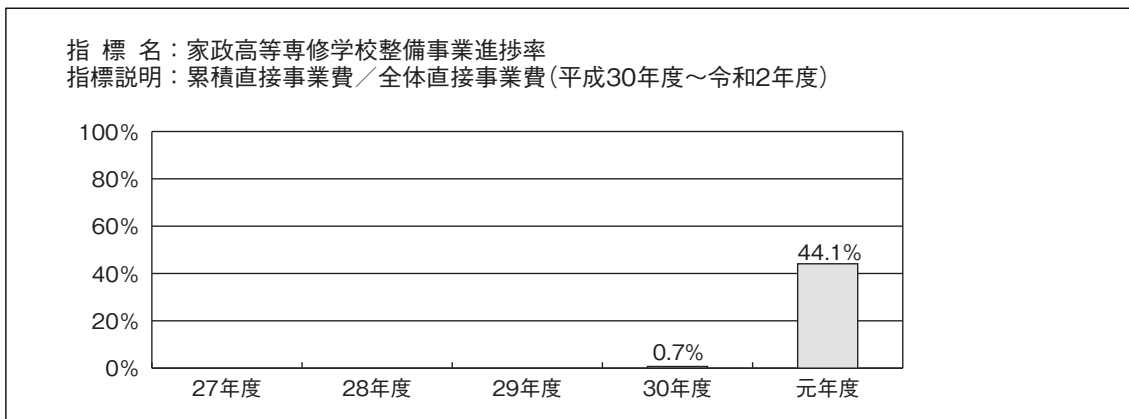
[実績及び成果]

- (1) 家政高等専修学校整備事業費 243,819,952 円
 - (ア) 校舎長寿命化改良等工事 188,233,243 円
 - 3か年継続事業の2年度 総事業費 526,900,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	北校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,362㎡	外部・内部改修 浄化槽取替
	南校舎 鉄筋コンクリート造2階建	483	外部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 55,586,709 円

[指標]



※令和元年度の全体事業費にて、30年度から再算定

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 科学教育施設費 <科学教育環境の充実>	212,812,923	0	0	3,039,112	209,773,811

1 自然史博物館施設管理事業費 148,468,102 円 (自然史博物館)

[総括]

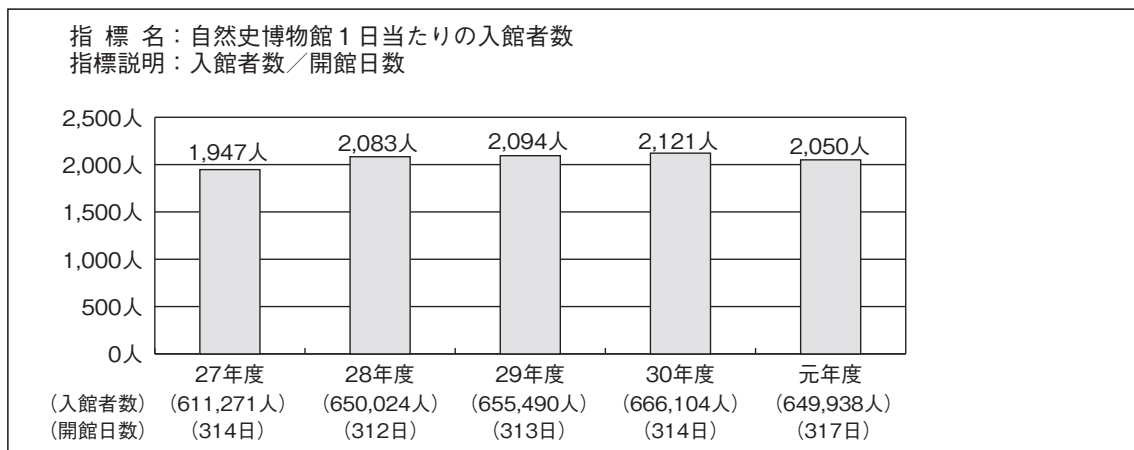
自然史博物館では施設・設備の機能を維持・充実するため、屋上防水等改修、古生代展示室予防保全工事及び館内照明の一部 LED 化を行った。また、入館者の安全性・利便性・快適性の向上を図るため、インターネット光回線化、野外恐竜ランドの芝生の植え替えを行うとともに、標本を適正に管理するため、収蔵庫の標本棚の増設などを行った。今後も入館者サービス向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 54,718,766 円

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開 館 日 数	314日	317日	1.0%
入 館 者 数	延 666,104人	延 649,938人	△ 2.4

[指 標]



2 石巻自然科学資料館運営事業費 745,439 円 (自然史博物館)

[総括]

石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を改訂し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

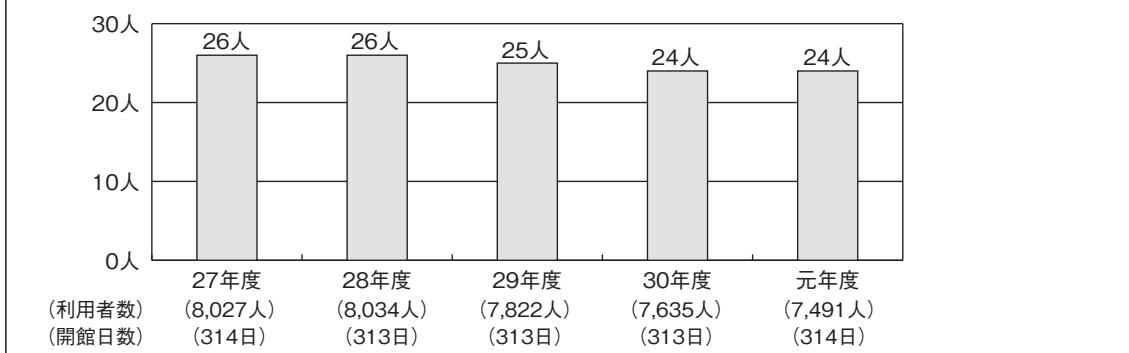
[実績及び成果]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 745,439 円

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開 館 日 数	313日	314日	0.3%
利 用 者 数	延 7,635人	延 7,491人	△ 1.9

[指 標]

指 標 名：石巻自然科学資料館 1 日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 科学教育センター施設管理事業費 63,599,382 円（科学教育センター）

[総 括]

視聴覚教育センター及び地下資源館の適正な管理運営に努めるとともに、老朽化した施設・設備等の維持補修を行った。また、視聴覚教育センターでは展示室に空調設備を導入することで来館者の快適性向上に努め、入館者数の増加にも繋がった。今後も教育環境の計画的な整備を行い、両施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 17,011,703 円

[利用状況]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開 館 日 数	312日	311日	△ 0.3%
入 館 者 数	延 85,894人	延 92,415人	7.6

[施設整備]

内 容	平成30年度	令和元年度
	光電式スポット型感知器の取替修繕 プラネタリウムUPS修繕等	展示室の空調設備導入

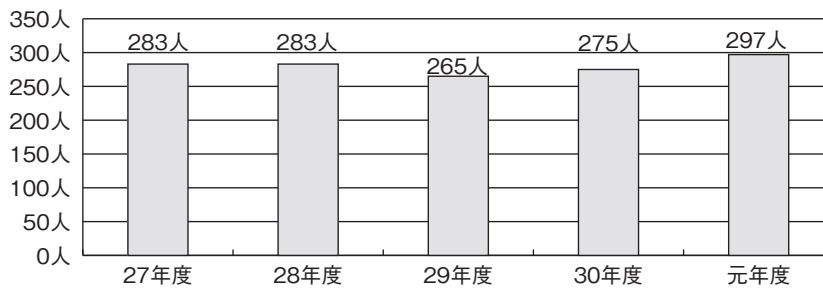
(2) 地下資源館施設管理事業費 11,222,850 円

[施設整備]

内 容	平成30年度	令和元年度
	1階展示室改修 誘導灯、外壁修繕	防火排煙設備、エレベーター、空調 温水配管等修繕

[指 標]

指 標 名：視聴覚教育センター1日当たりの入館者数
指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 科学教育推進費 ＜自然科学を学ぶ機会の充実＞	74,639,311	0	0	25,675,531	48,963,780

1 自然史博物館事業費 54,253,071 円 (自然史博物館)

[総括]

自然に親しみ、正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示や、資料収集、調査研究活動に取り組んだほか、3D大型映像システムによる「ウォーキング with ダイナソー」、「シーレックス」等の上映、ワークショップ、解説会、企画展等の教育普及活動を実施した。なお、特別企画展「深海の玉手箱」の開催や調査研究活動については外部資金を活用して実施した。今後も博物館としての魅力向上につながる事業を実施するとともに、のんほいパーク100万人プロジェクトを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 39,359,329 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
ワークショップ等	24回	参加人員 952人	45回	参加人員 1,686人
出前授業等	86	〃 3,248	82	〃 2,975
大型映像	954	観覧者数 36,026	1,188	観覧者数 48,538
企 画 展	「第14回自然史博物館自由研究展」 会期中の入館者数 75,202人 10.13～11.11 (26日間) 「亥～猪口 ^{ちよこ} っとイノシシ～」 〃 44,127 12.15～1.14 (24日間) 「ヘビー級標本」 〃 41,121 1.26～3.3 (32日間)		「『国際博物館の日』記念 平成30年度 新収蔵資料紹介展」 会期中の入館者数 132,490人 4.20～5.26 (33日間) 「世界のタガメ」 〃 34,367 6.1～6.30 (26日間) 「ジオパークを知ろう！」 〃 142,049 7.20～9.29 (63日間) 「第15回自然史博物館自由研究展」 〃 72,302 10.12～11.10 (25日間) 「豊橋周辺の植物化石」 〃 39,472 11.16～12.15 (27日間) 「子～お正月までいくつ ^ち 子 ^る ?～」 〃 58,942 12.21～1.19 (24日間) 「ボルネオの森の昆虫たち」 〃 40,676 1.25～2.23 (26日間) 「歯～動物たちも歯が命～」 〃 77,348 2.15～3.31 (41日間)	

開館30周年記念事業	「記念式典、ミュージアムコンサート」 参加人数 457人 5.2	—
	「記念企画展 自然史博物館30年のあゆみ」 会期中の入館者数 112,548 4.28～5.27 (27日間)	
	「記念企画展 博物館のウラワザ」 〃 160,821 7.6～9.30 (75日間)	
	「記念ワークショップ 恐竜修復体験」 参加人数 8 7.22、8.17 (2回)	
	「記念ワークショップ アンモナイトを発掘してゲットしよう」 〃 58 7.26、8.5、8.15 (3回)	
	「全国科学博物館協議会総会・研究発表大会」 〃 116 2.14～15 (2日間)	

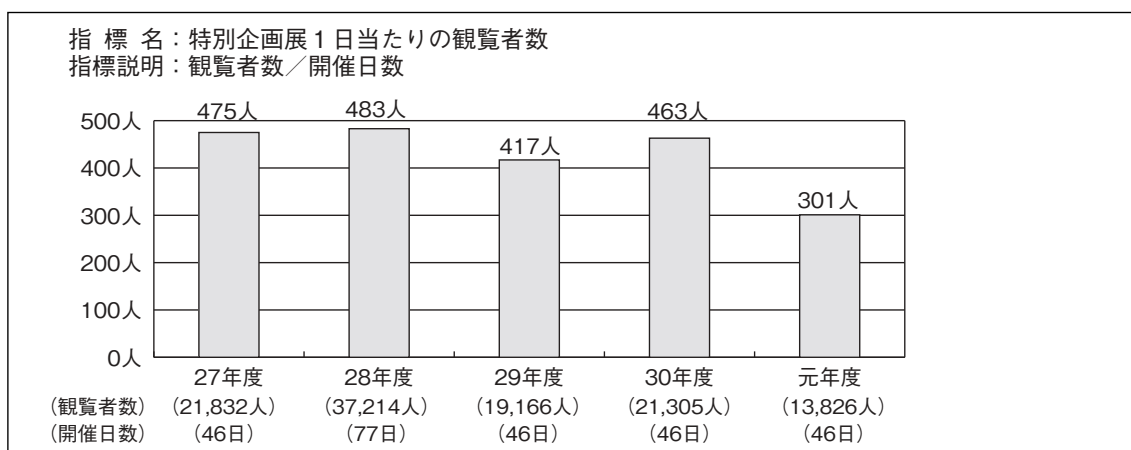
(2) 資料収集・調査研究活動事業費 3,192,201円

区 分		平成30年度	令和元年度
博物館資料	製作委託	鳥類等の剥製骨格標本製作 5点	鳥類等の剥製骨格標本製作 4点
	採集・寄贈	19,282点 (総数 552,220点)	1,194点 (総数 553,414点)
	図書等	994冊 (総数 42,987冊)	1,077冊 (総数 44,009冊)
研究発表(調査研究)		45件	35件

(3) 特別企画展開催事業費 11,701,541円

区 分		平成30年度	令和元年度
特別企画展		「体感!恐竜ワールド」	「深海の玉手箱」
		7.13～9.2 (46日間)	7.12～9.1 (46日間)
		展示数 156点 観覧者数21,305人	展示数 304点 観覧者数13,826人
関連行事	1. 解説会 (2回) 「恐竜のお食事」、「恐竜世界の始まり」 参加人員 123人		1. 解説会 (1回) 「深海の恵み」 参加人員 59人
	2. 宝石さがしに挑戦 (12回) 〃 2,165		2. 記念講演会「チャレンジャー海淵、なぜ世界最深の海なのか?」 〃 95
	3. ワークショップ (11回) 〃 191		3. ワークショップ (2回) 〃 116
	4. 体験イベント「化石発掘体験」(12回) 〃 600		4. 体験イベント等「深海の圧力実験」、「深海生物つりぼり」 〃 1,914

[指標]



2 科学教育センター事業費 20,386,240 円 (科学教育センター)

[総括]

視聴覚教育センターでは、わくわく体験活動での実験学習、プラネタリウム学習や展示学習による児童の科学能力の向上、さらに市民への学習教室（ワークショップ、ICT 講座、科学実験講座、星空観望会など）の充実など科学に触れる機会の提供に努めた。地下資源館では、「資源をくらしに生かす創意工夫展」をより科学的な内容とするため「小学生サイエンスアイデア作品展」に変更した。また、資源やエネルギーをはじめとした科学を楽しむことを目的に、市民への学習教室（おもしろサイエンスの日、ワークショップ、実験ショーなど）を開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う一部中止などにより参加者数が減少した。今後もサイエンス・ボランティアの協力を得ながら、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を開催し、科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

(1) 視聴覚教育センター事業費 18,607,563 円

[各種活動]

区 分	平成30年度	令和元年度
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～11月 参加人員 3,348人	5月～11月 参加人員 3,477人
プラネタリウム投映※	674回 観覧者数28,959	829回 観覧者数 27,449
学 習 教 室	4月～3月(58回) 参加人員 1,736	4月～2月(117回) 参加人員 3,399
星 空 観 望 会	5月～3月(7) 〃 900	8月～2月(6) 〃 295
展 示 会	6月～12月(1) 入場者数52,170	4月～3月(8) 入場者数 84,667

※観覧者数にわくわく体験活動の参加人員を含めて、平成30年度から算定し直した。

(2) 地下資源館事業費 1,778,677 円

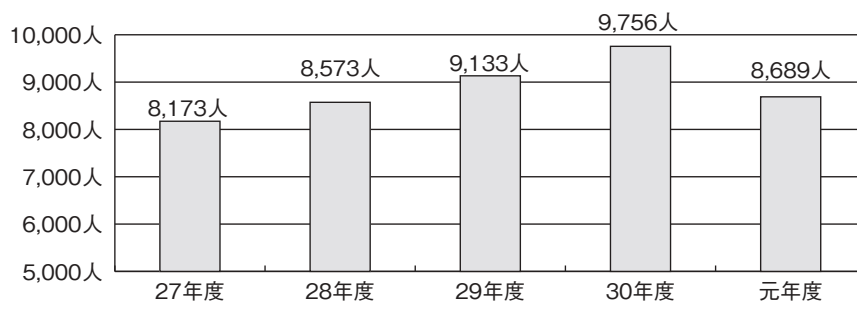
[各種活動]

区 分	平成30年度	令和元年度
学 習 教 室	4月～3月(279回) 参加人員 9,756人	4月～3月(270回) 参加人員 8,689人
小 学 生 サ イ エ ン ス ア イ デ ア 作 品 展 ※	10.13～11.11(26日間) 展示点数761点 入場者数12,682	9.21～11.10(43日間) 展示点数571点 入場者数19,130
企 画 展	3月 〃 4,915	4月～9月 〃 47,588 3月 〃 1,111
展 示 会	—	7月～9月(1回) 〃 22,505

※平成30年度は「資源をくらしに生かす創意工夫展」

[指 標]

指 標 名：実験・講座等参加者数(地下資源館)
指標説明：年間の実験・講座等参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	6,743,581,225	1,007,563,324	4,003,000,000	25,478,852	1,707,539,049
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	6,743,581,225	1,007,563,324	4,003,000,000	25,478,852	1,707,539,049

1 小学校管理事業費 287,713,865 円 (教育政策課)

[総括]

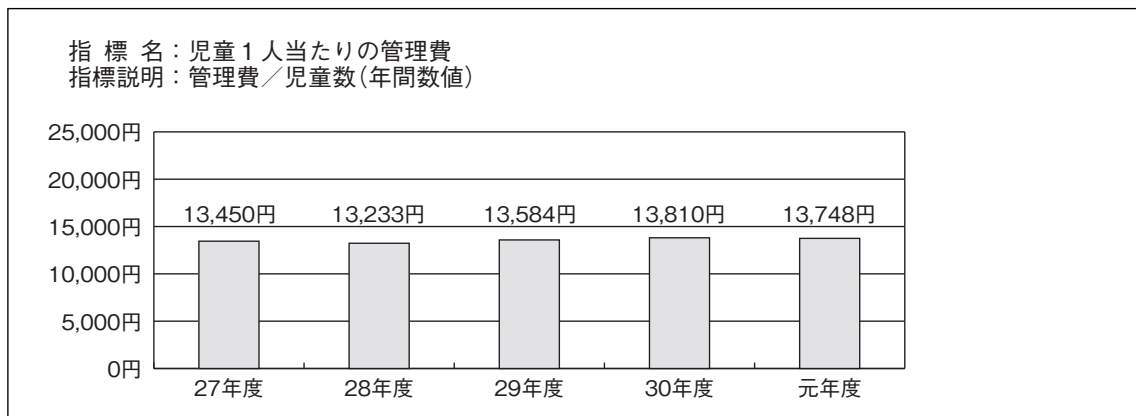
小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算を導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 287,713,865 円 (5月1日現在)

区 分	平成30年度	令和元年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	842学級	848学級
児 童 数	21,024人	20,927人

[指標]



2 小学校教育推進事業費 254,261,060 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教師が児童と向き合う時間の確保を図った。また、児童が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンを設置した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

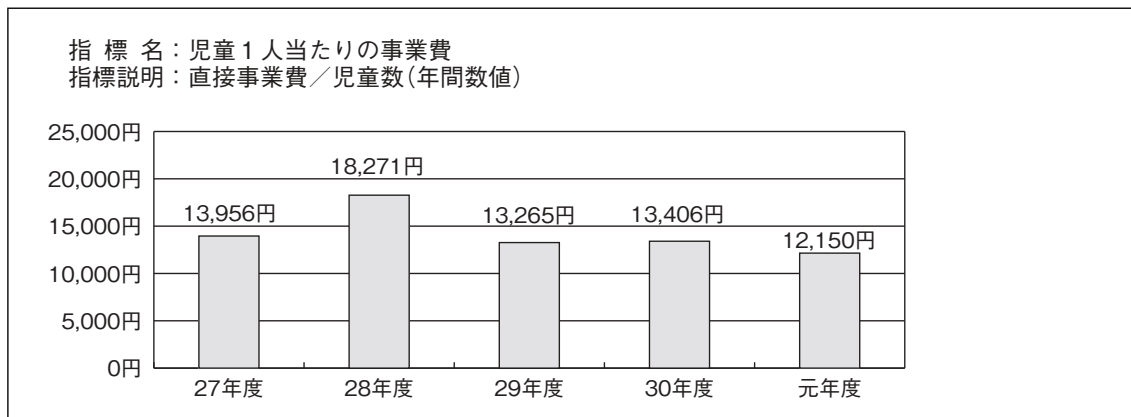
(1) 教育活動事業費 194,069,278 円

区 分	平成30年度	令和元年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	472,468冊	476,004冊
学 校 新 聞 発 行 部 数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 156,850部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 136,660部
学 校 評 議 員 数	390人	386人
緑のカーテン設置数	52校	52校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 60,191,782 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
校務用コンピュータ費	1,214台	24,831,554円	1,214台	19,253,156円
校務支援システム費	1,214	46,199,659	1,214	40,938,626

[指 標]



3 小学校校舎等増改築事業費 378,719,404 円 (教育政策課)

[総 括]

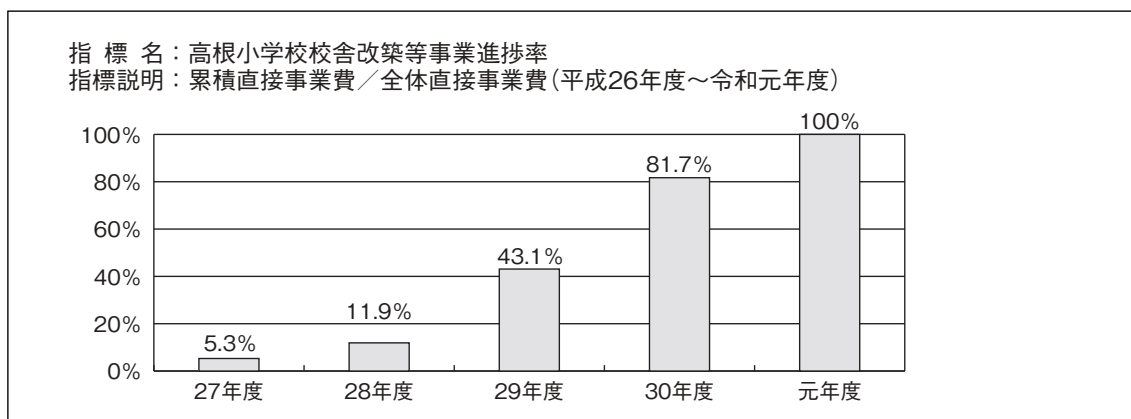
高根小学校では、児童数増加に伴う学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するための渡り廊下改築等工事、特別教室棟建設工事、運動場等整備工事、プール解体工事等が完了した。八町小学校では、イマージョン教育開始に伴う学校施設の狭あい化に対応するため、仮設校舎の賃貸借を行った。

[実績及び成果]

(1) 高根小学校校舎改築等事業費 364,532,404 円

- (ア) 渡り廊下改築等工事(Ⅱ期) 81,844,550 円
2か年継続事業の最終年度 総事業費 118,774,550 円
- (イ) 特別教室棟建設工事 166,120,240 円
- (ウ) 運動場等整備工事 99,321,200 円
- (エ) プール解体工事等 17,246,414 円

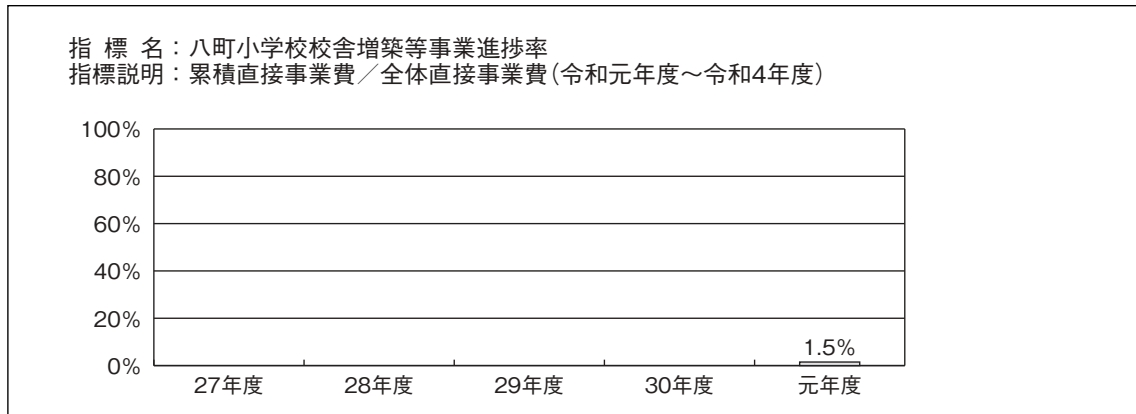
[指 標]



※令和元年度の全体事業費にて、27年度から再算定

(2) 八町小学校校舎増築等事業費 14,187,000 円

[指 標]



4 小学校校舎等長寿命化改良事業費 1,193,961,592 円 (教育政策課)

[総 括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、玉川小学校はじめ4校の校舎及び大村小学校はじめ5校の屋内運動場の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 玉川小学校校舎改良事業費 166,967,414 円

(ア) 校舎長寿命化改良工事 (I期) 129,787,414 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 346,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	2,052㎡	外部・内部改修

(イ) 仮設校舎の賃借 37,180,000 円

(2) 谷川小学校校舎改良事業費 146,850,697 円

(ア) 校舎長寿命化改良工事 (I期) 98,725,697 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 278,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造2階建	1,379㎡	外部・内部改修

(イ) 仮設校舎の賃借 48,125,000 円

(3) 細谷小学校校舎改良事業費 122,847,008 円

(ア) 校舎長寿命化改良工事 (I期) 85,940,908 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 250,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造2階建	1,165㎡	外部・内部改修

(イ) 仮設校舎の賃借 36,906,100 円

- (4) 豊南小学校校舎改良事業費 139,408,586 円
 (ア) 校舎長寿命化改良工事（I期） 101,282,586 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 279,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,456㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 38,126,000 円
 (5) 大村小学校屋内運動場改良事業費 125,478,700 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	644㎡	外部・内部改修

- (6) 吉田方小学校屋内運動場改良事業費 61,590,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	753㎡	外部・内部改修

- (7) 鷹丘小学校屋内運動場改良事業費 164,965,880 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	835㎡	外部・内部改修

- (8) 高山小学校屋内運動場改良事業費 129,684,007 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	644㎡	外部・内部改修

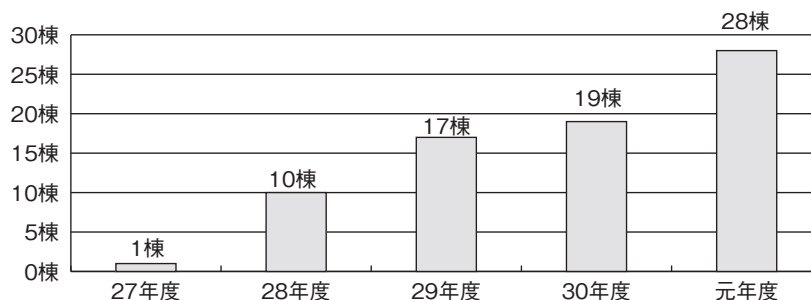
- (9) 豊南小学校屋内運動場改良事業費 131,776,500 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	644㎡	外部・内部改修

- (10) 松葉小学校校舎改良事業費 4,392,800 円

[指 標]

指 標 名：長寿命化改良工事実施延棟数
 指標説明：／



5 小学校校舎等大規模改造事業費 539,022,910 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、飯村小学校はじめ2校の校舎及び松葉小学校屋内運動場の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 飯村小学校校舎改造事業費 194,825,400 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（I期） 158,400,000 円
 2か年継続事業の初年度 総事業費 413,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	2,200㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 36,425,400 円
 (2) 二川南小学校校舎改造事業費 282,477,510 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（I期） 218,446,510 円
 2か年継続事業の初年度 総事業費 587,000,000 円

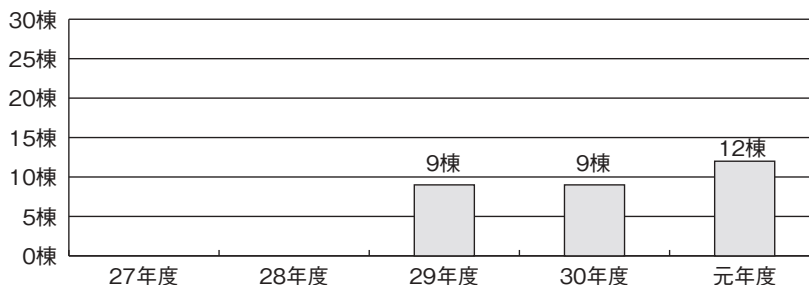
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	3,347㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 64,031,000 円
 (3) 松葉小学校屋内運動場改造事業費 61,720,000 円
 (ア) 屋内運動場大規模改造工事（I期） 61,720,000 円
 2か年継続事業の初年度 総事業費 170,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	838㎡	外部・内部改修

[指 標]

指 標 名：大規模改造工事実施延棟数
 指標説明：〃



6 小学校環境整備事業費 3,692,275,469 円（教育政策課）

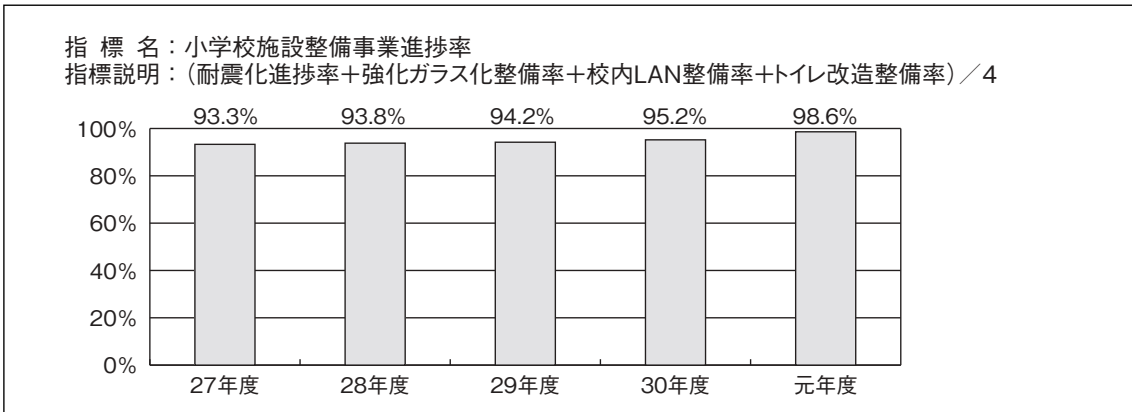
[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、4校で非構造部材耐震対策工事（外壁改修等）を実施したほか、10校で今後実施予定である校舎及び屋内運動場の長寿命化改良工事等の実施設計を行った。また、良質な教育環境を整えるため、全校すべての普通教室及び授業で使用する特別教室にエアコンを設置したほか、通学路等の安全を確保するため、コンクリートブロック塀の改修を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区 分	平成30年度	令和元年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	3,479,491,218円		
非構造部材耐震対策工事 （外壁改修等）	4校	4校	牟呂、磯辺、二川、旭
トイレ改造工事	2	5	松山、中野、つつじが丘、富士見、老津
長寿命化改良事業等 実施設計	6	10	玉川、谷川、細谷、豊南、芦原、大清水、 八町、飯村、二川南、松葉
防犯カメラ設置	3	3	小沢、老津、賀茂
電気設備改修工事等	4	3	牟呂、新川、岩西
空調設備整備事業	—	52	全校
計	19	52	
(2) 運動場等整備事業費	141,341,237円		
木製遊具設置	1校	—	
校庭芝生整備等	1	1校	東田
コンクリートブロック塀改修工事	2	30	岩田、豊、東田、花田、下地、大村、津田、 吉田方、高師、幸、福岡、中野、大崎、植田、 鷹丘、多米、岩西、飯村、栄、天伯、大清水、 玉川、嵩山、石巻、小沢、細谷、二川、老津、 杉山、賀茂
計	4	30	
(3) プール施設整備事業費	5,229,752円		
プール付属外壁等改修工事	5校	3校	旭、大清水、大村
(4) 一般補修事業費	66,213,262円		
	52校	52校	全校

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	2,815,707,444	476,737,876	1,546,700,000	81,451,482	710,818,086
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	2,815,707,444	476,737,876	1,546,700,000	81,451,482	710,818,086

1 中学校管理事業費 196,803,897円 (教育政策課)

[総括]

中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

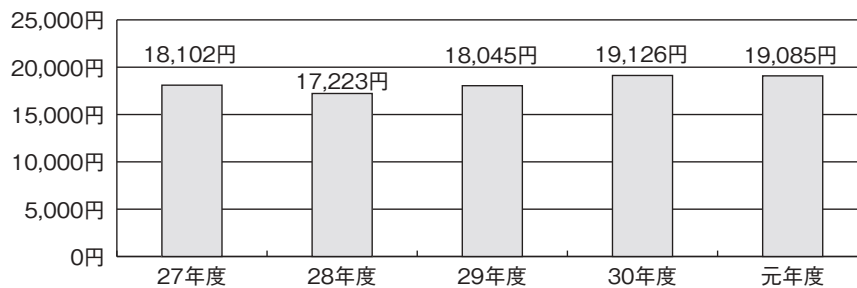
[実績及び成果]

(1) 管理事業費 196,803,897円 (5月1日現在)

区 分	平成30年度	令和元年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	352学級	349学級
生 徒 数	10,474人	10,312人

[指標]

指標名：生徒1人当たりの管理費
 指標説明：管理費／生徒数(年間数値)



2 中学校教育推進事業費 153,638,038 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教師が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、生徒が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンを設置した。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 教育活動事業費 126,209,520 円

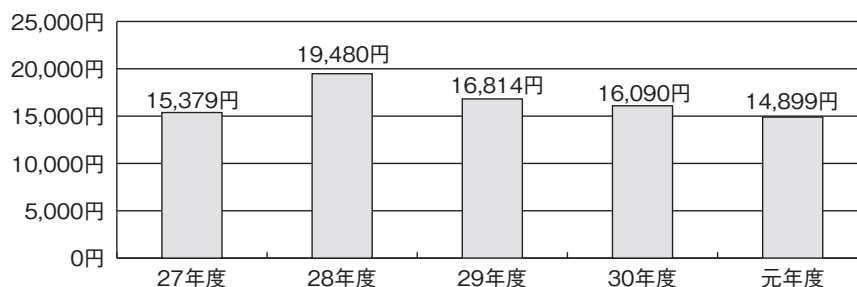
区 分	平成30年度	令和元年度
学校図書館蔵書数	321,334冊	320,027冊
学校新聞発行部数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 95,754部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 97,750部
学校評議員数	159人	158人
緑のカーテン設置数	22校	22校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 27,428,518 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
校務用コンピュータ費	731台	13,524,046円	731台	10,108,324円
校務支援システム費	731	19,546,010	731	17,320,194

[指標]

指標名：生徒1人当たりの事業費
 指標説明：直接事業費／生徒数(年間数値)



3 中学校校舎等長寿命化改良事業費 275,514,331 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、青陵中学校はじめ2校の屋内運動場の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 青陵中学校屋内運動場改良事業費 143,643,300 円
 - (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事（Ⅱ期） 143,643,300 円
 - 3 年継続事業の最終年度 総事業費 236,873,300 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,291㎡	外部・内部改修

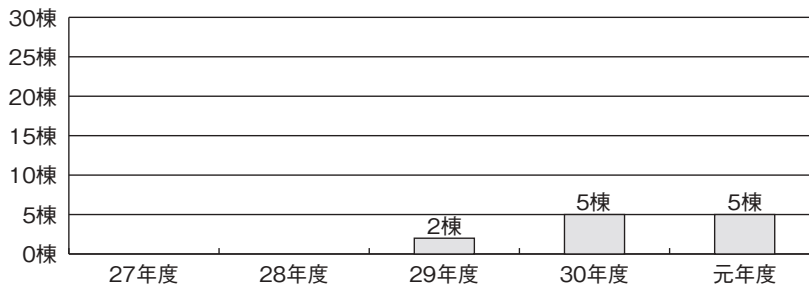
- (2) 羽田中学校屋内運動場改良事業費 131,871,031 円
 - (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事（Ⅱ期） 130,776,938 円
 - 3 年継続事業の最終年度 総事業費 215,724,938 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,308㎡	外部・内部改修

- (イ) 物品運搬及び保管業務等 1,094,093 円

[指 標]

指 標 名：長寿命化改良工事実施延棟数
 指標説明：〃



4 中学校校舎等大規模改造事業費 181,194,395 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、本郷中学校校舎のⅠ期工事を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

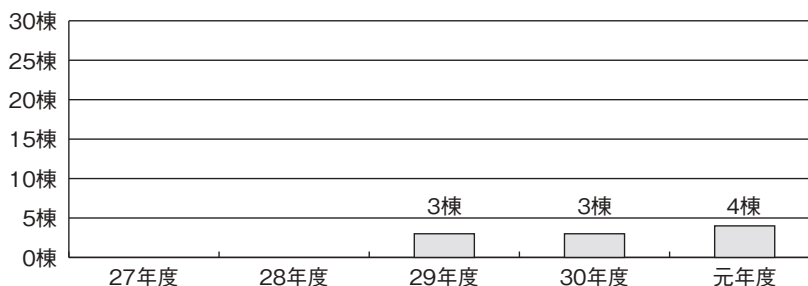
- (1) 本郷中学校校舎改造事業費 181,194,395 円
- (ア) 校舎大規模改造工事（Ⅰ期） 107,263,395 円
- 2 か年継続事業の初年度 総事業費 299,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造4階建	1,406㎡

- (イ) 仮設校舎の賃借 73,931,000 円

[指標]

指標名：大規模改造工事実施延棟数
 指標説明：〃



5 中学校環境整備事業費

1,834,517,617 円（教育政策課）

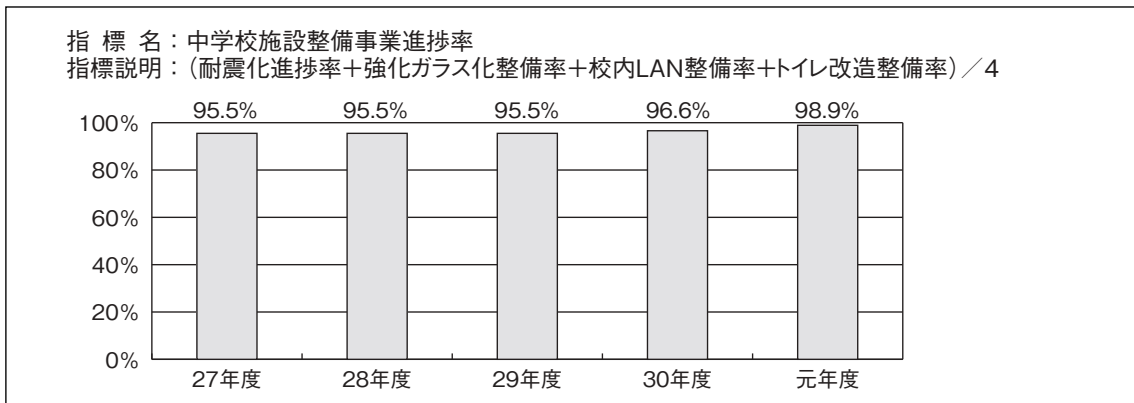
[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、3校で非構造部材耐震対策工事（外壁改修等）を実施したほか、3校で今後実施予定である校舎の長寿命化改良工事等の実施設計を行った。また、良質な教育環境を整えるため、全校すべての普通教室及び授業で使用する特別教室にエアコンを設置したほか、通学路等の安全を確保するため、コンクリートブロック塀の改修を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区 分	平成30年度	令 和 元 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	1,752,322,403円		
非構造部材耐震対策工事 （外壁改修等）	2校	3校	高師台、豊岡、羽田
長寿命化改良事業等 実 施 設 計	—	3	東部、南陽、本郷
トイレ改造工事	1	3	南陽、北部、五並
屋上防水改修工事	4	1	石巻
空調設備整備事業	—	22	全校
計	5	22	
(2) プール施設整備事業費	0円		
プール付属屋外壁等改修工事	1校	—	
(3) 一般補修事業費	33,702,885円		
	22校	22校	全校
(4) 運動場等整備事業費	48,492,329円		
コンクリートブロック塀改修工事	2校	10校	東部、中部、青陵、羽田、牟呂、高師台、北部、五並、高豊、章南

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	2,679,171,525	506,295,000	661,400,000	104,774,505	1,406,702,020
2目 生涯学習機会充実費 <生涯学習機会の充実>	525,352,911	0	173,500,000	35,289,602	316,563,309

1 生涯学習推進事業費 2,867,662 円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も、多彩な学習機会の提供に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 2,292,019 円

区 分	平成30年度			令和元年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	44	1,084人	195回	44	988人	172回	地区市民館ほか
高 齢 者 コ ー ス	23	1,522	165	23	1,472	139	〃

(2) 生涯学習活動事業費 575,643 円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 399,065 円

発 行 部 数	平成30年度	令和元年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 69,000 円

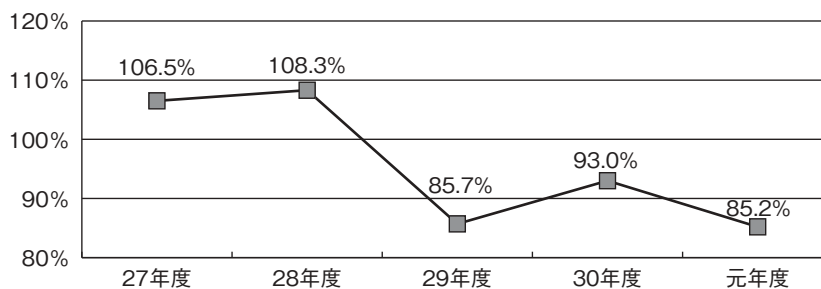
参 加 者	平成30年度	令和元年度
		1,700人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 107,578 円

参 加 者	平成30年度	令和元年度
		300人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率
 指標説明：参加者数／募集定員



2 地区市民館管理運営事業費 250,332,112 円（生涯学習課）

〔総括〕

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに適切に管理・運営をし、利用促進に努めた。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 地区市民館管理運営事業費（22 館） 250,332,112 円

〔利用状況〕

区 分	平成30年度			令和元年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二川地区市民館	件 1,966	人 66,159	冊 40,451	件 1,973	人 79,409	冊 42,025	% 20.0
豊岡 〃	1,231	27,464	1,947	1,182	26,733	2,194	△ 2.7
東陽 〃	1,443	40,684	3,362	1,375	35,817	3,823	△12.0
南稜 〃	2,074	92,626	—	2,243	105,864	—	14.3
青陵 〃	2,444	81,519	49,803	2,263	76,564	51,647	△ 6.1
杉山 〃	1,005	22,391	598	1,008	23,041	551	2.9
石巻 〃	1,477	48,007	18,452	1,250	52,502	17,653	9.4
羽根井 〃	201	3,399	31	974	21,453	396	6.3倍
吉田方 〃	1,212	23,797	806	142	3,388	70	△85.8%
五並 〃	434	10,578	784	434	11,032	671	4.3
牟呂 〃	1,598	49,256	11,070	1,421	61,665	10,805	25.2
高豊 〃	635	14,175	358	655	18,302	278	29.1
北部 〃	1,499	31,404	7,879	1,301	27,782	7,369	△11.5
南部 〃	1,756	65,664	28,647	1,588	66,610	28,564	1.4
豊城 〃	1,951	46,222	1,536	1,919	45,393	1,878	△ 1.8
中部 〃	1,462	29,953	1,473	1,390	31,116	1,107	3.9
高師台 〃	1,676	36,654	3,019	1,533	36,012	3,163	△ 1.8
東部 〃	1,212	29,365	914	1,124	26,459	946	△ 9.9
東部地区市民館飯村分館	3,247	64,582	2,607	2,908	66,672	2,343	3.2
南陽地区市民館	1,249	24,594	772	1,204	24,967	932	1.5
本郷 〃	1,507	37,868	1,170	1,437	36,176	986	△ 4.5
東陵 〃	1,575	48,947	2,940	1,527	46,903	2,995	△ 4.2
計	32,854	895,308	178,619	30,851	923,860	180,396	3.2

※羽根井地区市民館は、施設の大規模改修工事に伴い、平成30年6月から平成31年3月まで休館

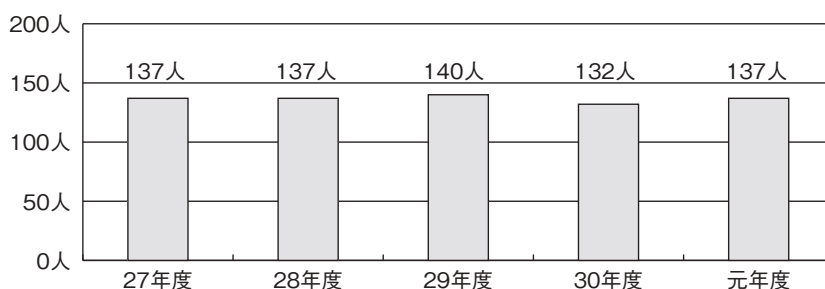
※吉田方地区市民館は、施設の大規模改修工事に伴い、令和元年6月から令和2年3月まで休館

〔施設整備〕

内 容	平成30年度	令和元年度
	雨漏り修繕（牟呂、豊岡） 冷暖房機取替（中部、二川）	雨漏り修繕（豊岡） 冷暖房機取替（中部） 内装修繕（二川）

[指 標]

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



3 地区市民館整備事業費 182,477,954 円 (生涯学習課)

[総 括]

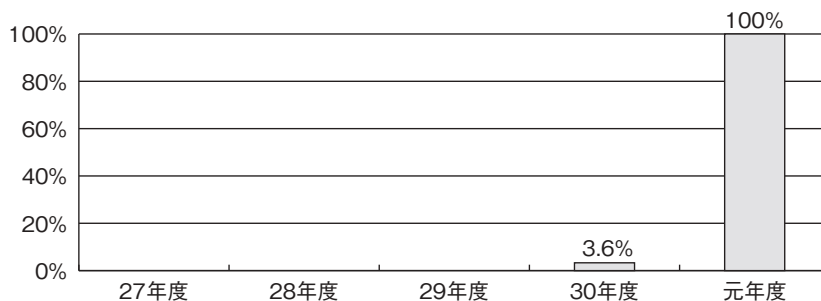
施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、吉田方地区市民館の大規模改修工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 地区市民館整備事業費 182,477,954 円
- (ア) 大規模改修工事(吉田方) 182,477,954 円

[指 標]

指 標 名：吉田方地区市民館整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成30年度～令和元年度)



※事業完了に伴う全体直接事業費の見直しのため、30年度指標を再計算

4 青少年教育施設管理運営事業費 89,675,183 円（生涯学習課）

[総括]

青少年センターは、指定管理者による適正な管理運営を行うとともに、出張形式の防災啓発事業や青年向けのスポーツ講座などの自主事業を実施した。少年自然の家と野外教育センターは老朽設備を補修し、安全の確保を図った。引き続き、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

[実績及び成果]

(1) 青少年センター管理運営事業費 42,069,792 円

[利用状況]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
遊 戯 室	延 947人	延 882人	△ 6.9%
研 修 棟	延 10,143	延 9,642	△ 4.9
宿 泊 棟	延 921	延 287	△68.8
運 動 広 場	延 4,856	延 3,551	△26.9
体 育 室	延 16,037	延 14,136	△11.9
音 楽 室	延 3,796	延 2,831	△25.4
大 研 修 室	延 8,256	延 6,579	△20.3
多 目 的 室	延 63	延 516	8.2倍
そ の 他	延 9,137	延 10,318	12.9%
計	54,156	48,742	△10.0

[施設整備]

内 容	平成30年度	令和元年度
	非常放送設備取替修繕	高圧気中開閉器等修繕

(2) 少年自然の家管理運営事業費 12,933,099 円

[利用状況]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
管 理 棟（日帰り）	延 4,947人	延 4,209人	△14.9%
宿 泊 棟	延 2,488	延 2,029	△18.4
キ ャ ン プ 場	延 296	延 217	△26.7
計	7,731	6,455	△16.5

[施設整備]

内 容	平成30年度	令和元年度
	中央管理棟屋内消火栓ポンプ仕切弁等取替修繕	中央管理棟1階指導員室床張替修繕

(3) 野外教育センター管理運営事業費 22,051,774 円

[利用状況]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
本 館（日帰り）	延 6,117人	延 5,541人	△ 9.4%
宿 泊 室	延 5,429	延 4,878	△10.1
計	11,546	10,419	△ 9.8

〔施設整備〕

内 容	平成30年度	令和元年度
	受水槽ポンプ制御盤等取替修繕	

- (4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,508,518 円

〔利用状況〕

内 容	平成30年度	令和元年度	比 較
利 用 者 数	延 3,023人	延 2,572人	△14.9%

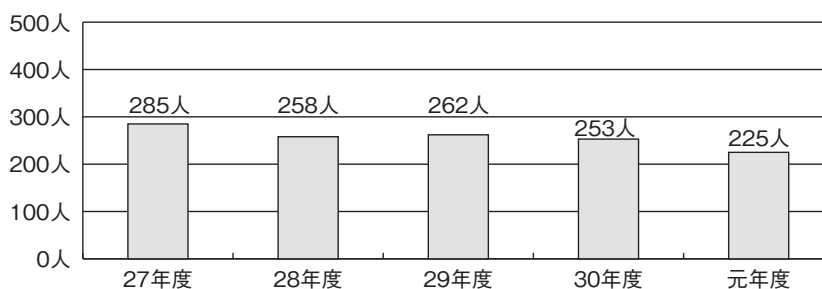
- (5) 江比間野外活動センター管理負担金 9,112,000 円

〔利用状況〕

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
宿 泊 利 用	延 2,037人	延 1,672人	△17.9%
日 帰 研 修	延 6,379	延 5,252	△17.7
キ ャ ン プ 利 用	延 823	延 1,327	61.2
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 1,482	延 1,049	△29.2

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 ＜地域における生涯学習活動への支援＞	17,675,931	1,265,000	0	30,350	16,380,581

1 地域教育推進事業費 10,327,769円 (生涯学習課)

[総括]

トヨッキースクール推進事業における開催校区の増加をはじめとして、地域の大人が子どもに対し多様な体験活動を行う講座を開催するなど、多くの市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元できるよう努めた。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 5,327,345円

(ア) 豊橋魅力発見講座事業費 741,000円

内 容	平成30年度			令和元年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
知っトク!豊橋ゼミナール	25	1,301人	78回	22	1,410人	81回	地区市民館ほか

(イ) 生涯学習推進セミナー事業費 348,000円

内 容	平成30年度		令和元年度		
	延参加者	回数	延参加者	回数	開催場所
生涯学習推進セミナー	2,595人	28回	2,547人	29回	校区市民館ほか

(ウ) 地域いきいき子育て促進事業費 2,119,500円

内 容	平成30年度			令和元年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	50	20,487人	817回	42	13,918人	535回	校区市民館ほか

(エ) 地域未来塾ステップ推進事業費 423,845円

内 容	平成30年度			令和元年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	1	184人	22回	1	182人	20回	青少年センター

(オ) トヨッキースクール推進事業費 1,695,000円

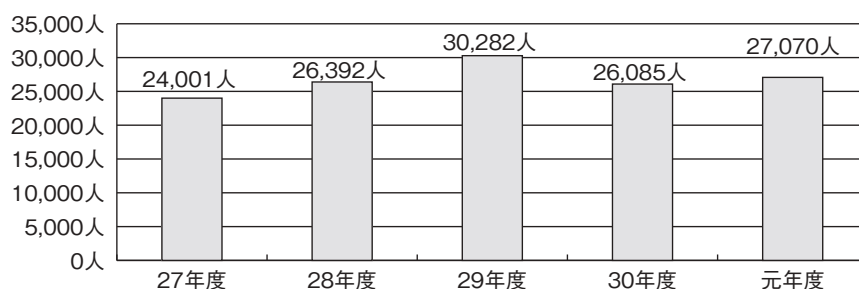
内 容	平成30年度			令和元年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	5	990人	53回	10	9,005人	219回	小学校ほか

(2) 成人式開催事業費 5,000,424円

内 容	平成30年度			令和元年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
成 人 式	51	3,775人	46か所	51	3,786人	46か所	小学校体育館ほか

[指 標]

指 標 名：地域教育活動事業参加者数
 指標説明：地域いきいき子育て促進事業等への延参加者数



2 家庭教育事業費 692,644 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナー等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座等を開催した。今後も学校や家庭、地域の連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 692,644 円

内 容	平成30年度			令和元年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭教育セミナー	30	735人	30回	22	522人	27回	地区市民館ほか
子育て学習講座	44	3,255	44	38	2,932	38	小 学 校
思春期家庭教育講座	2	762	2	1	1,212	1	中 学 校
子育てお悩み解決塾	—	—	—	10	202	10	地区市民館ほか

3 青少年交流活動促進事業費

359,658 円（生涯学習課）

[総括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「自然体験プログラム」や出張講座「ネイチャークラフト体験」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

[実績及び成果]

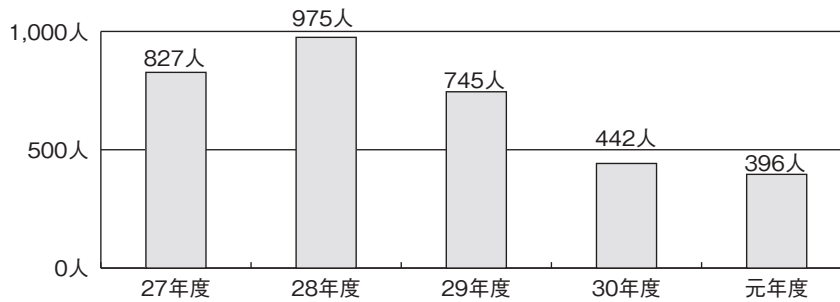
(1) 青少年交流活動促進事業費

359,658 円

内 容	平成30年度		令和元年度		
	回 数	参加者	回 数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	19回	442人	14回	339人	少年自然の家
くろしおチャレンジプログラム	0	0	3	57	野外教育センター
キャンプ指導員養成講座	2	4	1	3	少年自然の家
出 張 講 座	4	1,000	3	750	こども未来館ほか

[指 標]

指 標 名：青少年交流活動促進事業への参加者数
 指標説明：参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 図書館費 < 図書館の充実 >	1,394,331,887	434,250,000	474,400,000	2,180,265	483,501,622

1 中央図書館事業費 357,656,526 円 (図書館)

[総括]

デジタル化した図書館所蔵の貴重な歴史資料や郷土図書などを、インターネットで検索・閲覧できる「とよはしアーカイブ」を公開し、市民の地域学習などを支える環境を充実させた。また、街歩きや地元企業の関連展示等、従来にはなかったイベントを開催することで利用者層の拡大を図った。今後も貴重な資料や有益な図書の収集に努めるとともに、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

- | | |
|------------------|--------------|
| (1) 児童図書業務費 | 10,837,778 円 |
| (2) 一般図書業務費 | 34,894,283 円 |
| (3) レファレンス業務費 | 2,924,536 円 |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費 | 3,551,487 円 |
| (5) AV・CD電子図書業務費 | 1,811,779 円 |

[利用状況等]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開 館 日 数	290日	289日	△ 0.3%
入 館 者 数	延 327,722人	延 337,644人	3.0
館 外 貸 出 人 数	延 182,573	延 172,004	△ 5.8
館 外 貸 出 冊 数	延 891,620冊	延 852,267冊	△ 4.4
館外貸出人数(CD)	延 8,179人	延 8,253人	0.9
館外貸出点数(CD)	延 15,130点	延 15,066点	△ 0.4
蔵 書 冊 数	689,678冊	693,863冊	0.6
() 内は司文庫で再掲	(34,850)	(35,140)	(0.8)
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	6,556点	6,642点	1.3

[資料購入状況]

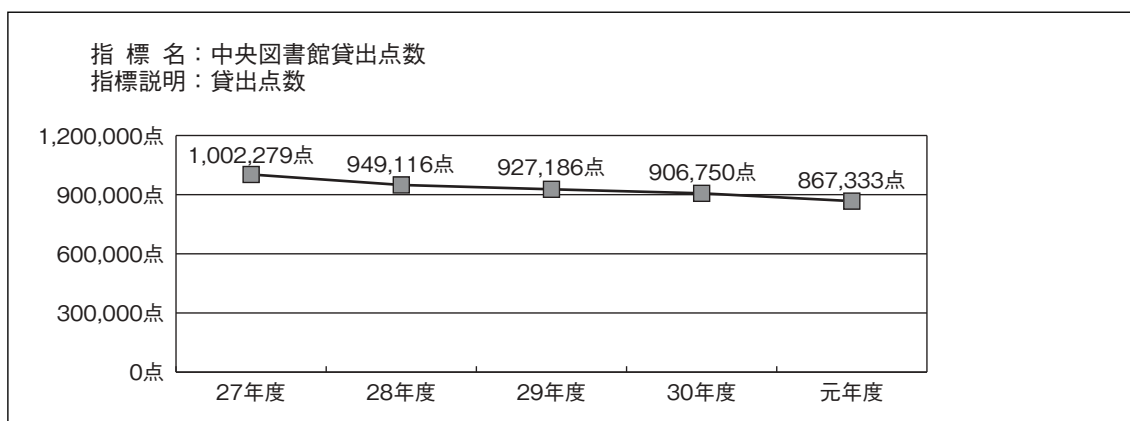
区 分	内 容	平成30年度	令和元年度	比 較
図 書	一 般	6,931冊	6,510冊	△ 6.1%
	児 童	2,655	2,355	△11.3
	参 考	334	299	△10.5
	郷 土	110	106	△ 3.6
	司 文 庫	118	290	2.5倍
	計	10,148	9,560	△ 5.8%
逐次刊行物	雑 誌 等	244種	240種	△ 1.6
	新 聞	23	23	0.0
	追 録	8	8	0.0
視聴覚資料	CD、DVD等	70点	72点	2.9

(6) 行事開催業務費

9,833,292 円

区 分	平成30年度		令和元年度	
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	9回	延 18,598人	8回	延 19,568人
資 料 展 関 連 行 事	5回	延 381	6回	延 356
市 民 向 け 講 座	5講座	延 145	10講座	延 693
ボランティア等育成講座、研修	5講座	延 151	5講座	延 222
講 演 会 、 コ ン サ ー ト	1回	延 43	1回	延 44
映 画 上 映 会	9回	延 446	4回	延 161
図 書 館 子 ども フェスタ	4~5月	延 724	4月	延 476
夏休み子どもフェスティバル	7月	延 137	7月	延 179
図 書 館 フェスタ	11月	延 7,075	—	—
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	46回	配布人数 2,966人 (絵本等)	45回	配布人数 2,727人 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	34回	延 2,703人	30回	延 2,538人
お は な し の へ や	418回	延 7,116	317回	延 5,870
調 べ 学 習 コ ン ク ー ル	30校	304	33校	390
本 の リ サ イ ク ル フェア	3回	延 1,203	2回	延 1,004
本 の フ リ ー マ ー ケ ッ ト	1回	延 1,271	1回	延 957

[指 標]



2 向山図書館事業費

39,217,942 円（図書館）

[総括]

市民からの読書相談等に迅速に対応するとともに、インターネット予約、相互貸借の周知やネットワーク館（図書館システム設置分室）との連携により図書館サービスの充実を図った。また、市民館等分室への配本業務に取り組み、各分室を巡回して配架の工夫等についてのアドバイスを行うなど、分室の利用促進を図った。今後も配本機能の強化を図り、広範な市域の利用者に充実した図書館サービスを提供するように努める。

[実績及び成果]

(1) 配本業務費

34,560,686 円

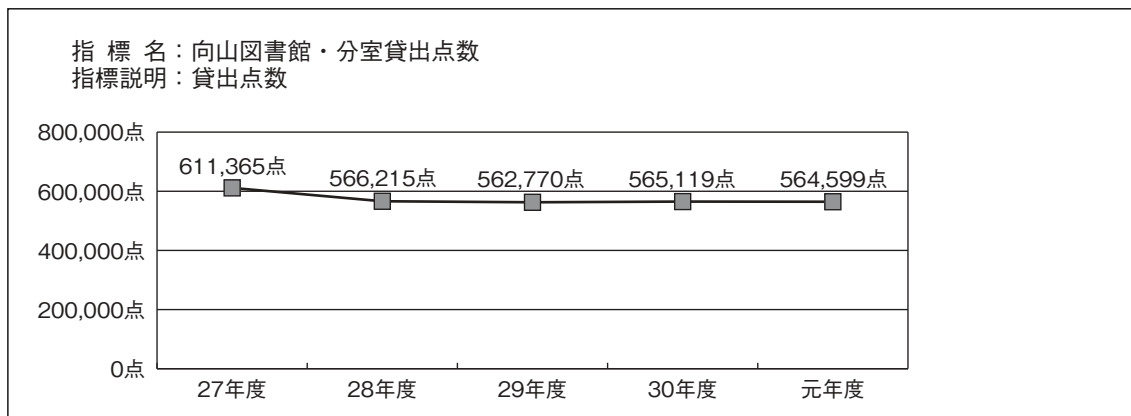
[利用状況等]

区 分		平成30年度	令和元年度	比 較
開 館 日 数		290日	289日	△ 0.3%
入 館 者 数		延 143,140人	延 144,598人	1.0
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 75,359	延 73,868	△ 2.0
	分 室	延 81,048	延 78,558	△ 3.1
	計	延 156,407	延 152,426	△ 2.5
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 310,863冊	延 309,929冊	△ 0.3
	分 室	延 254,256	延 254,670	0.2
	計	延 565,119	延 564,599	△ 0.1
蔵 書 冊 数		269,028	266,243	△ 1.0

[資料購入状況]

区 分	内 容	平成30年度	令和元年度	比 較
図 書	一 般	4,730冊	4,888冊	3.3%
	児 童	3,396	2,317	△31.8
	参 考	12	2	△83.3
	郷 土	9	9	0.0
	計	8,147	7,216	△11.4
逐次刊行物	雑 誌	49種	50種	2.0
	新 聞	10	10	0.0

[指 標]



3 大清水図書館事業費

39,189,420 円（図書館）

〔総括〕

市民の読書への関心を高めるため、図書に関連した講座やイベント、学校での出前講座等を開催するとともに、中高生向けの常設コーナーを設置するなど利用者ニーズに沿った図書館サービスの充実を図った。

〔実績及び成果〕

(1) 図書業務費 8,238,595 円

〔利用状況等〕

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開館日数	290日	289日	△ 0.3%
入館者数	延 295,651人	延 314,493人	6.4
館外貸出人数	延 60,879	延 59,024	△ 3.0
館外貸出冊数	延 292,129冊	延 286,974冊	△ 1.8
館外貸出人数（CD）	延 695人	延 965人	38.8
館外貸出点数（CD）	延 1,097点	延 1,576点	43.7
蔵書冊数	67,986冊	71,026冊	4.5
視聴覚資料所蔵数	563点	637点	13.1

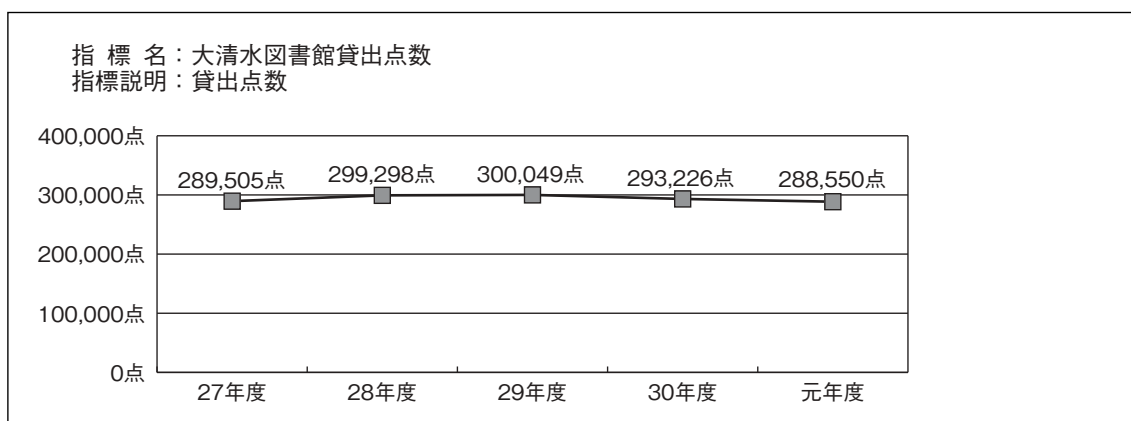
〔資料購入状況〕

区 分	内 容	平成30年度	令和元年度	比 較
図 書	一 般	2,300冊	2,104冊	△ 8.5%
	児 童	803	876	9.1
	参 考	1	1	0.0
	郷 土	5	10	2.0倍
	計	3,109	2,991	△ 3.8%
逐次刊行物	雑 誌 等	131種	129種	△ 1.5
	新 聞	10	10	0.0
視聴覚資料	C D、D V D 等	88点	72点	△18.2

(2) 行事開催業務費 41,720 円

区 分	平成30年度	令和元年度
市 民 向 け 講 座	1講座 延 80人	1講座 延 77人
ミ ナ ク ル ま つ り	11月 延 136	11月 延 142
お は な し の へ や	69回 延 1,149	65回 延 1,123
図 書 館 を 知 ろ う	4校 延 116	4校 延 124

[指 標]



4 まちなか図書館(仮称)整備事業費 912,398,079 円 (まちなか図書館開館準備室)

[総 括]

まちなか図書館(仮称)の開館に向けて内装工事に係る実施設計を行ったほか、地域連携等促進事業の実施により、図書館と連携する地域人材との関係構築及び市民理解の促進を図った。

[実績及び成果]

(1) まちなか図書館(仮称)整備事業費 912,398,079 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	保留床購入契約締結、 地域連携等促進事業の実施	内装工事等実施設計、 地域連携等促進事業の実施

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 美術博物館費 ＜美術博物館の充実＞	265,599,136	0	0	42,186,404	223,412,732

1 美術博物館事業費 257,392,579円 (美術博物館)

[総括]

開館40周年記念展として「魔法の美術館」、「ストラスブール美術館展 印象派からモダンアートへの眺望」、コレクション名品展「ナイン・ストーリーズ」を開催したほか、郷土の歴史を検証した「『豊橋』をものがたる100点」、「未来へつなぐ災害の歴史」を開催し、多くの来館者を得た。また、展覧会に関連する講演会やワークショップ、ギャラリートーク、ベビーカーツアーなど教育普及活動を行った。

施設整備については、館内の環境整備と長寿命化改修にかかる基本設計を行った。

今後も郷土ゆかりの美術・歴史資料を中心に、調査、研究、収集、保管、展示を継続的に行い、地域の芸術文化振興に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 44,236,879円

[利用状況]

区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開 館 日 数	289日	310日	7.3%
企 画 展	9件 延 80,314人	7件 延122,187人	52.1
共 催 展	4 延 6,683	6 延 6,306	△ 5.6
一 般 展	66 延 58,696	54 延 52,578	△10.4
公 開 講 座 等	25 延 1,588	21 延 1,812	14.1
計	147,281	182,883	24.2

[施設整備]

内 容	平成30年度	令和元年度
	外壁等耐震改修工事 外壁、内壁レンガ修繕	

(2) 展覧会事業費 67,191,536 円

(ア) 展覧会開催事業費 59,788,957 円

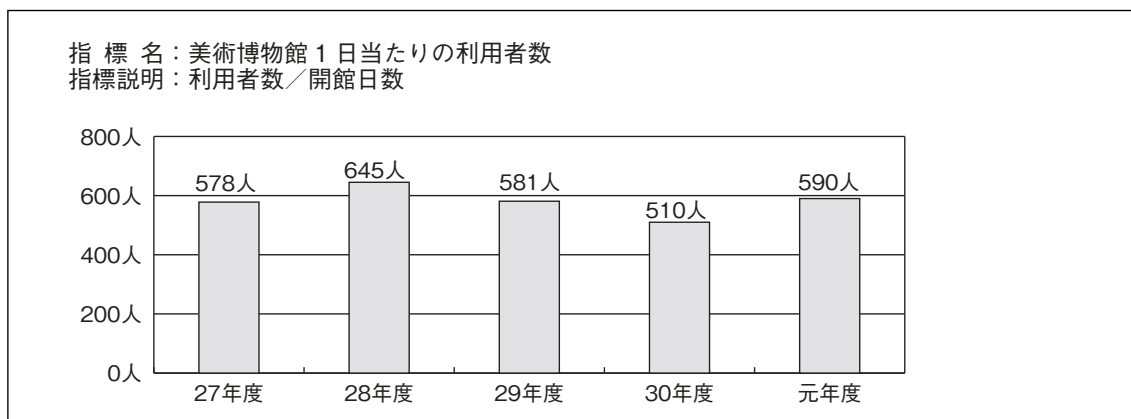
平成30年度		令和元年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
第40回豊橋美術展	4,004人	第41回豊橋美術展	3,939人	△ 1.6%
第68回豊橋市民展	3,360	第69回豊橋市民展	3,221	△ 4.1
みかわの城－吉田城と天下人－	8,427 (2回167人)	/		—
岸田劉生展	6,432 (6回403人)	「豊橋」をものがたる100点	13,750 (2回25人)	—
北澤美術館所蔵 ルネ・ラリックの香水瓶－アール・デコ、香りと装いの美－	6,553 (6回512人)	開館40周年記念 「魔法の美術館」	33,511 (18回621人)	—
国立国際美術館コレクション 美術のみかた 自由自在	5,336 (5回247人)	開館40周年記念 ストラズブル美術館展 印象派からモダンアートへの眺望	6,902 (3回252人)	—
受贈記念「星野真吾・高畑郁子 二人の足跡」展	2,215 (3回105人)	開館40周年記念 豊橋市美術博物館コレクション名品展 「ナイン・ストーリーズ」	3,429 (61回849人)	—
吉田天王社と神主石田家	2,842 (3回154人)	未来へつなぐ災害の歴史	1,855 (4回59人)	—
常設展	41,145	常設展	55,580	35.1
延607日	80,314 (25回1,588人)	延601日	122,187 (88回1,812人)	52.1

※ () は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(3) 資料収集事業費 10,000,000 円

区分	平成30年度	令和元年度
美術資料	三沢厚彦作 彫刻 「Animal 2015-05」等 3点	丸木位里 日本画 「瀧」等 3点
歴史資料	原田圭岳筆杉戸絵等 2件	生田何右衛門宛渡辺華山書状等 7件

[指 標]



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,638,066 円（美術博物館）

[総 括]

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に木造校舎として建てられ、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。また、映画「早咲きの花」のロケ地として使用されたことをきっかけとして、当時の教室の様子を再現するなど、施設の魅力づくりに努めている。令和元年度はイベントの開催方法の工夫などによって、利用方法の広がりを見せている。今後も、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、さらに利用者の拡大を図る。

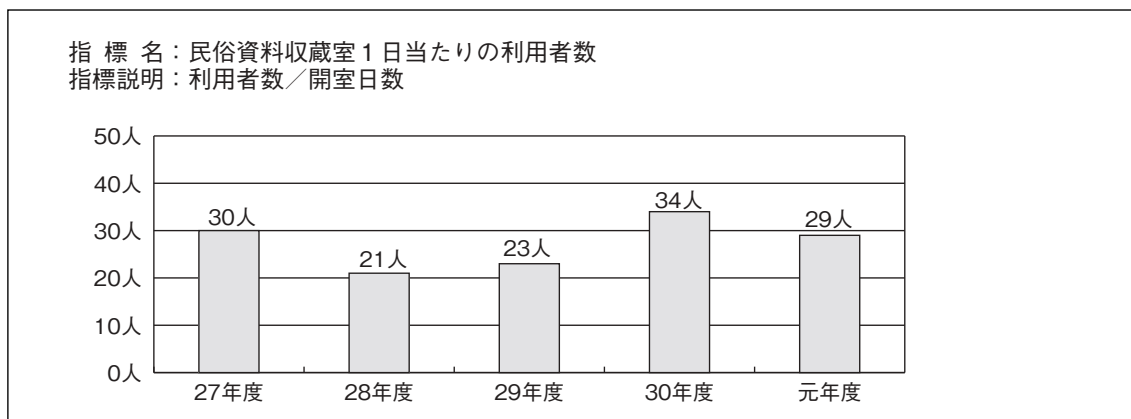
[実績及び成果]

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,638,066 円

[利用状況]

区 分	平成 3 0 年度	令和元年度	比 較
開 室 日 数	173日	158日	△ 8.7%
延 入 室 者 数	5,802人	4,541人	△21.7

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 歴史資源保存活用費 <歴史資源の保存と活用>	102,246,104	0	0	7,874,181	94,371,923

1 二川宿本陣資料館事業費 81,995,425 円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、美術博物館と共同で開催した『「豊橋」をものがたる 100 点』、歴史ある建造物などを主題とした「ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展」、当館の主要なテーマの一つである江戸期の旅に関する「江戸時代の旅と温泉展」などの企画展、「五月人形展」、「ひなまつり」などを開催したほか、地元住民が主体となって開催する「大名行列」への助成、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。

今後、より多くの集客を見込める魅力的かつ画期的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 31,258,974 円

[利用状況]

区 分	平成 3 0 年 度	令和元年度	比 較
開 館 日 数	311日	311日	0.0%
延 入 館 者 数	35,741人	36,032人	0.8

(2) 展覧会事業費 9,599,200 円

(ア) 展覧会開催事業費 7,838,888 円

平成 3 0 年 度		令和元年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
とよはしの旗本たち	2,201人	「豊橋」をものがたる 100 点	3,222人
幕末明治の浮世絵探訪展	7,247	ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展	12,643
戊年から亥年 干支と新春の遊び展	1,857	江戸時代の旅と温泉展	2,415
常設企画展 2回	7,098	常設企画展 2回	4,979
記念講演会等 2	89	記念講演会等 2	177
計	18,492	計	23,436

(イ) 琴のしらべ開催等事業費 1,149,324 円

平成30年度		令和元年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 3,251人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,585人
琴のしらべ・本陣茶会	入館者 398	琴のしらべ・本陣茶会	入館者 296
ほんじん講座	受講者 17	ほんじん講座	受講者 22
七夕の節句	会期中入館者 739	七夕の節句	会期中入館者 941
夏休み本陣体験講座 「江戸時代の旅体験」	参加者 8	夏休み本陣体験講座 「江戸時代の旅体験」	参加者 6
本陣体験講座 「和本を作ろう」	参加者 16	本陣体験講座 「和本を作ろう」	参加者 30
菊の節句－重陽－	会期中入館者 1,829	菊の節句－重陽－	会期中入館者 784
本陣古文書講座	参加者 228	本陣古文書講座	参加者 212
本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	参加者 7	本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	参加者 22
本陣体験講座 「春の七草を知ろう」	参加者 18	本陣体験講座 「春の七草の寄せ植えをしよう」	参加者 16
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 796	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 828
ひなまつり	会期中入館者 12,992	ひなまつり	会期中入館者 8,667
本陣句会	応募者 101	本陣句会	応募者 130

(3) 資料収集事業費 889,000 円

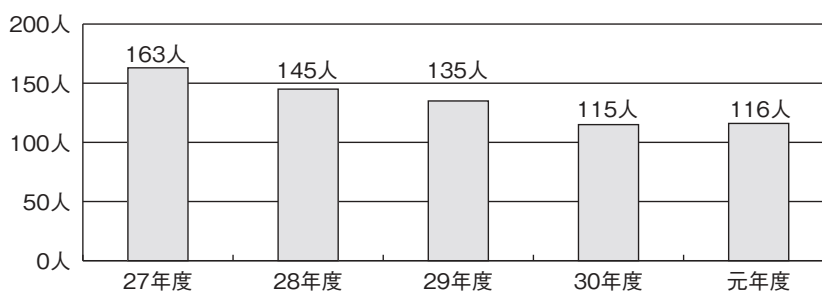
内 容	平成30年度	令和元年度
	東海道五十三次 藤枝 隸書版等 7点	東海道五十三次 草津 隸書版等11点

(4) 二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金 4,400,000 円

補 助 金	平成30年度	令和元年度
	4,400,000円	4,400,000円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館 1 日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



2 商家「駒屋」事業費

20,250,679 円（美術博物館）

〔総括〕

地域の交流、生涯学習、観光の拠点となる体験型施設として、駒屋横丁「駒屋であそびん」や和創作、二川宿本陣資料館と連携した五節句などの各種イベントを定期的に開催した。また、カフェでの飲食提供や、ショップでの手作り小物や駄菓子、土産物などの物品販売を行い、地域住民や観光客の集客に努めた。

今後も、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費

20,250,679 円

〔利用状況〕

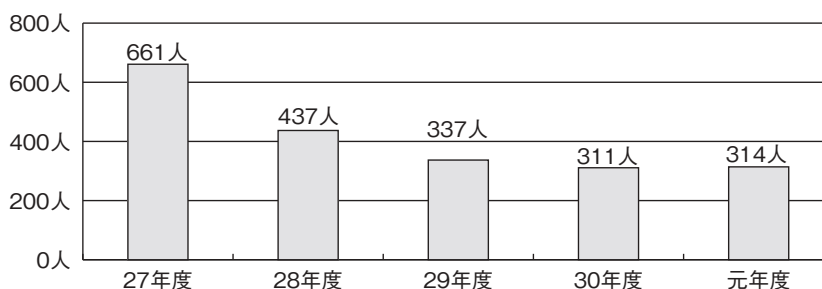
区 分	平成30年度	令和元年度	比 較
開 館 日 数	311日	311日	0.0%
延 入 館 者 数	96,664人	97,667人	1.0

〔主なイベント開催状況〕

平成30年度		令和元年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
こまやふえす	入 館 者 2,839人	こまやふえす	入 館 者 2,674人
お盆でナイト	会期中入館者 1,121	お盆でナイト	会期中入館者 882
ひなまつり	会期中入館者 27,203	ひなまつり	会期中入館者 21,924

〔指 標〕

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 文化財保護活動費 ＜文化財保護活動の担い手の育成＞	237,188,293	70,780,000	0	17,213,703	149,194,590

1 文化財保護事業費 237,188,293円 (美術博物館)

[総括]

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や指定・登録文化財に関する各種調査、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡瓜郷遺跡の用地の購入を行った。

今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 227,556,989円

(ア) 市内遺跡発掘調査

内 容	平成30年度	令和元年度
	仁連木遺跡の発掘調査	

(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査

内 容	平成30年度	令和元年度
	西側遺跡・西側古墓群の発掘調査	

(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査

内 容	平成30年度	令和元年度
	境松遺跡・坂津寺貝塚・内田貝塚の発掘調査	

(エ) 吉田城址確認緊急調査

内 容	平成30年度	令和元年度
	吉田城址の確認緊急調査	

(オ) 報告書作成業務

内 容	平成30年度	令和元年度
	埋蔵文化財調査報告書第149・150集の作成	

(カ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

内 容	平成30年度	令和元年度
	黒下遺跡・橋良遺跡ほかの試掘確認調査	

(キ) 指定天然記念物植生調査

内 容	平成30年度	令和元年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地の植生調査や回復作業	

(ク) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	平成30年度	令和元年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入

(2) 文化財保存事業補助金 1,312,000円

内 容	平成30年度	令和元年度
	玉泉寺のナギの樹勢回復、木造大日如来坐像の修理、小笠原家奉納經典の修理	愛知大学公館の修理

(3) 文化財保存活用事業費 8,319,304円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	平成30年度	令和元年度
	「壕に囲まれた弥生時代のムラ展」を開催	「カワイイ！キレイ！カッコイイ！発掘されたもようとかたち展」を開催

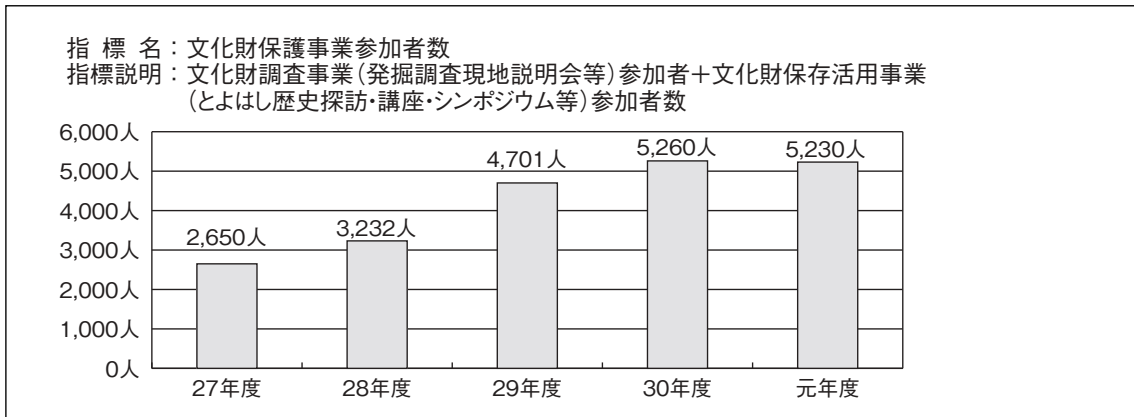
(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

内 容	平成30年度	令和元年度
	文化財めぐりや史跡めぐりなど現地見学、勾玉づくりなど体験講座を開催	文化財めぐりや史跡めぐりなど現地見学、勾玉づくりなど体験講座を開催

(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	平成30年度	令和元年度
	企画展「みかわの城」、とよはしシンポジウム「古墳時代の豪族と三河・尾張」を開催	企画展「遺跡でプラトヨハシ」、とよはしシンポジウム「池田輝政の吉田城」を開催

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保健給食費	3,255,436,181	0	20,100,000	1,354,400,290	1,880,935,891
2目 子どもの健康増進費 <子どもの心と体の健康増進>	3,154,607,386	0	20,100,000	1,354,400,290	1,780,107,096

1 学校保健事業費 174,938,690円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境衛生検査の基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 141,269,988円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 102,357,750円

区 分		人 員	
		平成30年度	令和元年度
学 校 医	内 科	81人	81人
	耳 鼻 科	13	14
	眼 科	14	13
学 校 歯 科 医		84	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		231	231

(イ) 健康診断費 38,912,238円

区 分	対 象	平成30年度	令和元年度	比 較
検 尿	児 童 生 徒	32,656人	31,481人	△ 3.6%
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	10,603	10,681	0.7
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,356	3,294	△ 1.8
教 職 員 健 診	全 員	8,062	8,257	2.4

(2) 学校保健会補助金 649,801円

補 助 金	平成30年度	令和元年度
	649,460円	649,801円

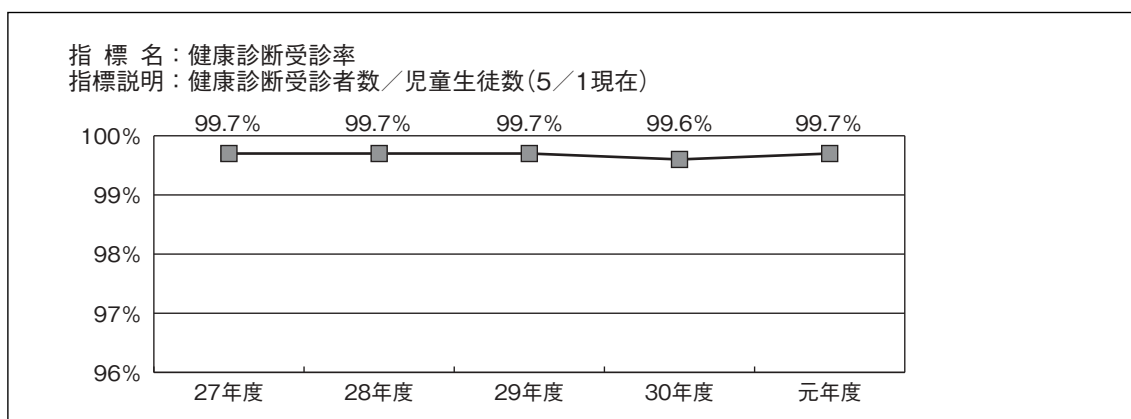
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 30,998,514円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 30,194,030円

(4) 学校結核予防事業費 2,020,387円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	平成30年度	令和元年度	比 較	平成30年度	令和元年度	比 較
間 接 撮 影	286人	295人	3.1%	1,917人	1,943人	1.4%
直 接 撮 影	229	244	6.6	2	2	0.0
事 後 措 置	0	6	皆増	0	0	—

[指標]



2 共同調理場運営事業費 1,304,109,183 円（保健給食課）

[総括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 共同調理場運営事業費（南部） 237,792,531 円

平成 30 年度				令和元年度				食数比較
小学校	13校	5,519人	延1,575,238食	小学校	13校	5,452人	延1,433,978食	
中学校	5	2,893		中学校	5	2,849		
特別支援学校	1	386		特別支援学校	1	402		

(2) 共同調理場運営事業費（北部） 497,836,987 円

平成 30 年度				令和元年度				食数比較
小学校	13校	4,934人	延1,392,293食	小学校	13校	5,074人	延1,288,133食	
中学校	6	2,769		中学校	6	2,777		

(3) 共同調理場運営事業費（西部） 133,496,167 円

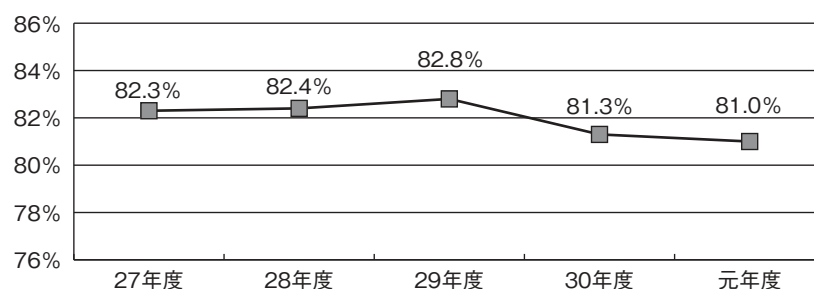
平成 30 年度				令和元年度				食数比較
小学校	11校	5,541人	延1,409,017食	小学校	11校	5,602人	延1,284,431食	
中学校	5	2,264		中学校	5	2,212		

(4) 共同調理場運営事業費（東部） 222,251,272 円

平成 30 年度				令和元年度				食数比較
小学校	15校	6,327人	延1,721,949食	小学校	15校	6,323人	延1,568,660食	
中学校	6	3,279		中学校	6	3,211		

[指標]

指標名：学校給食の豊橋産食材使用率
 指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



3 共同調理場再整備事業費 4,987,400 円（保健給食課）

[総括]

共同調理場の再整備にあたり、落札者を決定し事業契約の締結に至った。今後も施設の設計及び建設工事を着実に進めていく。

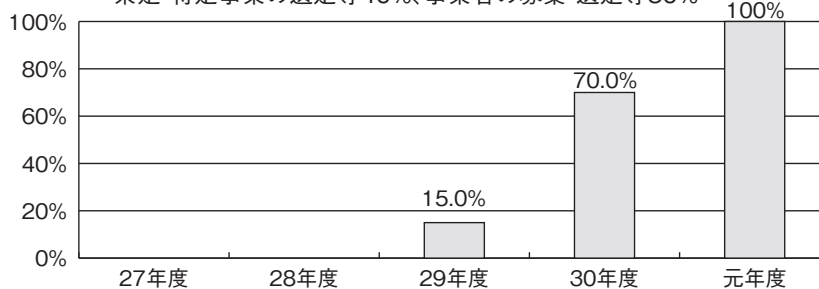
[実績及び成果]

(1) 共同調理場再整備事業費 4,987,400 円

内 容	平成30年度	令和元年度
	用地取得・地質調査 実施方針の策定・特定事業の選定	事業者の募集・選定 事業契約の締結

[指標]

指標名：新学校給食共同調理場(仮称)建設までの事業進捗率
 指標説明：事業契約(100%)=PFI導入可能性調査15%、用地取得・地質調査15%、実施方針策定・特定事業の選定等40%、事業者の募集・選定等30%



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	12,862,960	813,000	0	0	12,049,960
2項	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	8,100,400	0	0	0	8,100,400
1目	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	8,100,400	0	0	0	8,100,400

1 農業用施設災害応急復旧費 8,100,400円 (農地整備課)

[総括]

令和元年10月の台風19号により、高山池、上影岩池、沢渡池に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 農業用施設災害応急復旧費 8,100,400円

内 容	平成30年度	令和元年度
		倒木処理、フェンス等修繕

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	4,762,560	813,000	0	0	3,949,560
1目	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	4,762,560	813,000	0	0	3,949,560

1 諸施設災害応急復旧費 4,762,560円 (「スポーツのまち」づくり課始め3課)

[総括]

令和元年10月の台風19号により、保育園、海岸施設、運動広場等に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 諸施設災害応急復旧費 4,762,560円

内 容	平成30年度		令和元年度		
		公共施設等復旧	総合体育館ほか 石巻高齢者活動センターほか 東部環境センターほか 資源化センター西工場棟ほか 最終処分場 総合スポーツ公園ほか 中消防署ほか 本郷中学校ほか 南部調理場ほか 野外教育センターほか 二川宿本陣資料館ほか	「スポーツのまち」づくり課 保 育 課 農 地 整 備 課	公共施設等復旧
	倒木枝折処理	石巻運動広場ほか 高師緑地ほか			